

滋賀県災害誌

(昭和41年～昭和52年)
(1966年～1977年)

滋賀県

後編の発刊にあたって

この滋賀県災害誌（続編）は、昭和41年3月に発刊されました滋賀県災害誌のあとを補うため、昭和41年から昭和52年までに滋賀県下で発生した自然災害の概要とその被害状況を、各種の資料をもとに取りまとめたものであります。

昭和41年以降におきましても、県下では毎年のように風水害や雪害が発生しており、県民生活に与える影響ははかり知れないものがあります。幸い、近年地震による人畜や家屋の被害はありませんが、しかし、地震予知連絡会は、昭和45年2月、琵琶湖周辺を特定観測地域に指定して観測を強化し、さらに昭和53年8月には見直しを行い、琵琶湖周辺に新たに名古屋・京都・大阪及び神戸地区を含めて指定するなど、本県は歴史的に見ても地震発生の可能性の高い地域とされています。

このような現状におきまして、災害による被害を最少限度にくだし、住民の生命、身体、財産を守るには、各種防災施設の整備充実や災害危険箇所の実態の把握とその対策など、防災体制の確立が不可欠であります。そのためにも過去の災害の教訓を生かしつつ、ここに心を新たに、より防災意識の高揚をはかる必要があると存じます。

関係方面の方々には、この災害誌を今後における防災対策の資料としてご活用いただければ幸いと存じます。なお、本誌発刊に際し彦根地方気象台から多大の資料の提供と編さんにご協力いただきましたことに対し、深く感謝の意を表すものであります。

昭和54年3月25日

滋賀県生活環境部長

高 土 禮 郎

目 次

写 真		
解 説	1
気 象 災 害 年 表	2
風 水 害 編	17
雪 ・ 凍 霜 害 編	147
干 害 編	203
雷 ・ ひ ょ う 害 編	215
地 震 編	223
資 料 編	247

解 説

1. 内 容 本災害誌には、昭和41年から昭和52年までの間に県下で発生した、暴風・豪雨・豪雪・洪水・地震・その他の異常な自然現象を原因として生じた被害について収録した。なお被害が微少であった場合は省略したものもある。
2. 分 類 本災害誌では便宜上、災害を①風水害 ②雪・凍霜害 ③干害 ④雷・ひょう害 ⑤地震の5種類に分類した。
3. 配 列 各災害は前記2により5つに分類し、各災害については、発生日順に配列し、①発生日 ②災害名 ③気象の概要 ④警戒状況（気象予警報発令状況）及び、降水量・積雪量・風速等の観測値 ⑤関係機関の警戒体制 ⑥被害状況 ⑦警察・消防・自衛隊の出動状況の順に原則として記載した。ただし、記録のない場合や被害が軽微な場合には省略したこともある。
4. 資 料 各種観測値等の気象に関する記述については、特にことわりのない場合は、彦根地方気象台発行の「滋賀県気象年報」「滋賀県気象月報」に収録されているものを引用した。被害状況その他については県の記録や報告書・新聞等から引用した。

気 象 災 害

年次	月 日	災 害 名	掲載ページ	人的被害			住宅被害		
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
4 1	1月19日~21日	風 雪	147	-	-	-	-	-	-
	2月8日	冷 え こ み	148	-	-	-	-	-	-
	3月上旬	大 雨	17	-	-	-	-	-	-
	4月17日~18日	寒 波	148	-	-	-	-	-	-
	5月17日~18日	晩 霜	149	-	-	-	-	-	-
	5月21日~22日	大 雨	18	-	-	-	-	-	-
	6月6日	落雷と降ひょう	215	-	-	-	-	-	-
	7月1日~2日	大 雨	19	-	1	-	-	-	-
	7月27日	落 雷	215	-	-	1	-	-	-
	8月22日~23日	台風14号15号	20	-	-	-	1	-	-
	9月16日~18日	台 風 2 1 号	22	-	-	-	-	-	-
	9月22日~25日	台風24号26号	24	-	-	-	-	-	-
	12月	寒 波	149	-	-	-	-	-	-
4 2	1月	大 雪	151	-	-	-	-	-	-
	4月8日~20日	長 雨	26	-	-	-	-	-	-
	5月12日~6月24日	干 天	203	-	-	-	-	-	-
	5月29日	落雷と降ひょう	215	-	-	-	-	-	-
	6月30日~7月1日	低温による 稲作の冷害	153	-	-	-	-	-	-
	7月9日	豪 雨	27	-	1	1	4	20	2

年 表 (昭和41年~52年)

()内は災害年報報告数字

(棟)		被 害 金 額 (円)						総 額
床 上 浸 水	床 下 浸 水	農 林	土 木	商 工	住 宅	そ の 他		
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
7	285	-	69,695	-	-	-	69,695	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	44,044	-	-	-	-	44,044	
-	-	-	58,799	-	-	-	58,799	
-	-	18,351	-	-	-	-	18,351	
-	69	1,636	129,017	-	-	-	130,653	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	29,810	-	-	-	29,810	
-	-	9,500	104,700	-	-	-	114,200	
-	-	-	72,100	-	-	-	72,100	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	4,961	-	-	-	4,961	
-	-	-	22,106	-	-	-	22,106	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
63	2,361	201,295	485,979	-	95,580	-	782,854	

年次	月 日	災 害 名	掲載ページ	人的被害			住宅被害		
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
42	7月21日	大 雨	30	-	-	-	-	-	-
	8月21日~23日	台 風 1 8 号	30	-	-	-	-	-	-
	9月13日	台 風 2 2 号	30	-	-	-	-	-	-
	10月27日~28日	台 風 3 4 号	31	-	-	-	-	-	-
43	1月~2月	雪 害	153	5	-	7	6	1	-
	6月10日	風 雨	32	-	-	-	-	-	-
	6月19日	降 ひ ょ う	216	-	-	-	-	-	-
	6月23日	降 ひ ょ う	216	-	-	-	-	-	-
	7月 2日	大 雨	33	-	-	1	-	-	1
	7月28日	台 風 4 号	36	-	-	-	-	-	-
	8月17日~18日	台 風 7 号	37	-	-	-	-	-	-
	8月25日~26日	台 風 1 0 号	39	-	-	3	1	-	-
44	1月	大 雪	161	-	-	-	-	-	-
	2月	大 雪	163	-	-	-	-	-	-
	3月	大 雪	164	-	-	-	-	-	-
	5月7日	霜 害	165	-	-	-	-	-	-
	6月23日	雷 雨	216	-	-	-	-	-	-
	6月25日~26日	大 雨	44	-	-	-	-	-	-
	6月28日~7月2日	大 雨	47	-	-	-	-	-	-
	7月3日~11日	大 雨	50	-	-	-	1	1	1

(棟)		被 害 金 額 (円)					
床上 浸水	床下 浸水	農 林	土 木	商 工	住 宅	その他	総 額
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
4	6	428,570	-	-	2,300	14,085	444,955
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
26	1,644	49,257	239,688	-	34,740	-	323,685
-	-	13,194	3,000	-	-	-	16,194
-	93	6,000	33,050	-	900	-	39,950
16	1,078	412,229	496,803	-	11,830	-	920,862
-	-	-	17,290	-	-	-	17,290
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	176,904	-	-	-	-	176,904
-	-	-	-	-	-	-	-
3	362	348,292 (362,491)	563,537 (805,846)	-	6,340 (6,375)	-	918,169 (1,174,712)
-	50			-		-	
-	493			-		-	

年次	月 日	災 害 名	掲載ページ	人的被害			住宅被害		
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
44	8月1日~2日	大 雨	54	-	-	2	1	-	-
	8月4日~5日	台 風 7 号	55	-	-	-	-	-	-
	8月22日~23日	台 風 9 号	56	-	-	-	-	-	-
	9月~12月	異 常 湯 水	206	-	-	-	-	-	-
45	1月30日~31日	低 気 圧	58	-	-	-	-	-	-
	1月	雪	166	-	-	-	-	-	-
	2月9日~10日	大 雪	168	-	-	-	-	-	-
	3月5日~7日	大 雪	169	-	-	-	-	-	-
	3月	低 温	171	-	-	-	-	-	-
	6月14日~15日	大 雨	59	-	-	-	-	-	-
	7月5日~6日	台 風 2 号	63	-	1	1	-	-	1
	8月15日~16日	台 風 9 号	68	-	-	-	-	-	-
	8月20日~21日	台 風 1 0 号	69	-	-	-	-	-	-
	9月15日	突風と降ひょう	71, 216	-	-	-	2	-	2
	9月22日~23日	県南部の大雨	75	-	-	-	1	-	-
11月30日~12月1日	大 雪	171	-	-	-	-	-	-	
46	1月16日~17日	冬 期 波 浪	77	-	-	-	-	-	-
	1月27日~28日	大 雪	173	-	-	-	-	-	-
	1月30日~31日	大 雪	174	-	-	-	-	-	-
	2月4日~5日	大 雪	174	-	-	-	-	-	-

(棟)		被 害 金 額 (円)					
床上 浸水	床下 浸水	農 林	土 木	商 工	住 宅	その他	総 額
14	317	-	4,090 (2,605)	-	2,285 (3,285)	-	6,375 (5,890)
-	-	-	2,000 (2,100)	-	-	-	2,000 (2,100)
-	137	121,651	21,600 (20,316)	-	680 (680)	-	143,931 (20,996)
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	(38,084)	-	-	(300)	(38,384)
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
19	532	470,810 (470,810)	817,425 (815,129)	-	3,619	37,479 (193,623)	1,329,333 (1,479,562)
-	-	124,942 (129,080)	121,052 (103,891)	-	150	1,100 (38,830)	247,244 (271,801)
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	88,300	-	-	2,400	5,660	96,360
-	3	450 (450)	418,710 (365,985)	-	-	1,015	420,175 (366,435)
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	75,000 (35,335)	-	-	-	75,000 (35,335)
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

年次	月 日	災 害 名	掲載ページ	人 的 被 害			住 宅 被 害		
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
46	2月9日～10日	大 雪	175	-	-	-	-	-	-
	3月6日～8日	大 雪	176	-	-	-	-	-	-
	5月8日～9日	霜 害	178	-	-	-	-	-	-
	5月26日～28日	大 雨	77	-	-	-	-	-	-
	6月1日	降 ひ よ う	218	-	-	-	-	-	-
	6月28日	雷 雨	218	-	-	-	-	-	-
	7月1日～2日	梅 雨 前 線 降 雨	78	-	-	-	-	-	-
	7月6日～8日	台 風 1 3 号 と 寒 冷 前 線 に よ る 雨	79	-	-	-	-	-	-
	7月16日～18日	雷 雨	218	-	-	-	2	2	-
	7月22日～27日	大 雨	81	-	-	-	-	-	-
	8月30日～31日	台 風 2 3 号	86	-	-	-	3	9	56
	9月6日～7日	秋 雨 前 線 に よ る 大 雨	93	-	-	-	-	1	-
	9月26日	台 風 2 9 号	96	-	-	-	-	-	-
47	5月3日	晚 霜	178	-	-	-	-	-	-
	6月7日～8日	大 雨	100	-	-	-	-	-	-
	6月26日～27日	大 雨	101	-	-	-	-	-	-
	7月	豪 雨	102	1	-	5	1	2	7
	7月15日～16日	台 風 6 号	107	-	-	-	-	-	-
	8月20日～22日	雷 雨	220	-	-	-	-	-	-
	9月8日～9日	大 雨	108	-	-	-	-	-	-

(棟)		被 害 金 額 (円)					
床上 浸水	床下 浸水	農 林	土 木	商 工	住 宅	そ の 他	総 額
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	80,500 (19,154)	-	-	(1,280)	80,500 (20,434)
-	-	36,398 (43,340)	-	-	-	-	36,398 (43,340)
-	-	13,200 (12,989)	-	-	-	-	13,200 (12,989)
-	-	38,350 (49,050)	-	-	-	-	38,350 (49,050)
-	-	-	-	-	-	-	-
-	11	-	16,100 (13,909)	-	55 (55)	-	16,155 (13,964)
-	300	61,742 (3,224)	68,340 (73,457)	-	1,500	(41,470)	131,582 (118,151)
-	240	1,830	48,870 (39,420)	-	7,200	700 (8,793)	58,600 (48,213)
2	601	220,770 (19,641)	642,487 (528,746)	-	6,410	17,403 (437,988)	887,070 (986,375)
154	1,413	3,664,066 (508,225)	2,856,313 (3,557,960)	-	66,530	8,1892 (2,741,852)	6,668,801 (6,808,037)
10	383	24,000	812,559 (703,453)	-	6,830	(27,830)	843,389 (731,283)
4	413	65,400 (1,128)	139,579 (194,285)	-	1,213	(70,330)	206,192 (265,743)
-	-	104,745	-	-	-	-	104,745
1	82	44,835	-	-	4,250	300	49,385
-	-	-	-	-	-	-	-
36	719	1,775,744 (994,077)	3,622,793 (3,544,327)	-	16,500 (16,500)	-	5,415,037 (4,554,904)
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

年次	月 日	災 害 名	掲載ページ	人 的 被 害			住 宅 被 害		
				死者	行方不明	負傷者	全 壊	半 壊	一部損壊
47	9月16日~17日	台風20号	109	-	-	5	1	2	7
48	1月12日~13日	雪	179	-	-	-	-	-	-
	2月7日~10日	雪	179	-	-	-	-	-	-
	2月24日~25日	雪	181	-	-	-	-	-	-
	3月5日~6日	雪	181	-	-	-	-	-	-
	4月28日	晩 霜 害	182	-	-	-	-	-	-
	5月 2日	大 雨	115	-	-	-	-	-	-
	5月12日	晩 霜 害	182	-	-	-	-	-	-
	5月24日	晩 霜 害	183	-	-	-	-	-	-
	6月 8日	大 雨	115	-	-	-	-	-	-
	6月26日	雨	116	-	-	-	-	-	-
	6月~8月	干 害	207	-	-	-	-	-	-
	7月 2日	雷 雨	221	-	-	-	-	-	-
	8月14日	湖南東部の大雨	117	-	-	-	-	-	-
	8月21日	雷 雨	221	-	-	-	-	-	-
	8月30日	雷 雨	221	-	-	-	-	-	-
11月18日~20日	雪	183	-	-	-	-	-	-	
12月24日~25日	大雪と寒波	183	-	-	-	-	-	-	
49	1月9日~14日	大 雪	184	-	-	-	-	-	-
	1月18日~19日	大 雪	185	-	-	-	-	-	-

(棟)		被害金額 (円)						
床上 浸水	床下 浸水	農 林	土 木	商 工	住 宅	その他	総 額	
36	719	4,206,154 (2,527,471)	5,709,639 (5,919,005)	-	670,850	39,350 (710,037)	10,625,993 (9,156,513)	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	1,307	-	-	-	-	1,307	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	70,454	-	-	-	-	70,454	
-	60	3,000 (2,149)	-	-	1,800 (1,800)	-	4,800 (3,949)	
-	-	115,267	-	-	-	-	115,267	
-	-	35,522 (735,910)	-	-	-	-	35,522 (735,910)	
-	39	-	-	-	1,170	50	1,220	
-	-	107,290 (110,947)	-	-	-	-	107,290 (110,947)	
-	-	606,342	-	-	-	-	606,342	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	13,167 (12,016)	72,000 (64,037)	-	-	-	85,167 (76,053)	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	1,206,230	-	-	-	-	1,206,230	
-	-		-	-	-	-		
-	-		-	-	-	-		

年次	月 日	災 害 名	掲載ページ	人 的 被 害			住 宅 被 害		
				死者	行方不明	負傷者	全 壊	半 壊	一 部 損 壊
49	1月26日～29日	大 雪	186	-	-	-	-	-	-
	2月10日～12日	大 雪	187	-	-	-	-	-	-
	3月13日	大 雪	189	-	-	-	-	-	-
	4月7日～8日	大 雨	118	-	-	-	-	-	-
	4月21日	強 風	120	-	-	-	-	-	-
	5月2日, 6日	晩 霜 害	189	-	-	-	-	-	-
	6月17日～18日	大 雨	121	-	-	-	-	-	-
	7月1日～2日	大 雨	122	-	-	-	-	-	-
	7月4日～8日	大 雨	123	-	-	-	-	-	1
	7月24日～25日	大 雨	125	1	-	-	-	1	-
	8月25日～26日	大 雨	128	-	-	-	-	-	-
50	1月12日～13日	北 部 大 雪	190	-	-	-	-	35	539
	2月16日～23日	南 部 大 雪	192	-	-	-	-	-	-
	5月18日	晩 霜 害	193	-	-	-	-	-	-
	6月1日	降 ひ よ う	221	-	-	-	-	-	-
	7月4日	大 雨	131	-	-	1	-	-	-
	8月6日～7日	大 雨	132	-	-	-	-	-	-
	8月16日～18日	台 風 5 号 の 大 雨	134	-	-	-	-	-	-
	8月21日～23日	台 風 6 号	134	-	-	2	1	-	24
9月23日	大 雨	138	-	-	-	-	-	-	

(棟)		被 害 金 額					(冊)	
床上 浸水	床下 浸水	農 林	土 木	商 工	住 宅	その他	総 額	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	3,700	-	-	-	-	3,700	
-	-	-	-	-	-	-	-	
3	96	32,925 (29,085)	96,485 (36,653)	-	3,780 (3,780)	-	133,190 (69,518)	
-	2	16,772 (6,390)	-	-	60 (60)	-	16,832 (6,450)	
-	-	57,548	-	-	-	-	57,548	
5	20	13,000 (18,078)	532,512 (136,553)	-	2,100 (2,100)	(14,142)	547,612 (170,873)	
-	3	-	-	-	90	-	90	
-	177	88,397 (60,267)	337,960 (447,770)	-	6,480 (6,480)	-	432,837 (514,517)	
41	538	271,562 (187,141)	2,370,573 (2,286,465)	-	31,340 (31,340)	(1,230)	2,673,475 (2,506,176)	
3	109	148,472 (144,007)	1,411,820 (1,307,017)	-	627 (627)	(1,701)	1,560,919 (1,453,352)	
-	5	834,755 (32,755)	-	-	-	4,364 (4,214)	839,119 (36,969)	
-	-	3,435	-	-	-	-	3,435	
-	-	4,200	-	-	-	-	4,200	
-	-	75,428	-	-	-	-	75,428	
4	360	94,284 (94,284)	3,564,733 (2,471,052)	-	-	-	3,659,017 (2,565,336)	
-	3	57,507 (10,069)	-	-	-	2,000	59,507 (10,069)	
-	-	-	-	-	-	-	-	
2	101	1,116,444 (730,730)	3,002,911 (2,751,648)	-	-	(9,086)	4,119,355 (3,491,464)	
-	-	7,976 (3,824)	492,719 (360,494)	-	-	-	500,695 (364,318)	

年次	月 日	災 害 名	掲載ページ	人的被害			住宅被害		
				死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
51	1月19日～23日	大 雪	193	-	-	-	-	-	-
	5月14日・15日	低温凍霜害	194	-	-	-	-	-	-
	5月21日～22日	集中豪雨	/	-	-	-	-	-	-
	6月9日	梅雨前線豪雨	139	-	-	-	-	-	-
	7月～8月	低温による 水稲不稔	/	-	-	-	-	-	-
	9月	台風17号の 前線による大雨	141						1
52	昭和51年末～ 52年始	大 雪	195	-	-	-	-	-	-
	2月2日～5日	大 雪	197	}	}	}	}	}	}
	2月17日～19日	大 雪	197						
	3月23日～24日	融 雪	/	-	-	-	-	-	-
	3月30日	大 雨	144	-	-	-	-	-	-
	5月17日～18日	県南部凍霜害	200	-	-	-	-	-	-
	7月19日	県南部の雷雨	222	-	-	-	-	-	-
	9月8日～9日	台 風 9 号	145	-	-	-	-	-	-
	7月下旬 ～12月中旬	少雨による干害	211	-	-	-	-	-	-

(棟)		被 害 金 額						(円)
床上 浸水	床下 浸水	農 林	土 木	商 工	住 宅	そ の 他	総 額	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	157,536 (160,866)	-	-	-	-	157,536 (160,866)	
-	-	-	14,166	-	-	-	14,166	
8	611	327,747	1,818,800	-	-	-	2,146,547	
-	-	1,518	-	-	-	-	1,518	
16	507	987,748 (862,048)	3,837,670 (3,837,670)	-	-	(4,785)	4,825,418 (4,704,503)	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	1,886,521 (74,610)	-	-	-	56,954 (56,954)	1,943,475 (131,564)	
-	-		-	-	-			
-	-	-	52,060	-	-	-	52,060	
-	-	-	66,250 (118,310)	-	-	-	66,250 (118,310)	
-	-	66,762	-	-	-	-	66,762	
-	25	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	341,752	-	-	-	341,752	
-	-	162,034	-	-	-	32,721	194,755	

風 水 害 編

昭和41年(1966年)

3月上旬の大雨

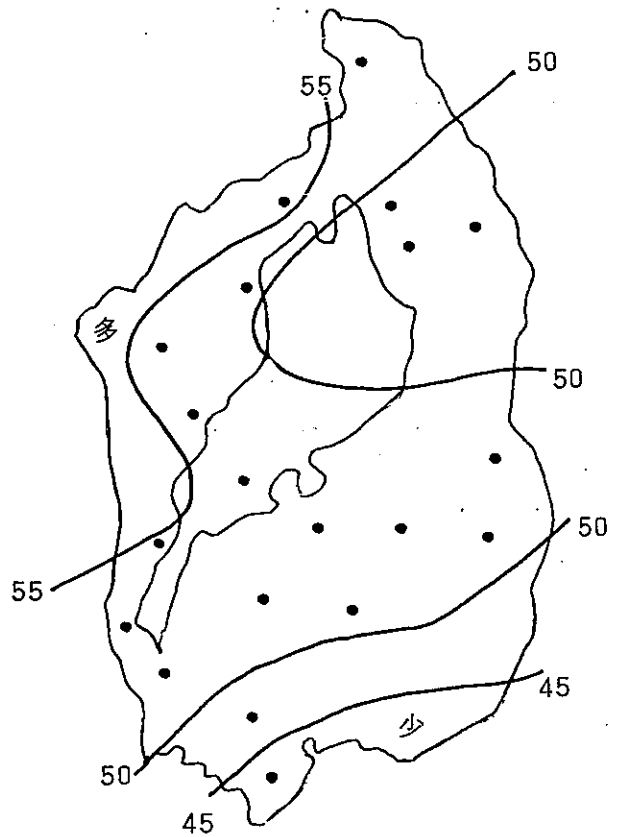
低気圧が次々と日本海側を通ったので、2日から5日まで雨が降ったりやんだりした。ついで6日から7日にかけて低気圧が西日本の南岸ぞいを東進して県下全域に50mm内外の雨が降った。このため、7日午前6時すぎ、草津市大路二丁目、国道1号線上の新草津川トンネル工事現場で草津川の築堤が増水によって約2mにわたって崩れ落ち、5ヶ所が決壊した他、付近の住家に床上・床下の浸水と国道1号線の交通が止った。

草津市では7日午前7時40分災害対策本部を設置(7日午後8時閉鎖)世基町・元町・新屋敷町などのり災者を市役所に一時収容し、炊き出し等の救助を行なった。県警察機動隊2箇分隊24名が現地に出動した。

降水量 (mm)

3月6日 降水量分布図 (mm)

観測所	6日	7日	観測所	6日	7日
彦根	51	5	吉 槻	47	6
木之本	50	2	市 場	54	3
竹生島	51	1	北小松	58	3
今 津	50	1	堅 田	54	4
大 津	54	5	土 山	44	14
多羅尾	37	16	治 田	52	5
水 口	49	9	日 野	50	6
八 幡	54	4	瀬田川	54	8
政 所	48	6	安曇川	58	1
中之郷	45	11	油 日	32	15
愛知川	38	3	信 楽	44	16



被害状況

区分	数量	備考
床上浸水	7戸	草津市
床下浸水	285戸	〃
畑冠水	28ha	〃 麦作7ha 菜種0.4ha グリンピース0.1ha 無作田20.5ha

区分	数量	被害額(円)	主な被害地域および河川の名称	
県 工 事	河川	33カ所	62,965	草津川, 高時川, 姉川, 余呉川
	砂防設備	2	1,550	大川, 安曇川, 宮の谷川
	道路	5	4,122	武生木之本線, 木之本今津線
	計	40	68,637	
市 町 村 工 事	河川	2	508	
	道路	2	550	
	計	4	1,058	
合計	44	69,695		

5月21日～22日 大雨

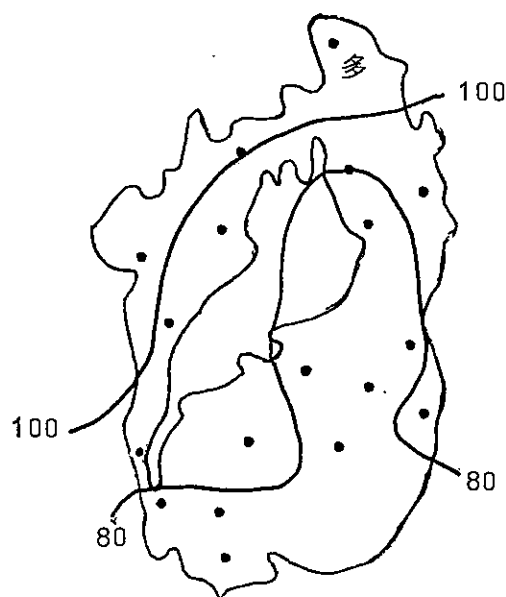
20日午後、九州南西海上に接近した低気圧は、オホーツク海から南に張り出す優勢な高気圧に進行をさまたげられ、21日は中心から四国沖に伸びる温暖前線の活動が活発になった。また、21日21時には、

降水量 (mm)

降水量分布図 (mm)

5月20～22日

観測所	21日	22日	計	観測所	21日	22日	計
彦根	24	40	64	市場	53	41	94
木之本	55	37	92	北小松	37	41	78
竹生島	30	29	59	堅田	38	44	82
今津	47	40	87	土山	22	35	57
大津	27	52	79	治田	29	58	87
多羅尾	19	41	60	日野	11	59	70
水口	15	45	60	瀬田川	22	47	69
八幡	35	36	71	安曇川	38	41	79
政所	28	50	78	油日	30	38	68
中之郷	62	41	103	柏原	43	51	94
愛知川	19	43	62	信楽	26	41	67
吉槻	40	38	78				



被害状況

区分		数量	金額(円)
公共土木施設 工事	河川	33カ所	5,2013
	砂防設備	2	4,200
	道路	4	1,386
	橋りょう	1	1,200
	計	40	58,799

主な被害地域および河川の名称

高時川, 余呉川, 柳川, 三田川

真野川, 滝川, 際川

途中志賀線, 中河内木之本線

宮崎の南東海上に低気圧が発生して東進, 22日には台風2号が九州の南方にあって, 北東進し, 紀伊水道方面へ湿潤な気流が流入した。このため本県では21日早朝から雨が降り出し, 22日は一日中降りつづき総雨量は県北部で90~100mm, 南部では60~90mmに達したが被害は幸いにして少なかった。なお, この大雨は四国室戸市佐喜浜で903mmの豪雨となり大被害をもたらした。

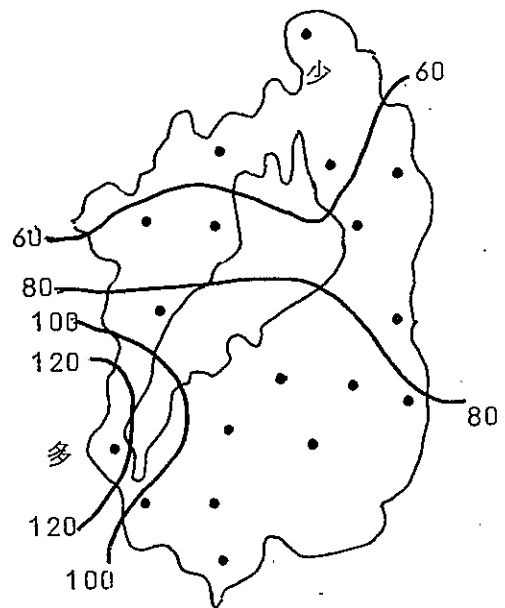
7月1日~2日 大雨

1日早朝, 済州島付近に発生した低気圧は, 梅雨前線を刺激しながら, 毎時50kmの早い速度で東進し, 同日夜半ごろには, 早くも瀬戸内を経て近畿中部を縦断した。このため, 1日夕刻から2日未明にかけて県下各地で大雨が降り, 平地で50~100mm, 山間部では100mmを突破する所もあり, 各地で河川のはん濘や土砂くずれがおこり大津市, 近江八幡市, 野洲郡, 栗太郎などで69棟が床下浸水し, 田畑が冠水し, 農作物に被害をだした。

降水量 (mm)

観測所	6月30日	7月1日	7月2日	観測所	6月30日	7月1日	7月2日
彦根	17	79	2	市場	17	53	2
木之本	37	51	0	北小松	21	88	3
竹生島	20	56	0	堅田	32	105	14
今津	23	56	0	土山	14	81	3
大津	20	107	15	治田	19	85	16
多羅尾	13	89	7	日野	21	80	4
水口	16	83	5	瀬田川	19	92	9
八幡	16	87	1	安曇川	19	64	3
政所	16	85	1	油日	12	73	5
中之郷	36	54	-	信楽	16	95	2
愛知川	11	86	9	柏原	26	68	1
吉槻	35	69	0				

降水量分布図 (mm) 7月1~2日



被害状況

一般被害

区分	市町村別	草津市	栗東町	近江八幡市	信楽町	大津市	守山町	五箇荘町	蒲生町	野洲町	甲賀町	計
行方不明		1										1名
床下浸水		4	10	13	2	20	20					69戸
非住家被害			1									1戸
田畑流埋没											0.4	0.4ha
田畑浸冠水			30					15	6	2		53ha

部門別被害

区 分		数 量	金 額 冊	主な被害地域及び河川の名称
公 共 土 木 施 設	河 川	110カ所	84,605	相模川, 思川, 中の井川, 宇曾川 京都大原今津線, 宇治瀬田線鈴橋
	砂防設備	13	8,160	
	道 路	42	26,697	
	橋りよう	2	3,230	
	計	167	122,692	
市 町 村 工 事	河 川	5	4,000	
	砂防設備			
	道 路	3	2,325	
	橋りよう			
計	8	6,325		
合 計		175	129,017	
農 地 農 業 用 施 設	農 地	1カ所 0.1ha	300	
	農業用施設			
	水 路	4	1,336	
計			1,636	

8月22日～23日 台風 14号、15号

8月19日, マリアナ諸島に発生した台風14号は北上し, 21日から北西に進み, 22日9時には伊豆諸島, 三宅島付近にあり(中心気圧990mb 中心付近最大風速30m/s 中心より90km以内25m/s以上の暴風雨) 毎時40kmで北西進, 衰弱しながら屋すぎ御前崎に上陸し急速に衰えて弱い熱帯低気圧となり北陸沖に出て消滅した。また22日には広範囲の暴風雨を伴った台風15号が九州南東海上にあり

(中心気圧974 mb, 中心付近最大風速30 m/s) 次第に進路を北西にかえ, 九州地方を縦断し黄海方面に去った。

本県ではこれら2つの台風の影響で湿った南東風が鈴鹿山脈に吹きつけ, 22日から23日にかけて同地方一帯に100~250 mmの大雨が降ったが, 平地は10~20 mmで風もつよくならず被害は少なかった。

昭和41年にはじめて日本に上陸した台風であった。

彦根 最大風速 SE 12.2 m/s 23日 05時30分

最大瞬間風速 SE 18.2 m/s 23日 05時30分

警戒状況 大雨情報発表 20日 14時40分

湖上気象情報発表 21日 09時40分

台風情報第1号発表 22日 11時20分

風雨注意報発表 22日 13時30分

同上解除 22日 18時10分

湖上気象情報発表 22日 22時30分

強風注意報発表 23日 05時50分

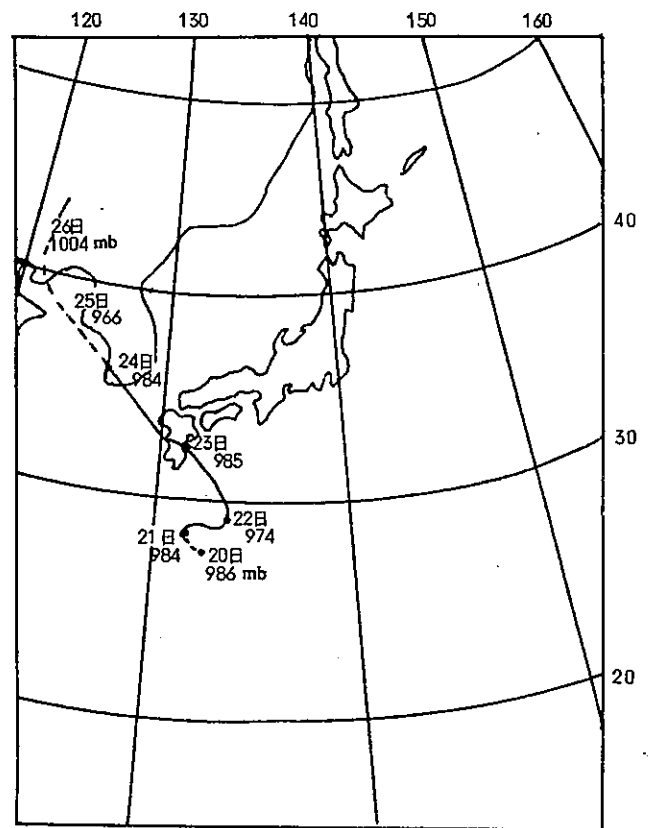
大雨情報発表 23日 14時25分

強風注意報解除 24日 06時00分

降水量 (mm)

台風15号の経路図

観測所	22日	23日	計	観測所	22日	23日	計
彦根	12	2	14	市場	19	9	28
木之本	6	5	11	北小松	9	5	14
竹生島	3	11	14	堅田	5	11	16
今津	5	3	8	土山	117	25	142
大津	3	15	18	治田	6	4	10
多羅尾	12	13	25	日野	35	6	41
水口	24	5	29	瀬田川	7	14	21
八幡	10	2	12	安曇川	14	3	17
政所	180	61	241	油日	118	12	130
中之郷	9	4	13	柏原	62	17	79
愛知川	13	2	15	信楽	16	8	24
吉槻	42	22	64				



被害状況

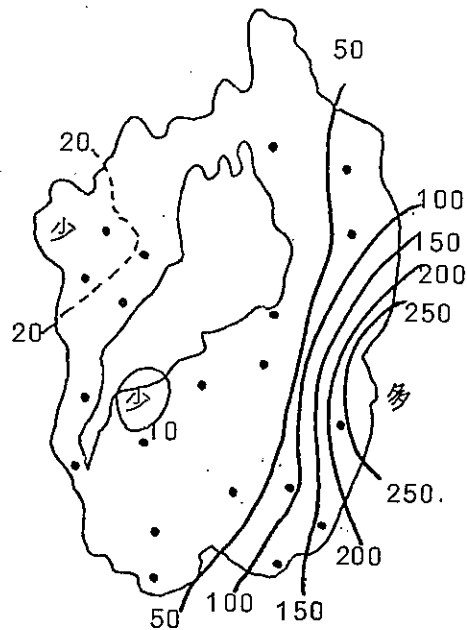
一般被害 住家全壊 1戸 (野洲町)

降水量分布図 (mm)

8月22~23日

公共土木施設被害

区分		数量	被害額 (円)
河川	県	15 ^{カ所}	19,190
	市町村	1	2,500
砂防	県	2	5,400
	市町村		
道路	県	1	450
	市町村		
橋りょう	県	1	2,270
	市町村		
合計		20	29,810



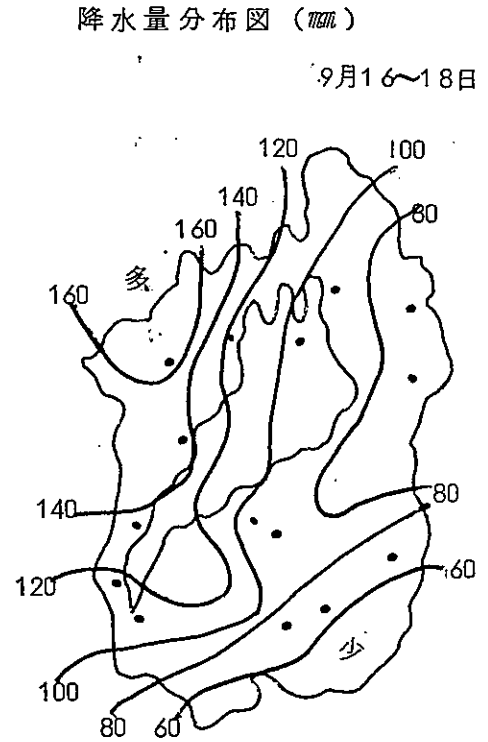
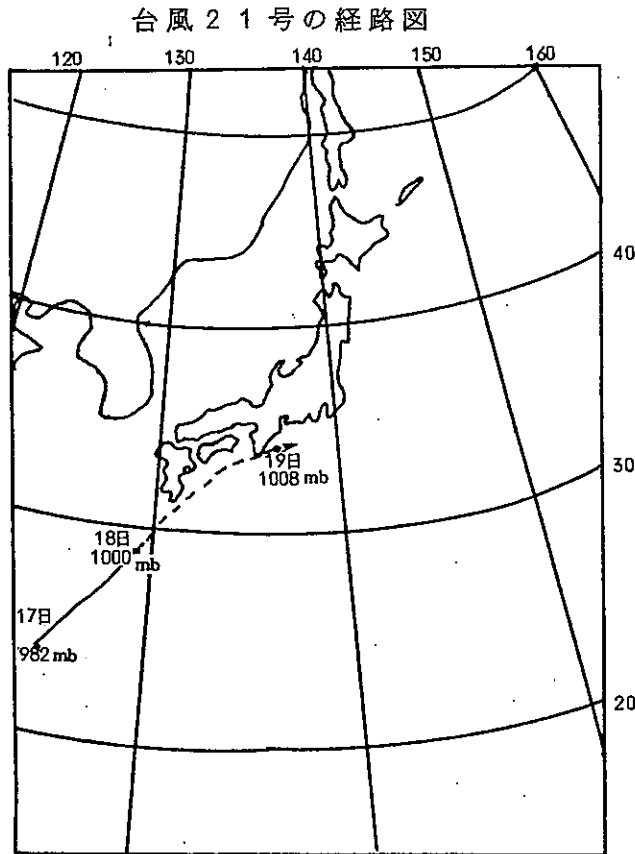
9月16日~18日 台風21号

9月14日、台湾南東洋上に発生した台風21号は北東に進み、南西諸島を通過するところから熱帯低気圧となり九州南西で低気圧と化した。日本の南岸に停滞していた前線の活動が活発になり、16日夜か

降水量 (mm)

観測所	16日	17日	18日	計	観測所	16日	17日	18日	計
彦根	11	15	54	80	市場	12	49	83	144
木之本	9	24	48	81	北小松	17	35	95	147
竹生島	9	27	58	94	堅田	20	38	77	135
今津	9	31	79	119	土山	8	23	22	53
大津	12	32	73	117	治田	11	53	62	126
多羅尾	13	16	22	51	日野	11	23	27	61
水口	19	23	21	63	瀬田川	13	23	72	108
八幡	12	20	58	90	安曇川	12	42	83	137
政所	12	23	27	62	油日	10	28	15	53
中之郷	9	28	55	92	柏原	12	18	42	72
愛知川	9	17	54	80	信楽	10	20	35	65
吉槻	8	23	44	75					

ら雨となり17日は降ったりやんだり、18日は終日降り続き、夜は雷雨となり、19日午後止んだ。この3日間にわたった大雨は湖西地方と湖南地方の一部に100mmを越す降水量を記録、また湖東地方でも50~100mmで次の被害があった。



公共土木施設被害

区分	数量	被害額(円)	主な被害地域および河川の名称
工事	河川	27カ所	66,300
	砂防設備	9	32,000
	道路	11	6,400
	橋りょう		
計	47	104,700	

農地農業用施設被害

区分	数量	被害額(円)	備考
農地	20カ所 4ha	1,000	災害復旧査定に申請せず
農業用施設			
ため池			
頭首工	8	2,000	
水路	15	3,000	
計	43	6,000	

林業被害

区分	数量	被害額(円)	備考
林道	2カ所 125m	3,500	大津市坂本本町
計		3,500	

9月22日～25日 台風24号

9月16日、サイパン島南西洋上に熱帯低気圧が発生、17日3時台風24号となる。21日9時バリントン海峡東方海上に達した頃から北進傾向を強め、南西諸島にそって北上、24日15時鹿児島島の南西130kmの海上に達した。その後進路を東北東にかえ、一時速度がおちたが、25日3時ごろから次第に速度を速め、25日10時ごろ高知県安芸市に上陸した。(台風 中心気圧988mb, 中心付近の最大風速25m/s, 15m/s の強風半径南東側400km 北西側200km) 上陸後、台風は急速に衰えながら、四国東部近畿地方北部をとおり能登半島をへて、25日18時、日本海の別の低気圧に吸収されて消滅した。

本県では、23日朝から24日夜半頃まで降り続き、鈴鹿や伊吹山等では120mmを突破、平地でも70～90mmの大雨になった。また風は25日午後10m/s内外の強風が吹き出したが夕刻にはおさまり、被害は軽微であった。

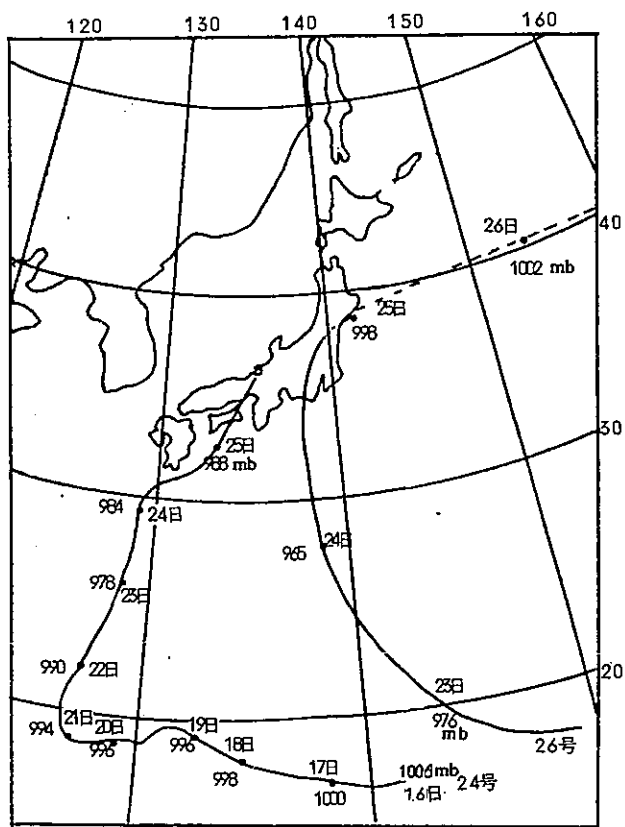
彦根 最大風速 SE 11.7m/s 25日 15時00分
 最大瞬間風速 SE 15.7m/s 25日 13時27分

9月24日～25日 台風26号

24日15時、台風26号が鳥島の西南西250kmの海上に現われ(中心気圧960mb, 中心付近の最大風速35m/s, 25m/sの暴風半径200km, 15m/sの強風半径500km) 加速しながら北上し、24日夜半すぎ御前崎の西に上陸、いくぶん衰えたが、毎時平均70kmの速さで関東地方を斜断し、25日9時には三陸沖にぬけ、温帯低気圧となった。この猛スピードで東海地方に突込んだ台風は、ほぼ3時間にわたって東海関東一帯を激しい暴風雨に包み、富士山頂で最大瞬間風速91m/s(日本観測史上第一位)を記録した。被害は東日本各地に及び、山梨県足和田村では山崩れにより33人の死者を出したのをはじめ、平地でも大きな被害を受け死者行方不明は313人にのぼったが、本県では被害は軽微であった。

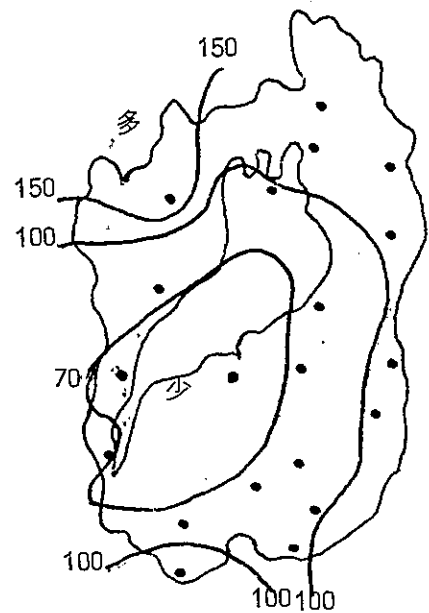
彦根 最大風速 NW 7.2m/s 24日 23時50分
 最大瞬間風速 NW 11.3m/s 24日 23時40分

台風24号、26号の経路図



降水量分布図 (mm)

9月22~25日



降水量 (mm)

観測所	23日	24日	25日	計	観測所	23日	24日	25日	計
彦根	53	13	12	78	市場	66	20	15	101
木之本	75	40	16	131	北小松	53	15	8	76
竹生島	70	19	7	96	堅田	49	10	7	66
今津	68	12	5	85	土山	57	40	6	103
大津	48	14	9	71	治田	52	9	4	65
多羅尾	68	14	3	85	日野	68	11	3	82
水口	69	7	4	80	瀬田川	50	14	6	70
八幡	51	7	7	65	安曇川	63	11	7	81
政所	67	58	4	129	油日	49	25	6	80
中之郷	63	25	24	112	柏原	67	39	8	114
愛知川	55	11	7	73	信楽	65	15	3	83
吉槻	66	23	29	118					

公共土木施設被害

区 分		数 量	被害額 (円)	主な被害河川・橋りょう
河 川	県	カ所 31	63,250	
	市町村			
砂 防	県	4	3,950	
	市町村			
道 路	県	1	1,500	
	市町村	1	3,000	
橋りょう	県	1	400	
	市町村			
合 計		38	72,100	

昭和42年(1967年)

4月8日～20日 長雨

10日頃から本州の南岸に前線が停滞し、長い菜種梅雨がはじまった。4月1日から20日の期間中降雨のない日は1. 6. 7日の3日間で彦根の合計雨量252.4mm, 4月の合計雨量268.5mmとなり気象台創設以来の記録となった。県下の農作物は極度の日照不足で生育不良, 病虫害の発生, 果実の落下が目立つ被害がでた。

4月の月合計降雨量の最大値は, 1位268.5mm(昭和42年=1967), 2位230.5mm(明治29年=1896), 3位229.7mm(昭和21年=1946)

被害状況 高時川, 余呉川 7カ所 決壊

大津市堅田, 伊香郡余呉村, 県道土砂崩れ 2カ所

降水量 (mm)

日 地名	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
彦根	24	19	10	—	9	18	2	20	28	0	14	35
木之本	25	25	8	—	8	16	0	11	29	0	16	31
竹生島	30	25	8	—	8	19	2	17	30	1	17	40
今津	40	27	9	—	8	21	0	15	34	1	19	38
大津	27	26	9	—	10	20	6	24	21	—	4	27
多羅尾	18	18	13	0	8	24	7	25	14	0	5	22
水口	26	23	9	0	7	15	6	23	19	—	10	21
八幡	30	19	8	—	11	16	5	25	36	0	13	25
政所	37	22	10	—	7	19	6	22	25	0	12	28
宇之郷	27	26	7	—	8	14	1	12	32	—	17	43
愛知川	26	22	8	—	9	17	4	19	29	0	11	23
吉槻	35	29	11	—	12	26	1	11	26	1	17	48
市場	37	22	8	—	6	19	1	22	38	1	15	29
北小松	45	25	8	—	11	18	3	27	34	0	18	42
堅田	36	26	9	—	12	17	5	27	26	5	13	30
土山	39	25	10	0	8	16	7	25	25	0	10	24
治田	24	24	7	0	9	17	6	23	22	—	10	22
日野	22	20	8	—	10	17	5	19	22	0	11	21
瀬田川	23	27	7	0	6	17	7	22	20	—	6	27
安曇川	37	38	7	—	8	18	1	21	35	1	20	39
油日	22	22	14	0	6	19	6	24	21	0	6	21
柏原	48	23	11	—	9	21	2	19	36	0	21	46
信楽	24	23	16	0	9	21	6	26	15	1	6	21

公共土木施設災害 県工事 8ヶ所 22,106冊 高時川 外

昭和42年7月豪雨

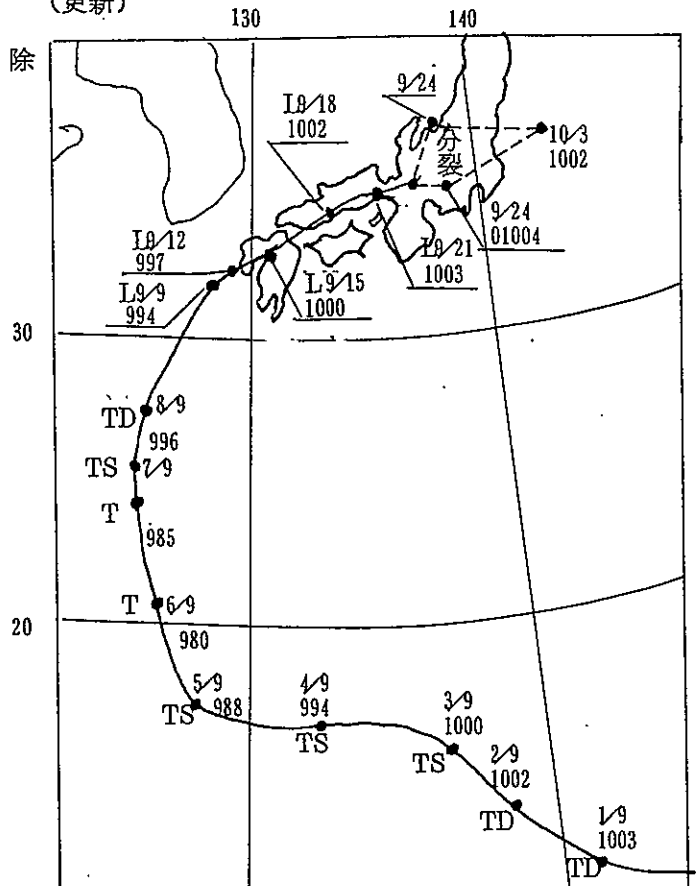
マリアナ群島付近に発生した熱帯低気圧は、7月2日台風となり、9日6時北緯29度 東経126度30分に達した頃熱低になったが、この熱低の北上に伴ない、日本の南海上にあった梅雨前線は北上して、前線活動が活発になった。この低気圧は9日から10日にかけて九州の瀬戸内・近畿・中部地方を猛スピードで通過、関東沖に去った。このため各地で豪雨となり、とくに長崎・佐世保・呉・神戸の各地で死者・行方不明364人をはじめ、山崩れ、家屋全壊、流失など大きな被害があった。

本県では、9日朝から雨が降り続き、低気圧が通過した夕刻から夜半にかけて時々雷を伴った強雨となった。この雨は南西部では150mm以上の大雨となり、南西部を中心に崖崩れ、小河川のはんらんなど、かなりの被害が発生した。

警戒状況

7月 8日 14時40分 大雨注意報
 9日 16時50分 // (更新)
 10日 05時40分 解除

台風7号の経路図

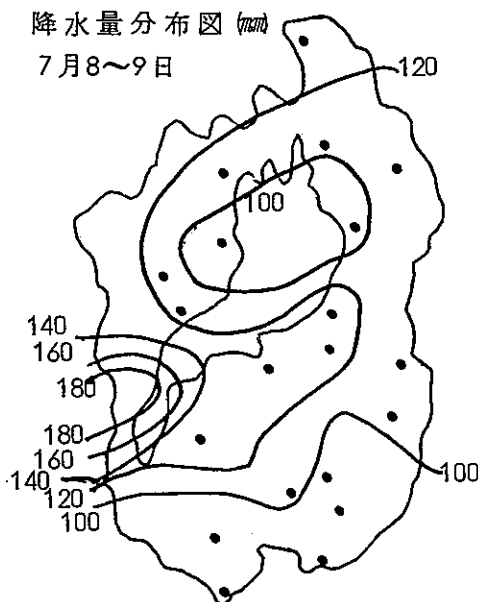


降水量 (mm)

地名	8日	9日	10日
彦根	17	104	—
木之本	19	82	—
今津	17	87	—
大津	19	121	—
多羅尾	14	63	—
水口	16	87	—
八幡	37	88	—
政所	16	108	2
中之郷	31	86	—
愛知川	33	90	—
吉槻	18	101	—
市場	11	110	—
北小松	21	94	0
堅田	47	136	0
土山	22	54	—
治田	15	115	—
日野	14	86	0
瀬田川	11	93	—
安曇川	7	74	0
油日	26	51	0
柏原	13	91	—
信楽	16	70	0

註

降水量分布図 (mm)
7月8~9日



6日/9時
 ・980mb
 TD 弱い熱帯低気圧
 TS } 台風
 T }

被害状況

区 分		数 量	被害額 (円)	
人的被害	行方不明	1人		
	負傷者	1人		
家屋被害	全壊	4戸	6,000	
	半壊	20 "	15,000	
	一部損壊	2 "	600	
	床上浸水	63 "	3,150	
	床下浸水	2,361 "	70,830	
農地被害	田	冠水	3,990.7 ha	39,900
		浸水	6,146.7 "	-
		土砂流入	2.45 "	2,400
		流失	126ヶ所 45.81 ha	14,920
		埋没	220ヶ所 84.69 ha	17,635
		畦畔崩壊	887ヶ所 5,784 m 44.16 ha	9,220
	畑(果樹園他)	冠水	2.22 ha	2,200
		浸水	15 "	1,500
		流失	1ヶ所 0.01 ha	50
	被林害	林道	延長1.800m 35線	15,000
治山		崩壊地30ヶ所 山腹5ha	20,000	
農業用施設被害	頭首工	40ヶ所	28,050	
	橋梁	29 "	16,650	
	農道	61 " 1,594 m	5,810	
	堤防	1ヶ所 8 m	360	
	水路	183ヶ所 4555 m	16,800	
	溜池	10ヶ所	7,650	
	農地保全	5 " 37.0 ha	3,150	
施設共被害木	河川	222ヶ所	386,264	
	砂防	23 "	26,105	
	道路	64 "	68,560	
	橋梁	8 "	5,050	

警戒体制等の現況

7月8日、14時40分、大雨注意報の発表と同時に県水防本部を設置し、第1配備体制をとり、河港課8名、各土木事務所(10人×8ヶ所)80名、消防防災課5名が徹夜警戒にあたる。

7月9日、前日に引き続き、河港課9名、各土木事務所(15人×8ヶ所)120名、消防防災課8名、各県事務所(2人×6ヶ所)12名は、県下各地の雨量、河川の水位、被害状況の収集等にあたる。

大津市は19時30分災害対策本部を設置し、事態に対処した。

副知事、企画部長は鶴の里団地、皇子が丘、山中町等災害現地へ関係者を激励するため訪問、実状調査の結果を副知事、総務、企画、厚生、土木、各関係部長が検討、応急対策について協議、事態に対応した。

自衛隊災害派遣の状況

自衛隊出動人員 224名

1. 大津市皇子が丘土砂採取現場の土砂および湛水対策

大津市よりの自衛隊派遣要請に基づき、9日19時45分知事はただちに駐とん地司令に対し災害派遣を要請、大津駐とん地より122名が出動し、24

時撤収した。

地元消防団員20名、熊谷組作業員約50名地元民多数出動し、水防作業に従事した。県警察特別機動隊11名、大津警察署39名計50名が出動。

2. 大津市堅田町天神川の溢水による水防作業のため9日22時20分に53名を出動要請し、10日2時50分撤収した。
3. 大津市下阪本町大宮川の溢水による水防作業のため9日22時00分に21名を出動要請し10日0時に撤収した。
4. 大津市山中町北谷の山津波による民家の流入土砂を除去するため10月13時20分33名を出動要請した。7月11日18時に撤収した。(11日人員41名)

7月21日の大雨

21日朝、甲賀郡鈴鹿山系で局地的な大雨があり、同郡土山町の野洲川ダムが水門を全開したので、濁流が鉄砲水となって下流に押しよせ、同日午後野洲川下流の3ヶ所で魚とりの中学生9人が中洲へ取り残されたが、救出された。

各地の降水量	土山	34mm	八幡	1mm	その他	0または降水量なし
	日野	9mm	政所	1mm		

8月21日～23日 台風18号

8月15日サイパン島北西洋上で発生、18日台風18号になった。その後次第に発達し、21日午前北緯30度線を通る頃から次第に北東進(22日03時 中心気圧980mb 最大風速30m/s、風速25m/s以上の暴風、半径50km)、22日14時ごろ和歌山県串本町に上陸した。その後、次第に衰弱して、熱帯低気圧となり、浜名湖付近より再上陸し、関東南部より鹿島灘に去った。本県の被害は微少であった。

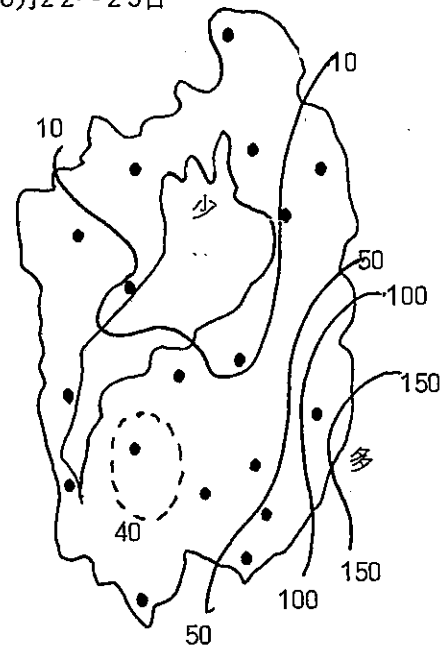
総降水量

土山	87mm	政所	115mm
(関電)神崎川	179mm	黄和田	92mm

9月13日 台風22号

台風22号は8月29日ウェー半島南東洋上で発生、9月17日15時熱帯低気圧になるまで18日と

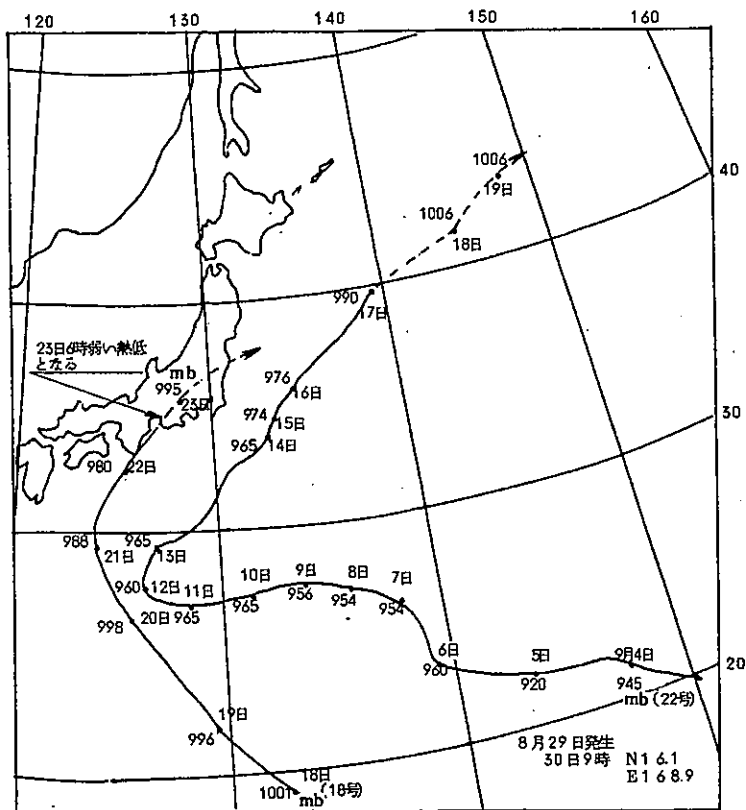
台風18号の降水量分布図(mm)
8月22～23日



9時間の記録的な長寿台風となった。台風が発生して14日間を要して転向点に達し、さらに北緯30度線をこえるまで約15日間を費している。また転向点に達したとき24号25号がそれぞれ接近し、日本の南東海上に大きな低圧区域をつくり相互干渉をおこした。9月11日ごろ日本の南岸に前線があり、台風22号がこれを刺激したため、山陰地方、紀伊半島などで局地的な大雨が降った。本県では12~13日に降雨があり、鈴鹿山脈に100~140mm、平野部で30~60mmの降水量があったが被害は軽微であった。

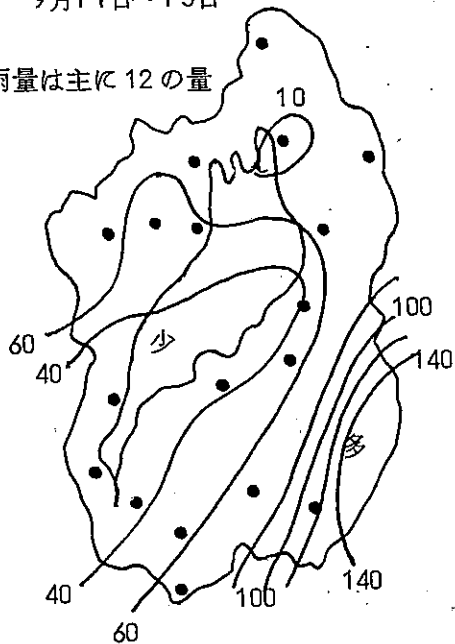
彦根 最低気圧	1,000.1 mb	9月13日14時20分
最大風速	NNW 12.0 m/s	13日06時00分
最大瞬間風速	NNW 18.1 m/s	13日06時02分
総降水量	39.2mm	12日09時20分~13日19時40分
1時間降水量の最大	13.3mm	12日19時46分~20時46分
10分間 "	3.8mm	12日20時10分~20時20分

台風18号・22号の経路図



降水量分布図 (mm)
9月11日~13日

雨量は主に12の量



10月27日~28日 台風34号

16日にトラック島付近に発生して17日に台風34号となる。23日03時バリンタン海峡東方1,000kmの洋上で最盛期に達し中心気圧950mbとなったがのち26日から27日にかけて幾分弱まりながら南西諸島東海上を北東進し27日21時、紀伊半島南海上130km付近に達し、熊野灘を

北上、渥美半島をかすめて28日03時半愛知県南部に上陸した。

上陸後分裂し佐渡付近と関東東方海上に中心をもつ温帯低気圧となったが29日03時には再び結合して984mbの低気圧となり北東進した。

台風34号の特徴

1. 10月下旬に日本に上陸した台風は今回のものを合わせて僅かに3例である。

大6.10.26 東海地方に上陸

昭4.10.26 関東地方南部に上陸

2. 台風により中部山岳地帯に雪が降ったのは珍しい。(長野、群馬の山岳部、奥秩父一带に降り、ところにより50cmに達した。)

3. 日本の南海上にあった前線と台風とによって全国的に降雨があり、潮岬425mm、尾鷲401mm、九州北部、瀬戸内で異常かつ水が解消した。

本県では、26日夜半すぎから雨となり、台風が紀伊半島南端に接近する頃から風雨が強くなり、28日早朝までつづき、台風が新潟付近に達する頃、最大瞬間風速NW25.4m/sを記録した。また雨量は鈴鹿山系で、150~180mm、平地で80~100mmの大雨となり、各河川は増水したが被害は軽微であった。

彦根	最低気圧	985.3mb	28日04時03分
	最大風速	NW15.3m/s	同 08時50分
	最大瞬間風速	NW25.4m/s	同 08時40分
	総降水量	128.5mm	27日00時~28日24時

昭和43年(1968年)

6月10日 風雨

発達した低気圧が日本海附近を東進したので南東の風雨が強まり、東浅井郡浅井町内保で建築中の作業場が倒壊した。(風雨注意報10日07時20分発表)

彦根 最大風速 ESE 12.7 m/s 10日14時40分
 最大瞬間風速 SE 19.3 m/s 10日13時47分

S43

7月2日 大雨

梅雨前線が西日本を東西に伸び低気圧が2日昼すぎから夜半にかけて瀬戸内近畿南部を通過して東海地方に進んだ。この前線と低気圧、更に南方洋上の台風3号の影響で西日本各地に大雨が降った。

降水量 (mm)

観測所名	7月1日	7月2日
彦根	10	69
伊吹	7	61
大津	16	163
君ヶ畑	11	86
荒川	9	60
柏原	13	93
日野	13	72
政所	17	82
信楽	14	84
中河内	3	41
北小松	20	51
大鳥居	15	113
愛知川	12	107
多羅尾	16	92
水口	13	85
中之郷	8	42
土山	14	58
油日	15	62
今津	11	36
堅田	20	89
八幡	13	105
黒津	13	149
市場	12	57
神崎川	20	82

本県では、朝から降りだした雨は午後から強くなり、夜にかけて県南部で100～170mm、北部で50mm内外の大雨となった。なお大津では1時間に46mmが記録され、この大雨で被害が発生した。

警戒状況

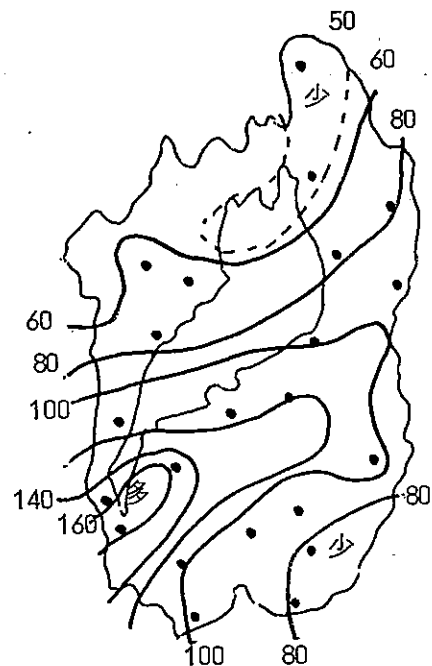
大雨注意報 7月2日12時15分

解除 7月3日06時30分

警戒体制の状況

7月2日12時15分、大雨注意報の発表と同時に県水防本部を設置し第1配備体制をとり、河港課7名、砂防課6名、各土木事務所約80名、消防防災課4名が徹夜警戒し、県下各地の雨量、河川の水位、被害状況の収集等に当たった。

降水量分布図 (mm) 7月1日～2日



被害の概要 被害総額 323,685円

1. 人の被害

重傷 1人

- 7月3日00時頃、野洲郡野洲町入町地先の光善寺川堤防において野洲町消防団員 中村正治 (31) が水防活動中、ひざを打撲、膝蓋骨折で3ヶ月の重傷を負った。

2. 家屋の被害 34,740円

区分	大津市	草津市	栗東町	守山町	野洲町	近江八幡市	五箇荘町	計	被害額(円)
一部損壊	1							1	300
床上浸水	1	25						26	1,560
床下浸水	461	825	120	50	70	109	9	1,644	32,880

3. 公共土木施設被害 (市町村工事を含む) 239,688円

区分 土木事務所別	河川		砂防		道路		橋梁		計	
	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)
大津	63	51,440			9	5,962	1	500	73	57,902
草津	56	55,650	2	900	22	7,310			80	63,860
水口	14	12,490			5	1,990			19	14,480
八日市	32	46,596	1	480	4	3,110			37	50,186
彦根	5	6,600	3	4,210	4	1,950			12	12,760
長浜	12	37,300							12	37,300
木之本										
今津	3	3,200							3	3,200
計	185	213,276	6	5,590	44	20,322	1	500	236	239,688

主な被害河川.....柳川, 盛越川, 葉山川, 伯母川, 中の井川, 祖父川, 佐久良川, 天野川, 黒田川

主な被害道路.....栗東信楽線, 三津彦根線

4. 農林関係

49,257冊

(1) 農地

31,912冊

区分		被害数量		被害額(冊)	備考
水田	冠水	754.1 ha		19,380	草津市, 栗東町
	浸水	1,175.0		-	近江八幡市, 能登川町
	流失	0.1		58	
	埋没	28ヶ所	3.55	2,270	大津市, 草津市(中の井川決壊)
計		1,932.75		21,708	
畑	冠水	25.0		2,680	
	浸水	50.0		2,500	
	流失	3ヶ所	0.31	849	永源寺町
	埋没	1ヶ所	0.02	100	草津市
計		75.33		6,129	
畦畔	58ヶ所	1,876 m	4,075	大津市, 甲西町	
合計	2,008.08 ^{ha}		31,912		

(2) 農業用施設

14,145冊

区分	被害数量		被害額(冊)	備考
ため池	8ヶ所		1,470	草津市, 大津市, 埋没および法面すべり
頭首工	7		1,700	栗東町, 大津市, 護岸流失および一部堰本体流失
水路	900 m	43	6,400	草津市, 栗東町, 野洲町, 埋没および護岸洗堀
道路	990 m	54	3,615	栗東町, 草津市, 永源寺町, 法面崩れ
橋りょう	2		960	草津市, 流失
計	114		14,145	

(3) 林業

3,200冊

区分	被害数量		被害額(冊)	備考
林道	3ヶ所		200	大津市, 竜王町, 蒲生町
治山	1件		3,000	大津市
計			3,200	

7月28日 台風4号 (台風6804)

台風4号の特徴

7月に上陸した台風としては、昭和37年の7号台風以来6年ぶりであった。

台風の経路は、四国上陸後九州北部を一回転するという夏型としても特異で、異常な経路を画いた。いままでの経路でこれに類似したものはない。

中心気圧は弱かったが、台風の規模が大きかったので、中心から600kmも離れた関東地方の山岳部にも大雨が降った。

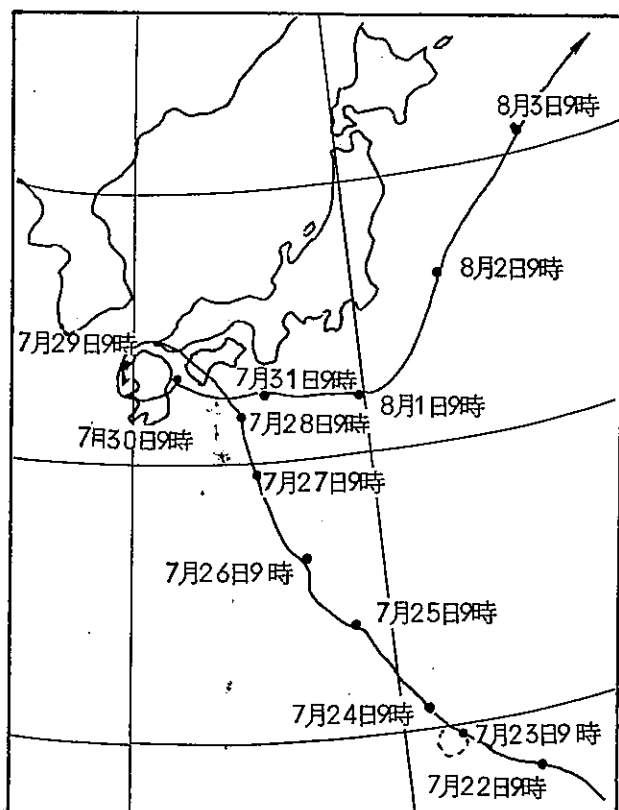
大雨が降ったところは、南東斜面地帯で、大台ヶ原日の出岳1,546mm、箱根芦の湯944mm。

本県では鈴鹿山系に300~400mmの大雨が降ったが、平野部は少なかったので、被害は軽微であった。

台風4号による極値表 — 彦根 —

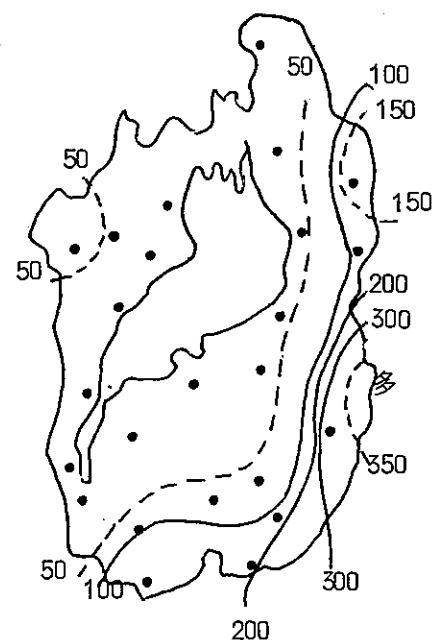
最低気圧	993.3 mb	7月28日17時12分
最大風速	ESE 13.3 m/s	// 16時30分
最大瞬間風速	ESE 19.3 m/s	// 17時34分

台風6804 (MARY) 経路図



降水量分布図 (mm)

7月27日~8月2日



被害状況

(1) 公共土木施設被害

河川 1カ所 3000冊

(2) 農産被害

区分	面積	数量	被害額(円)
水稲	2,736 (ha)	69.3 (t)	9,943
野菜	12	24	714
果樹	17	2.7	340
桑	11	0.525	525
飼料作物	73	234.6	938
その他	2	9.18	734
計	2,851	340.305	13,194

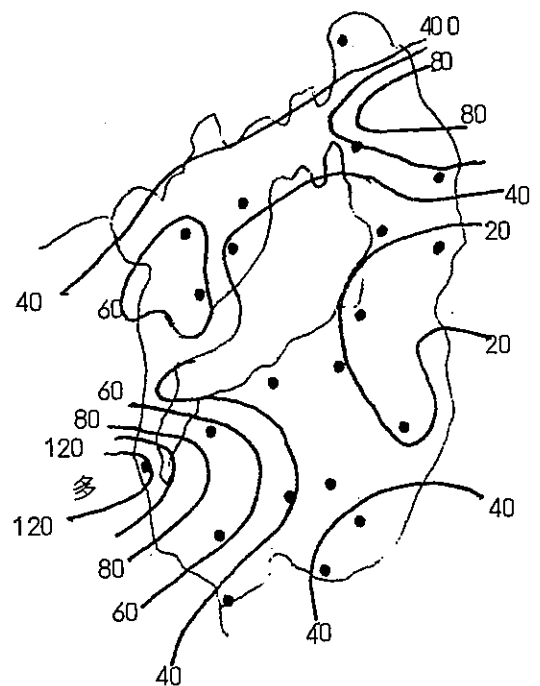
8月17日～18日 台風7号(6807) 飛弾川バス転落大惨事

- 台風7号もまた迷走台風である。
- 転向が急激で、転向点に達して台風の中心気圧はもっとも低くなった。
- 台風が温帯低気圧化したのち、これから延びる寒冷前線が日本をゆっくり東進する際、高知、京都、岐阜、長野の各府県に大雨が降り、とくに岐阜県山間部では強雷雨となり、記録的な大雨が降った。(美並 1時間最大雨量114mm)

降水量 (mm)

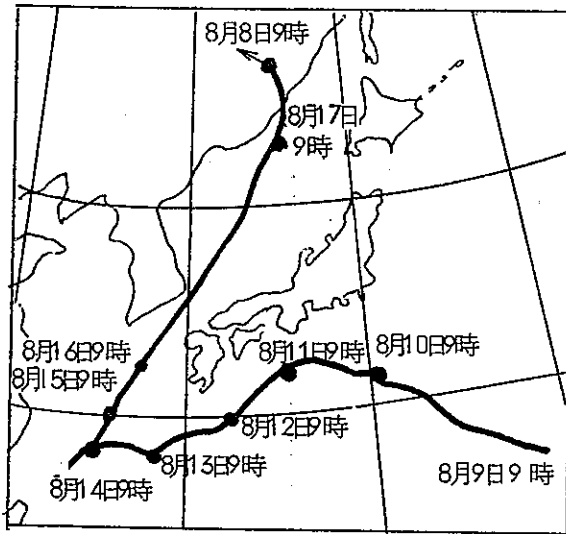
観測所名	16日09時～ 18日09時	観測所名	16日09時～ 18日09時
彦根	13	君ヶ畑	25
大津	139	荒川	51
政所	18	高時川	57
柏原	14	草野川	37
日野	30	伊吹	65
土山	50	中村	53
大鳥居	59	途中	42
信楽	65	黄和田	15
治田	71	神崎川	29
多羅尾	34	瀬田川	114
八幡	28		

降水量分布図 8月16日～17日

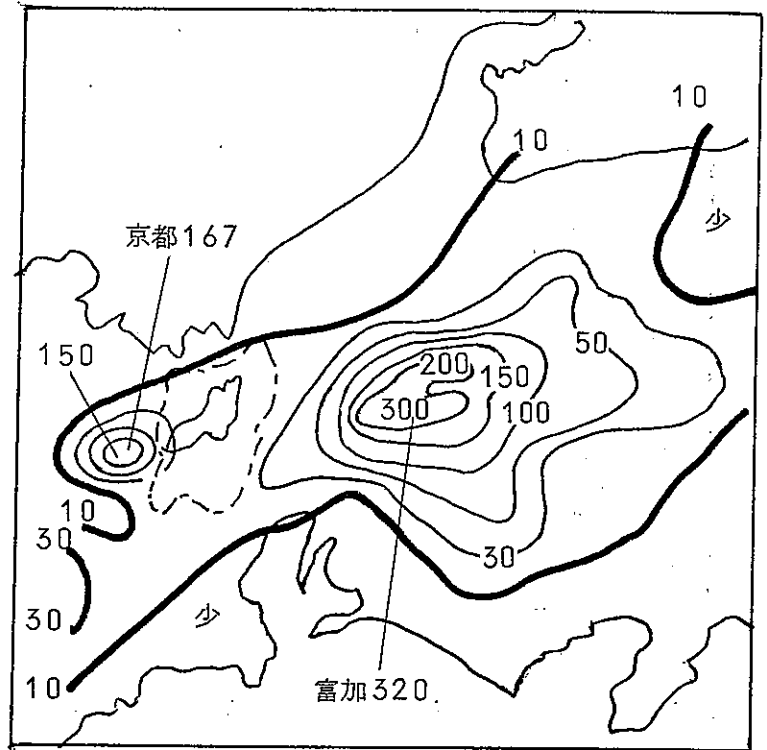


台風6807 (POLLY) の経路図

日降水量図



8月17日9時~18日9時 (mm)



被害の概要

39,950 冊

1. 家屋の被害

床下浸水	大津市	93棟	被害額	900冊		
	大津市 竜が丘	3	大門通り	12	観音寺	25
	尾花川	17	御陸町	9	松本丁目	15
	山上町	6	その他	6		

2. 公共土木施設被害 (市町村工事を含む) 33,050冊

区分 土木事務所	河川		砂防		道路		橋梁		計	
	個所数	金額(冊)	個所数	金額(冊)	個所数	金額(冊)	個所数	金額(冊)	個所数	金額(冊)
大津	21	22,700	6	8,700	1	200	1	950	29	32,550
水口					1	500			1	500
合計	21	22,700	6	8,700	2	700	1	950	30	32,050

主な被害河川……三田川 (大津市), 四の宮川 (大津市), 柳川 (大津市), 篠谷川 (大津市)

主な被害道路……栗東信楽線 (信楽町)

3. 農業用施設被害

区分	被害数量	被害額 (円)	備考
頭首工	2ヶ所	2,000	大津市, 井堰本体流失
水路	157m 7ヶ所	3,000	大津市, 草津市, 1部流失および護岸欠損
橋りょう	2ヶ所	1,000	大津市, 流失および護岸欠損
計		6,000	

8月25日～26日 台風10号 (台風6810)

8月22日沖の鳥島の東南東洋上に発生し、24日9時台風となった。その後27日3時まで4回もループコースをとるといいう経路をとっている。沖縄近海にあった24日から、前線が西日本に停滞し25日には台風から流れこむ高温多湿な空気が前線を刺激、各地に雷雨性の強い雨を降らした。この雨は台風が日本に上陸する28日ごろまでつづき、愛知県、長野県南部、静岡県で集中的な大雨が降った。

本県では特に東部山岳地帯に200～300mmの大雨が降り、次の被害が発生した。

警戒状況

8月25日	雷雨注意報	21時45分
26日	大雨 "	04時30分
"日	東部大雨警報	10時45分
	洪水注意報	
"日	大雨注意報	17時00分
"日	" 解除	22時20分
27日	" 発表	14時50分
28日	" 解除	17時00分
29日	風雨注意報発表	08時00分
"日	台風情報第1号	10時00分
"日	" 第2号	14時15分
"日	" 第3号	18時30分
"日	風雨注意報解除	21時50分

台風10号による極値表 (彦根)

最低気圧	990.7 mb	8月29日 16時34分
最大風速	WNW10.7 m/s	29日 20時30分
最大瞬間風速	WNW16.8 m/s	29日 20時21分
総降水量	213.5mm	

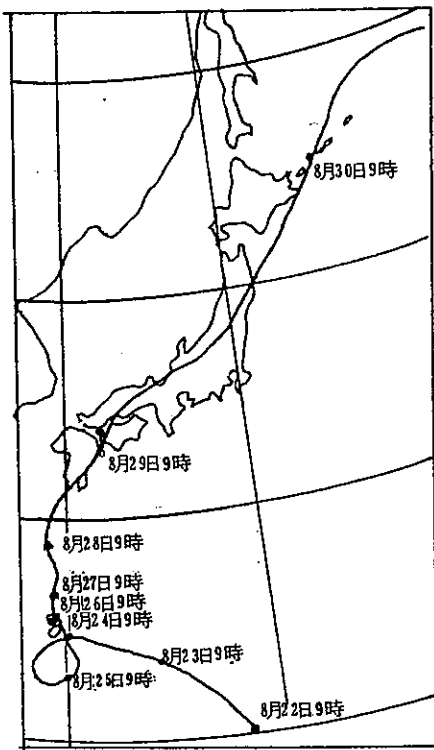
日降水量の最大値 80.5mm

1時間 // 54.5mm (この値は気象台創立以来第3位)

降水量 (mm)

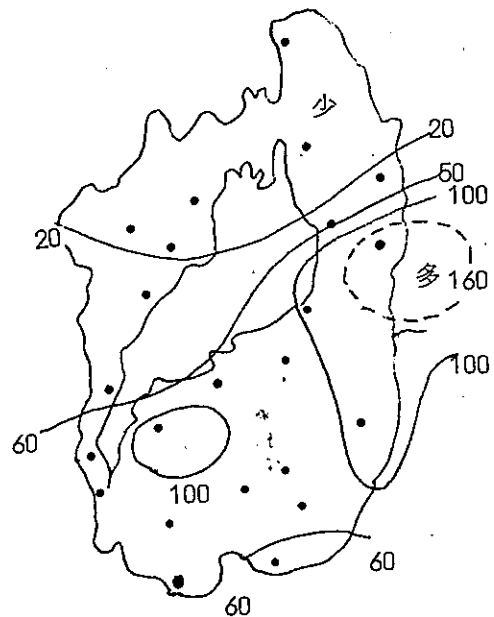
観測所	25日09時～ 26日09時	26日09時～ 27日09時	27日09時～ 28日09時	28日09時～ 29日09時	29日09時～ 30日09時
大津	80	4	86	1	48
大鳥居	79	22	50	1	35
草津	104	6	71	2	38
水口	80	28	65	0	30
油日	44	35	62	2	54
信楽	52	20	65	—	29
多羅尾	77	23	68	4	45
土山	71	37	57	0	60
八幡	93	9	37	1	32
日野	120	12	64	0	23
神崎	137	17	53	1	55
黄和田	123	12	50	0	45
政所	132	17	57	—	55
君ヶ畑	124	14	43	1	77
愛知川	86	10	42	1	20
彦根	112	48	30	3	22
柏原	148	80	35	4	70
伊吹	40	17	33	1	22
吉槻	25	29	32	7	31
草野	19	12	32	1	23
高時	2	12	7	10	14
中之郷	8	6	28	4	18
今津	8	20	21	4	26
安曇川	26	28	23	4	32
荒川	15	32	27	8	30
市場	15	28	25	9	31
北小松	46	26	31	4	56
中村	30	27	28	7	56
途中	23	25	26	8	12
堅田	58	10	41	2	63

台風6810 (TRIX) 経路図



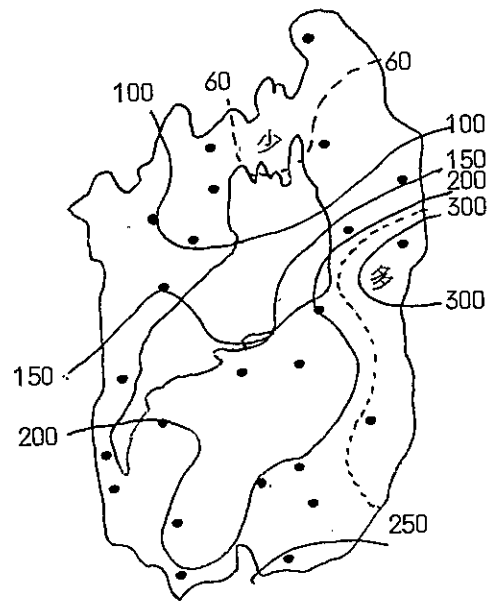
降水量分布図 (mm)

8月25日~26日



総降水量分布図 (mm)

8月25日~29日



警戒体制の状況

26日午前4時30分大雨注意報発表と同時に県水防本部設置, 第1配備体制につき, 26日夜間の消防防災課は警戒1号体制として水防本部と共に警戒に当たったが, 午後10時20分大雨注意報解除のため体制を解いた。

27日午後2時50分大雨注意報発表と同時に県水防本部を再び設置。

27日夜間の警戒体制は警戒1号体制として消防防災課員が水防本部と共に徹夜警戒にあたる。

28日午後5時県水防本部閉鎖。

29日午前8時県水防本部設置。

29日午前11時県警察本部は, 災害警戒体制に入るよう各警察署に指令した。

29日午後9時50分, 風雨注意報解除まで警戒に当る。同時刻県水防本部閉鎖。

被害の概要

920,862冊

1. 人の被害

軽傷 3人

8月26日00時頃、神崎郡永源寺町山上、木村一二郎宅の配電線に落雷。このため家族3人が背中、左足に1週間程度の軽い火傷を負った。

2. 家屋の被害

11,830冊

8月26日の被害

区分	大津市	彦根市	草津市	栗東町	石部町	土山町	能登川町	山東町	米原町	計	被害額
全焼(落雷)						1				1棟	1,000冊
床上浸水	13		3							16	800
床下浸水	323	38	496	14	142		16	32	13	1,074	10,000
計	336	38	499	14	142	1	16	32	13	1,091	11,800

8月29日の被害

区分	大津市	計	被害額
床下浸水	4	4棟	30冊
計	4	4	30

3. 公共土木施設被害(市町村工事を含む)

496,803冊

(最終)

土木事務所別	河川		砂防		道路		橋梁		計	
	個所数	金額	個所数	金額	個所数	金額	個所数	金額	個所数	金額
大津	20	36,450冊	5	4,200冊	3	2,760冊			28	43,410冊
草津	33	78,465	8	4,400	1	250			42	83,115
水口	22	72,730			1	280	1	250	24	73,260
八日市	49	102,218	1	3,100	4	1,000			54	106,318
彦根	16	91,350	6	12,000	2	1,450			24	104,800
長浜	28	74,200	9	10,050	3	1,650			40	85,900
木ノ本 今津										
合計	168	455,413	29	33,750	14	7,390	1	250	212	496,803

主な被害河川……………大津市（常世川，国分川），草津市（葉山川（26日午前5時欠壊2.0m），伯母川），栗東町（金勝川），甲西町（租父川，落合川）甲賀町（和田川），石部町（宮川，落合川），八日市市（大洞川），竜王町（租父川），日野町（出雲川），永源寺町（蛇砂川），蒲生町（佐久良川），多賀町（犬上川），近江町（菜種川），山東町（天野川），長浜市（奥平川，米川），堤防の欠損。

主な被害道路……………大津市（宇治瀬田線），甲賀町（小佐治甲南線），愛東村（曾根線）

4. 鉄道被害

○不通箇所 1箇所

東海道線石山駅構内を横断する盛越川の増水により路線が冠水，26日02時29分から03時57分までの約1時間30分にわたり上下線とも不通となった。

○徐行箇所 1箇所

同上箇所において29日午後の降雨により盛越川が増水したため16時50分から17時36分までの46分間徐行運転となった。

5. 通信被害

不通回線 市外 7回線

市内（加入者） 711回線

彦根，八日市，草津および水口局において，26日一時的に通信不能となった。

6. 国道路肩の土砂くずれ

彦根市吉沢町地先の国道8号線において26日，路肩4.5m，法長1.2m，深さ1.3m，70～80m³の土砂くずれが生じたが交通に支障なし。

7. 彦根城石垣の崩壊

26日13時頃，高さ4m，巾8mにわたり石垣崩壊，他に支障なし。

8. 住民避難

大津市富士見台，宅地造成地において27日午後2時30分頃，土砂の流出があり，松原高保方の玄関，炊事場に流入した。附近8世帯31人は危険であったので富士見会館に一時避難した。なお，29日の降雨により再度危険となったので親戚（3世帯）および同会館（5世帯）に避難した。

9. 農林被害 412,229冊

(1) 水 稲（倒伏）

被害面積 4,340ha

減収量 2,873t

被害額 392,593冊

主な被災地（倒伏面積100ha以上の市町村）

彦根市（300^{ha}） 長浜市（480） 草津市（249） 土山町（116）

甲良町(246) 山東町(124) 米原町(235) 近江町(100)
 浅井町(120) 虎姫町(180) 湖北町(130) マキノ町(200)
 今津町(200) 安曇川町(320) 高島町(200) 新旭町(128)

(2) 野菜

区 分	被害数量	被害額	備 考
カンラン育苗ハウス	250 坪	134 冊	草津市 ハウス1部損壊
しょうが	29 t 10 ha	290	米原町 冠水
計		424	

(3) 農地

区 分	被害数量	被害額	備 考
水田埋没	7カ所 0.31 ha	510 冊	草津市, 栗東町, 長浜市
畑流失	1 0.01	12	長浜市
畦畔流失	2 0.4	210	大津市, 石部町
計	10 0.72	732	

(4) 農業用施設

区 分	被害数量	被害額	備 考
頭首工	4カ所	1,850 冊	草津市, 石部町, 水口町, 米原町
ため池	10	8,280	大津市, 草津市, 湖東町,
橋りょう	1	160	草津市
農道	6 202 m	2,140	草津市, 土山町, 日野町, 永源寺町
水路	15 361 m	6,050	大津市, 長浜市, 栗東町, 信楽町
計	36	18,480	

昭和44年(1969年)

6月25日~26日の大雨

[昭和44.6.24~26日の低気圧による風水害]

[概況] 6月中旬頃から日本の南海上に東西に伸びる梅雨前線が停滞し、この前線上の華南に23日低気圧が発生、25日3時には済州島付近に達した。この頃から華南から東へ伸び、西日本に達する顕著な湿舌が現われ前線活動が活発になり、西日本全域に大雨を降らせ、各地に水害をもたらした。

本県でも25日昼頃から雨が降り出し、湖西北小松の181mmを最高に50~150mmの大雨が降り水

害が発生した。

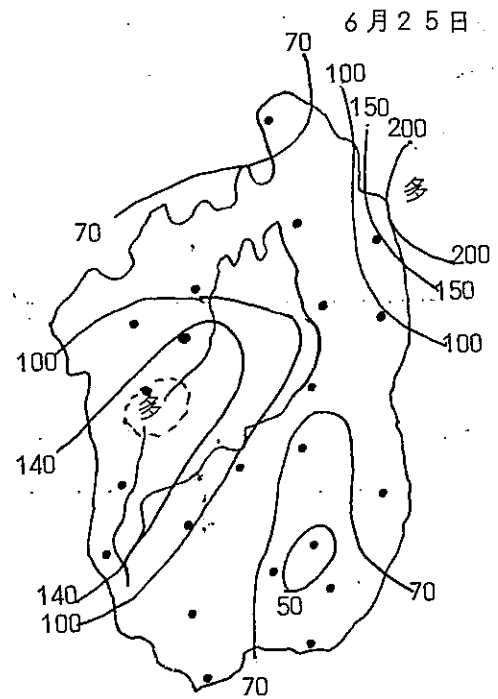
風水害の特徴

- イ) 6月としては珍らしく発達した低気圧が日本海南部を通りこれに伴い梅雨前線が北上し、前線活動が活発化して起ったものである。
- ロ) この低気圧及び前線は、西日本の太平洋側と東海地方に短時間でかなりの大雨を降らせ、また東日本には強風を吹かせた。(東京最大瞬間風速26日5時34.0 m/s)
- ハ) 今回の風水害のうち、西日本と東海地方の大雨は梅雨前線に顕著な湿舌が流入し、前線活動を活発化したために起り、東日本の強風は低気圧の進行方向にあたる日本の東方に強い気圧の尾根があって低気圧の接近により気圧傾度が強まったため起ったものである。

降水量 (mm)

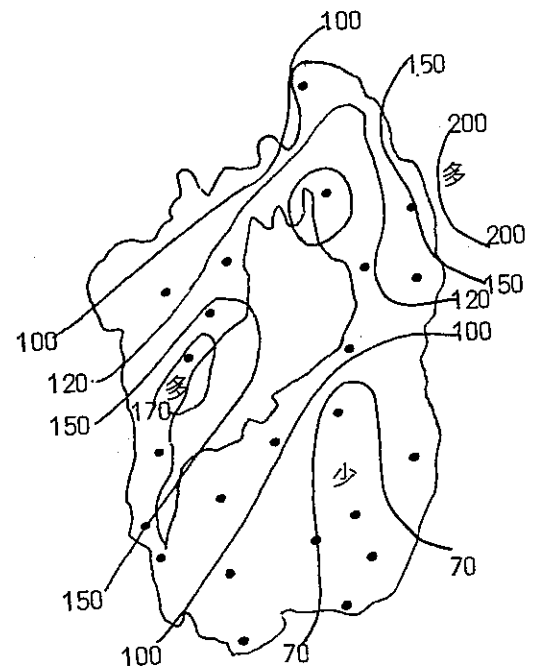
観測所	6月25日	26	観測所	6月25日	26
彦根	83	9	水口	64	8
君ヶ畑	98	10	八幡	99	6
荒川	96	19	吉槻	101	26
政所	82	10	木之本	79	20
土山	58	7	中之郷	89	16
日野	46	8	今津	96	20
柏原	95	30	市場	109	19
信楽	80	9	北小松	172	9
大津	148	5	堅田	145	10
多羅尾	78	8	治田	108	9

降水量分布図 (mm)



降水量分布図 (mm)

6月25~26日



警戒状況

6月25日 風雨注意報発表 13時10分
 26日 // 解除 06時20分

2. 県の体制

6月25日、13時10分風雨注意報の発表と同時に県水防本部を設置し、第1配備体制をとり河港課8名、砂防課2名、土木事務所約100名、消防防災課3名が警戒に当り、県下各地の雨量、被害状況の収録にあたった。

3. 被害の概要

(1) 家屋被害

1,960棟

区分	大津市	草津市	志賀町	虎姫町	高島町	安曇川町	木之本町	計
床上浸水	1					2		3棟
床下浸水	67	45	10	25	120	79	16	362

(2) 公共土木施設被害

166,056円

区分 土木事務所	河川		砂防		道路		橋梁		計	
	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)	箇所数	金額(円)
大津	39	49,160	4	18,000	18	18,600			61	85,760
草津	8	5,310							8	5,310
水口										
八日市										
彦根	3	5,000	1	550	6	8,300			10	13,850
長浜	6	5,900	5	4,100	2	740			13	10,740
木之本	5	4,250	1	260	5	2,610			11	7,120
今津	13	29,684	3	3,092	11	10,500			27	43,276
計	74	99,304	14	26,002	42	40,750			130	166,056

主な被災河川……八屋戸川（志賀町），安曇川（大津市，朽木村），和川（志賀町），家棟川（志賀町）

主な被災道路……京都犬原今津線，大津上野線（大津市）

(3) 農林被害

ア. 農作物

対象物	被害数量	被害見込金額(円)	主な市町村名	被害の程度
水陸稲	冠水 1,255 ha	5,720	草津市，栗東町，守山町，中主町，野洲町	冠水，浸水 キュウリ
野菜	ハウス 9,900 m ² 畑 10 ha	960		
計		6,680		

イ. 林 業

対 象 物	被害数量	被害見込金額(円)	発 生 地 域	被 害 の 程 度
山地崩壊	1.47 ha	32,070	大津市	22ヶ所崩壊
林 道	2ヶ所	1,050	//	延長225m決壊
計		33,120		

ウ. 農業用施設

対 象 物	被害数量	被害見込金額(円)	発 生 地 域	被害の程度	
農 地	田埋没	1 ha	500	信楽町, 大津市, 志賀町	
	畑埋没	0.01 ha	30	大津市	
農 業 用 施 設	ため池	3ヶ所	1,000	大津市, 信楽町, 今津町	
	水路	10 //	2,330	信楽町, 彦根市, 大津市, 志賀町, 朽木村	
	農 道	5 //	460	大津市, 志賀町	
計		4,320			

6月28日～7月2日の大雨

28日東支那海に低気圧が発生し毎時50kmぐらゐの速度で発達しながら北上し、日本海の南海上の前線も北上してその活動が活発化した。低気圧は山陰沖から日本海中部に達し、29日15時中心気圧は998mbに発達し、29日夜半から30日にかけて、北海道をとおり、オホーツク海に達した。

また、29日15時には、東支那海北部に中心気圧1000mbの低気圧が発生し、梅雨前線上を速い速度で東進し30日6時に四国東部に達した。

30日3時には華中に低気圧が発生し前線上を発達しながら東北東進し、7月1日3時には、朝鮮海峡に達し、中心気圧998mbを示した。この頃、日本付近を東西に延びていた梅雨前線も南北に振動して活発化したため各地に大雨を降らせた。

水害の特徴

イ. 梅雨時には珍しく発達した低気圧が再度日本海を通過した。このため西日本、とくに九州では、大雨が降り、東日本の太平洋側では南よりの強風が続いた。

ロ. 低気圧の通過によって、九州を中心にして前線が南北に振動し、九州中部、南部では長期間強い雨が続いた。

ハ. 総降水量は、九州中部、南部で300mmをこえ、鹿児島県北部や宮崎県高千穂山系で500～700mm、四国東部、岐阜県東部で200～300mmに達した。

この大雨による被害は、中部地方以西の27府県に及び、死者、行くえ不明63人、家屋全壊、流失

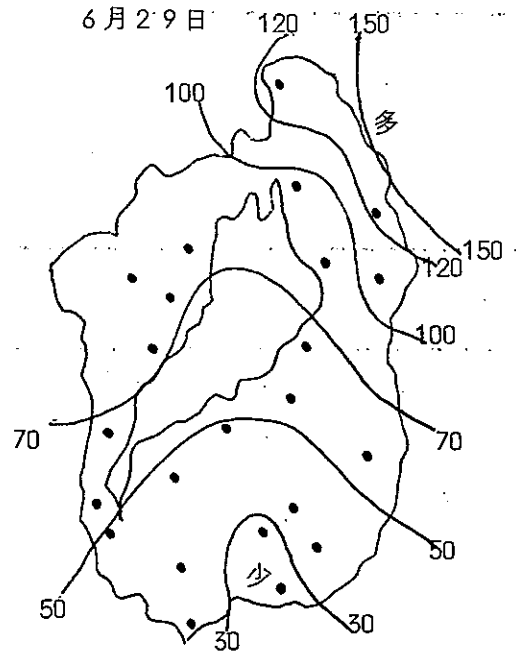
309棟, 浸水家屋33,000棟にのぼった。

降水量分布図

降水量 (mm)

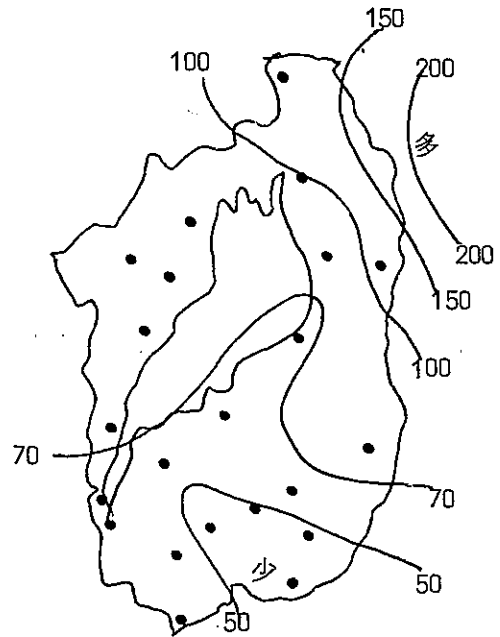
観測所	6月28日	6月29日	6月30日	合計
彦根	8	58	3	69
木之本	5	88	5	98
今津	8	76	5	89
犬津	8	55	2	65
多羅尾	9	41	5	55
政所	10	63	8	81
中之郷	9	105	6	120
吉槻	6	120	3	129
市場	3	81	4	88
北小松	13	81	5	109
堅田	8	67	4	79
土山	7	32	2	41
治田	9	44	2	55
日野	5	44	4	53
愛知川	9	66	3	78
安曇川	11	69	5	85
油日	8	27	2	37
信楽	7	41	6	54
柏原	9	107	3	119

6月29日



降水量分布図

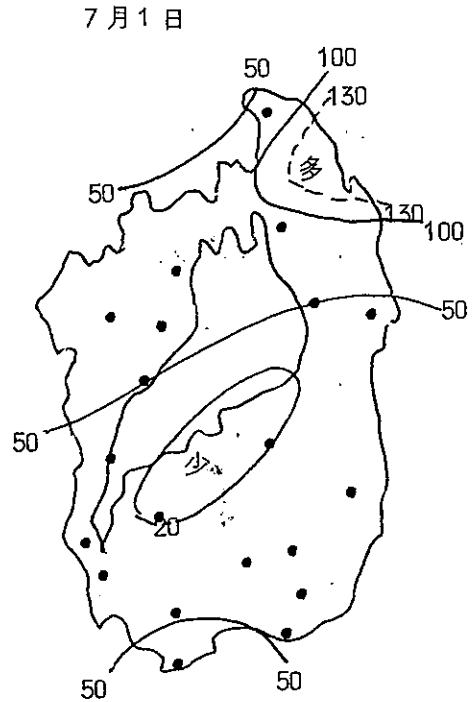
6月28~30日



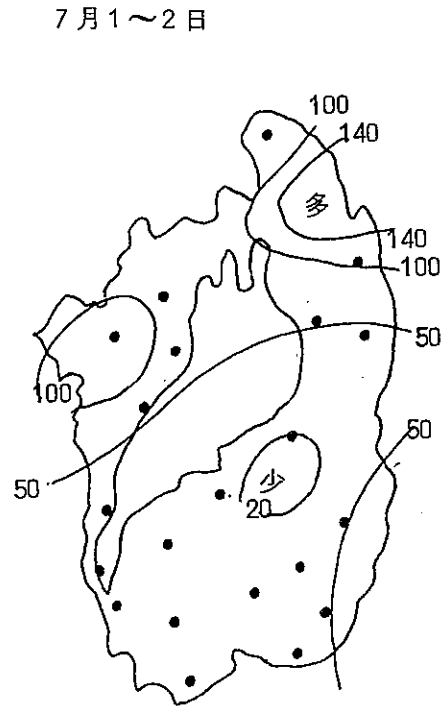
降水量 (mm)

観測所	7月1日	7月2日	計
彦根	20	6	26
木之本	84	12	96
今津	81	17	98
大津	24	8	32
多羅尾	59	2	61
政所	44	9	53
中之郷	136	8	144
吉槻	82	19	101
市場	78	26	104
北小松	61	7	68
堅田	23	7	30
土山	41	6	47
治田	19	3	22
日野	24	7	31
愛知川	14	5	19
安曇川	62	21	83
油日	41	4	45
信楽	46	2	48
柏原	35	13	48

降水量分布図 (mm)



降水量分布図 (mm)



警戒状況

6月29日 大雨注意報発表 16時40分
 30日 // 解除 09時30分
 7月 1日 風雨注意報発表 11時00分
 2日 雨情報 // 10時45分
 2日 風雨注意報解除 11時45分

被害状況

○6月28日~30日の大雨によるもの

家屋床下浸水 大津市 1棟, 虎姫町 13棟, 計 14棟 被害額70冊

公共土木施設被害 河川 6ヶ所 22,100冊 護岸欠損
 道路 3ヶ所 1,300冊 崩土
 計 23,400冊

主な被害河川……高時川（虎姫町，びわ村），姉川（びわ村），余呉川（余呉村），中田川・田辺川（山東町）

主な被害道路……萬籠尾崎大浦線（西浅井村），武生木之本線（余呉村），京都大原今津線（大津市）

○7月1日～2日の大雨によるもの

(1) 家屋被害 180冊

床下浸水

西浅井村 4
 虎姫町 10
 余呉村 22
 計 36棟

(2) 公共土木施設被害 4,980冊

国道 8号線 100冊

県道 12ヶ所 4,880冊

主な被害道路……木之本今津線，京都大原今津線，中河内木之本線，麻生古屋梅ノ木線

(3) 農林被害

水稲 冠水 293.4 ha

浸水 1,418.4 ha

主な被災地域……西浅井村，木之本町，余呉村，マキノ町，新旭町，高島町，長浜市，山東町，浅井町，虎姫町，湖北町，びわ村

3. 消防署（団）員出動状況

市町村名	人員	市町村名	人員	市町村名	人員
マキノ町	50	西浅井村	214	余呉村	20
朽木村	2	高月町	20	計	306

7月3日～11日の大雨

6月下旬より連続的に降った大雨が7月2日午後ようやく止んだが，3日15時華中に低気圧が発生した。低気圧はその後11日にかけて4回発生し，2日おきくらいに日本に襲来し，そのつど梅雨前線が，活発化しながら南北振動を繰返し，華南あるいは南方海上から移流する湿舌の影響を受けて，西日本を中心に関東以西に大雨を降らせた。

今回はオホーツク海高気圧に伴う冷氣団が7月5日ごろ顕著に北日本を支配し，西に伸びて近畿，中国地方にまでおよび，時ならぬ冷雨とともに1～2ヶ月も逆行した気象状態がつづいた。このため低気圧が

九州に達する頃からその前進をはばまれ、長期間日本上空に停滞埋積し、分裂して消滅したりする例が多かった。

今回の総雨量は九州中、南部が多く、とくに宮崎県えびのでは、1,116mmを記録した。

なお、7月7日～8日の大雨は、〔昭和44年7月7日～8日にかけての梅雨前線による山陰地方の大雨〕と呼称された。

水害の特徴

- イ．6月24日～26日、6月28日～7月2日に続いて起った大雨のため、災害を一段と大きくした。
- ロ．7月3日～11日にかけての全国の被害は、1都2府31県におよび死者17人、行くえ不明1人、負傷49人、建物全壊76戸、流失2戸、床上浸水1,267戸、床下浸水1,6015戸等かなりの被害があった。

とくに今回の災害で目立ったのは九州南部のシラス地層といわれる火山灰地帯の造成地が雨に弱かったことで、人命損失のほとんどは、この地方で起っている。

本県では、4日～5日には湖南大津、堅田付近に100mm内外の大雨が降り次の水害が発生した。

降 水 量 (mm)

7月8日

観測所	降水量	観測所	降水量	観測所	降水量
彦根	116	八幡	91	高時川	78
伊吹山	30	吉槻	82	黄和田	56
君ヶ畑	96	木之本	79	神崎川	68
荒川	87	中ノ郷	89	大鳥居	88
政所	72	今津	105	栃生	87
土山	60	市場	99	中村	81
日野	55	北小松	166	大溝	124
柏原	114	堅田	149	マキノ	104
信楽	65	瀬田川	142	黒津	122
大津	111	油日	60	堅田	151
多羅尾	81	安曇川	97	片山	76
水口	67	草野川	103	途中	200

警戒状況

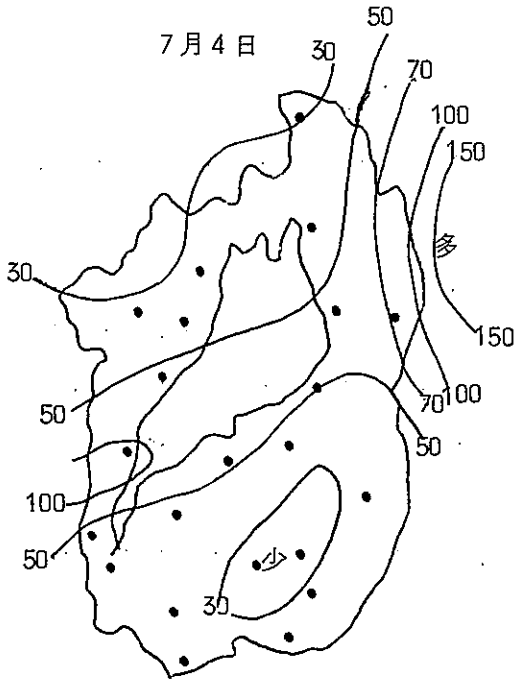
7月4日 大雨注意報発表16時30分

7月8日 大雨注意報発表09時10分

5日 // 解除11時20分

9日 // 解除07時50分

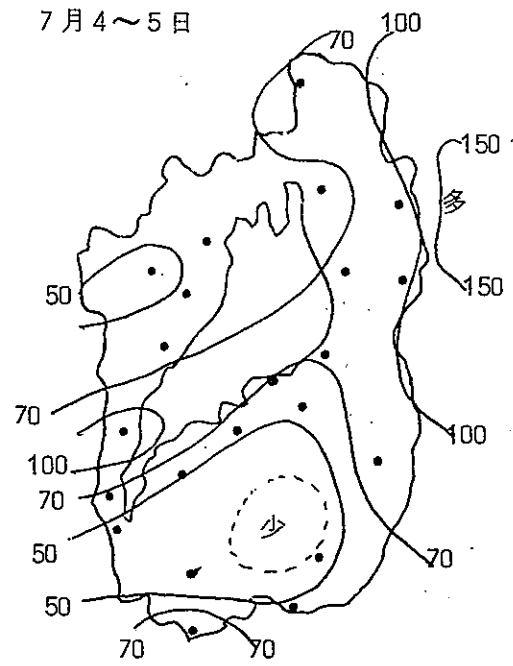
降水量分布図 (mm)



降水量分布図 (mm)

7月4日

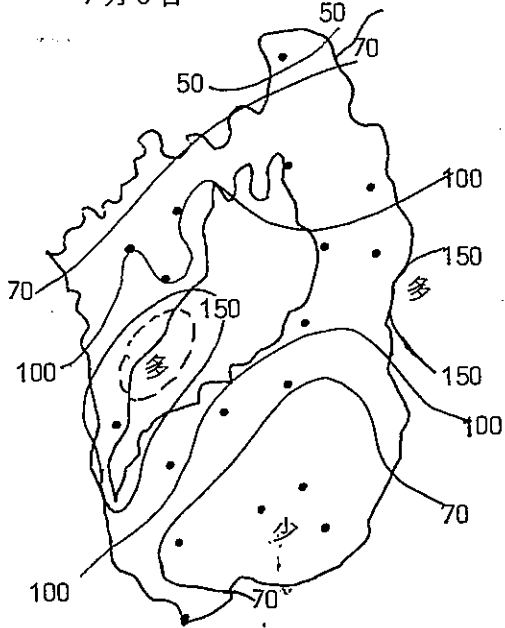
総降水量分布図 (mm)



総降水量分布図 (mm)

7月4~5日

7月8日



被害状況

○ 7月4日~5日の大雨によるもの

家屋床下浸水 7棟

(大津市堅田)

河川被害

(虎姫町大井橋)

道路被害

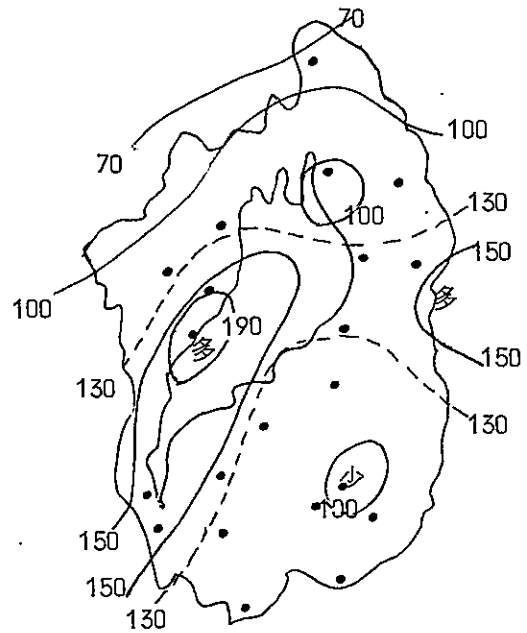
(志賀町)

水田冠水 391ha

(安土町・能登川町他)

○ 7月8日~9日の大雨によるもの

7月7~9日



(1) 家屋被害

4,130棟

(単位 棟)

	大津市	彦根市	近幡江八市	草津市	志賀町	栗東町	石部町	守山町	豊郷村	米原町	虎姫町	安曇川町	新旭町	計
家屋全壊	1													1
半壊	1													1
一部損壊	1													1
床下浸水	42	214	93	32	10	13	1	20	5	35	5	14	2	486

(2) 公共土木施設被害

369,101冊

河川	156ヶ所	303,376冊	中の井川(草津市) 愛知川(湖東町) 大同川(能登川町) 柳川(大津市)
道路	40	41,825	下鴨大津線, 宇治瀬田線(大津市) 長野上野線(信楽町) 木之本今津線(マキノ町)
砂防	6	22,500	嶽川(竜王町) 中野川(竜王町)
橋梁	2	1,400	雄琴橋(大津市, 柳木雄琴線)

(3) 農林被害

299,272冊

イ. 農作物

152,696冊

水	埋没	0.42 ha	213冊	志賀町, 甲南町
	冠水	773.3	37,118	八日市市, 草津市, 守山町, 能登川町, 愛知川町 外24
稲	浸水	7,422.1	89,065	彦根市, 長浜市, 草津市, 中主町, 安土町, 能登川町, 高月町, 新旭町 外25
野	ハウス	1.15	1,300	
菜	露地		20,000	
タバコ			5,000	

ロ. 農業用施設被害

146,576冊

農地	畑埋没	0.28 ha	1,100冊
	畦畔流失		500
	頭首工	4ヶ所	2,500
	水路	2	1,600
	農道	4	570
林	林道	228m	2,850
業	山地崩壊	73ヶ所	137,456

3. 消防署(団)員出動状況

市町村名	出 動 人 員		市町村名	出 動 人 員	
	署 員	団 員		署 員	団 員
大 津 市	85人	130人	近江八幡市	14人	49人
志 賀 町		150	守 山 町		15
草 津 市	10	30	野 洲 町	13	80
彦 根 市	10	100	蒲 生 町		21
米 原 町		60	新 旭 町		40
高 島 町		20			

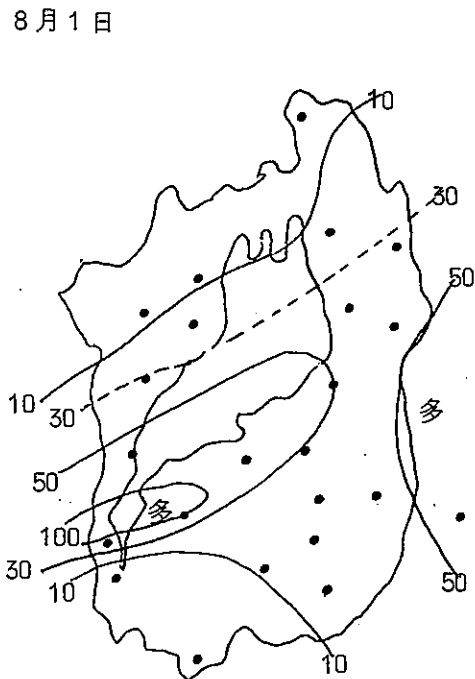
8月1日～2日の大雨

前線が日本付近を東西に伸びて停滞し、活動が活発になったので、1日夜から2日朝にかけて大津付近で局地的な大雨が降り、大津では日量192mm、治田で105mmに達した。この局地豪雨で大津市逢坂でがけくずれのため住家1戸が全壊し、負傷者を出したほか、東海道線大津-膳所間で土砂崩れがあり、上り線が不通になるなど被害があった。

降 水 量 (mm) 8月1日

観測所	降水量	観測所	降水量
大 津	185	水 口	13
彦 根	54	マキノ	12
永源寺	36	中之郷	2
治 田	105	八 幡	75
堅 田	61	愛知川	51
大 溝	28	政 所	34
木之本	10	北小松	39
今 津	10	安曇川	16
吉 槻	25	柏 原	41

降水量分布図 (mm)



警戒状況

8月2日 大雨注意報発表 05時30分
 2日 // 解除 10時10分

被害状況

(1) 人的被害

軽傷 2人

(2) 家屋被害

2,285 棟

	大津市	草津市	栗東町	守山町	野洲町	計 (円)
全壊	1					1
床上浸水	11			3		14
床下浸水	51	153	10	78	25	317

(3) 公共土木施設被害 4,090 棟

河川 3ヶ所 2,150 棟 吾妻川, 中の井川

道路 2 1,940

(4) 鉄道不通 2ヶ所

- 東海道本線（大津，膳所間）で土砂くずれのため
- 京阪京津線，国道1号線土砂崩壊に伴い自動車が路線をふさいだため。

8月4日～5日 台風7号

8月1日沖の鳥島洋上に熱低が発生，南大東島の東方洋上で台風7号となり，北上して4日19時30分潮岬の西方に上陸，紀伊半島の東岸沿いに北東進し，伊勢湾をとおり，5日朝中部地方に進んだ。この台風の影響で東部鈴鹿山系一帯で150mmをこす大雨が降り，この地域で道路の被害を出した。

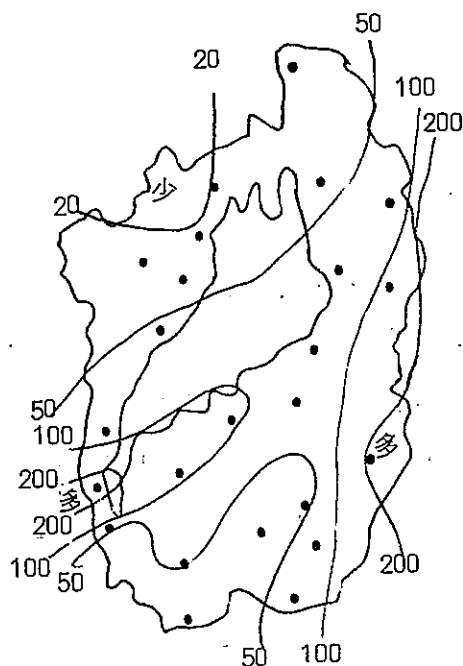
降水量 (mm)

8月4日

総降水量分布図 (mm)

8月1～4日

観測所	降水量	観測所	降水量
大津	27	日野	19
彦根	34	愛知川	22
君ヶ畑	129	荒川	18
柏原	49	木之本	20
政所	157	今津	9
土山	63	多羅尾	27
信楽	45	水口	16
伊吹山	53	八幡	17
北小松	14	中之郷	20
堅田	15	吉槻	37
治田	21	瀬田川	26
油日	61	安曇川	15



彦根の極値

最大風速 WNW 12.3 m/s

5日01時40分

最大瞬間風速 WNW 16.5 m/s

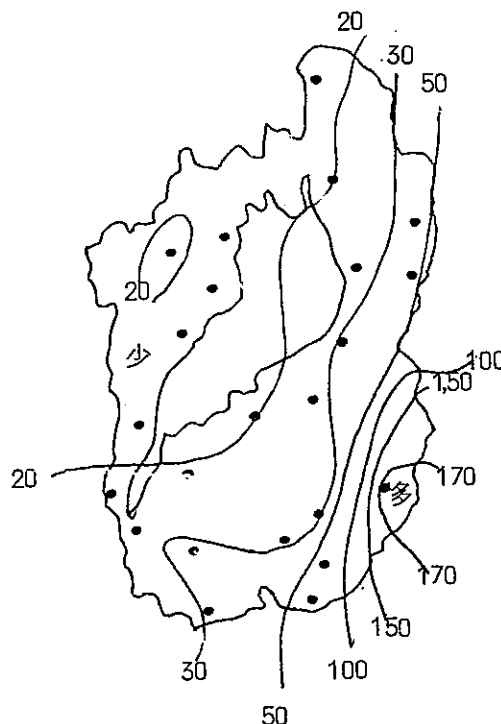
5日02時22分

総雨量 34 mm

1時間最大雨量 16 mm

降水量分布図 (mm)

8月4日



警戒状況

8月4日 台風情報第1号発表 11時20分

4日 風雨注意報 発表 11時50分

4日 台風情報第2号発表 16時45分

4日 // 第3号 // 21時50分

4日 // 第4号 // 23時45分

5日 // 第5号 // 01時50分

5日 風雨注意報解除 04時00分

被害状況

道路 2ヶ所 2,000冊

被災道路……川相永源寺線, 黒川山中線

8月22～23日 台風9号

8月13日トラック島北西洋上に弱い熱帯低気圧が発生し、16日3時に台風第9号となり北西から北北西進し、19日21時頃沖縄付附で935 mbの最低気圧を示した。台風は沖縄本島に約20時間の長時間暴風雨をもたらし、大被害を与えた後次第に北から北東に転向し、22日10時頃薩摩半島に上陸、九州を斜断し、四国南岸より、紀伊半島に上陸、中部、関東、東北地方を経て北海道に上陸し、オホーツク海で消滅した。

特徴

- 台風は九州南部に上陸後、九州から北海道まで日本を縦走するという珍しい経路をとった。
- 進行速度が遅く、暴風雨圏（暴風雨域は台風の中心からおおよそ200 km以内に限られた）に入った地方では、長時間暴風雨にみまわれ、沖縄など南西諸島では20時間にもおおよぶ暴風雨に見舞われた。

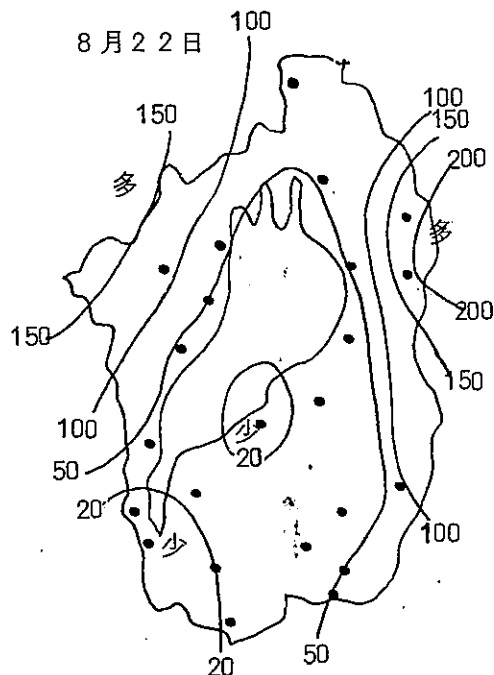
本県では22日夜半過ぎから数時間程度風雨が強まったが、東部と西部山間部で100～200 mmで平野部は少なく被害も僅少であった。

降水量 (mm)

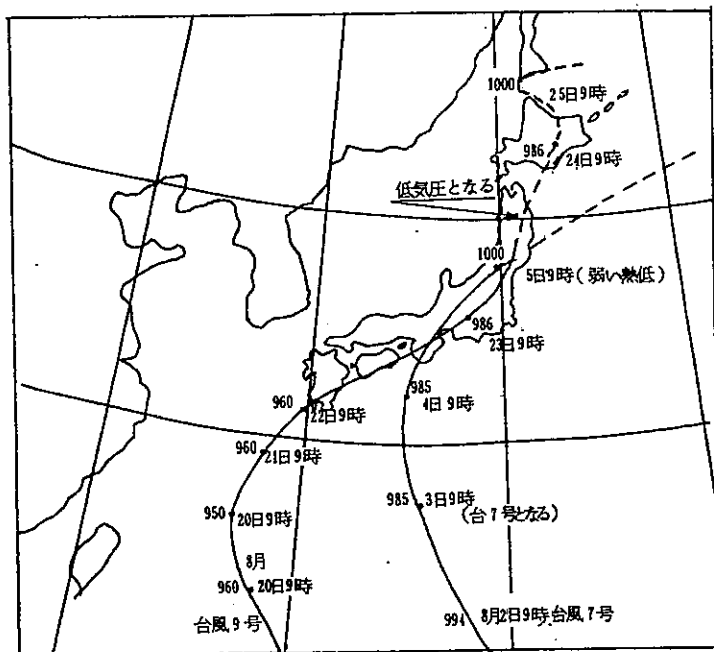
8月22日

観測所	降水量	観測所	降水量
彦根	40	中之郷	68
伊吹山	87	今津	66
君ヶ畑	194	北小松	48
荒川	117	治田	27
政所	107	栃生	156
土山	71	草野川	125
日野	36	高時川	65
柏原	193	永源寺	168
大津	15	片山	33
水口	24	中河内	57
八幡	19	マキノ	88
吉槻	157	大溝	53
木之本	58	市場	130
多羅尾	26		

降水量分布図 (mm)



滋賀県地方に接近した台風経路図 (昭和44年)



彦根の極値

最大風速

ESE 13.8 m/s 23日05時00分

最大瞬間風速

ESE 18.8 m/s 23日02時28分

総降水量

39.5 mm 23日~24日

1時間最大降水量

10.0 mm 23日 06時57分~07時57分

警戒状況

8月22日 台風情報第1号 11時20分
 湖上気象情報 13時00分
 風雨注意報発表 16時50分
 台風情報第2号 19時00分
 " 第3号 21時00分
 " 第4号 22時10分

8月23日 台風情報第5号 0時10分
 " 第6号 0時50分
 " 第7号 2時35分
 " 第8号 4時50分
 " 第9号 6時25分
 強風注意報発表 9時30分
 " 解除 14時30分

被害の状況

(1) 家屋被害

680棟

単位 棟

区分	山東町	虎姫町	長浜市	計
床下浸水	60	7	70	137

(2) 公共土木施設被害 21,600棟

区分	箇所数	被害額(円)	主な被害河川, 道路
河川	14	20,300	井の谷川, 大杉川, 政所川, 砂走川 外10河川
道路	2	1,300	岐阜揖斐川木之本線, 市場野田鴨線

(3) 農林被害

区分	面積	被害額(円)	主な被災地域
水倒伏	3,753 ha	121,651	長浜市, 浅井町, 湖北町, 安曇川町, 木之本町, 伊吹村
冠水	356.4		長浜市, 山東町
稲浸水	1,348		山東町, 近江町, 浅井町

昭和45年(1970年)

1月30日~31日 低気圧

29日, 東シナ海南部に発生した低気圧は, 発達しながら北東に進み, 本州を縦断して北海道南東岸を通った。一方30日夜半には, 日本海南部を東進してきた低気圧とともに, いわゆる二つ玉低気圧型となって猛烈に発達して近畿以東の各地で大きな被害をもたらした。

本県では30日の夜に入り大雨となり31日にかけて, 鈴鹿山系の多いところで150mm以上, 西部山間部で100mm, 中部平野部で30~50mmの降水量を観測した。

降水量 (mm)

観測所	30日	観測所	30日	観測所	30日	観測所	30日
彦根	38	水口	56	北小松	75	瀬田川	40
木之本	41	八幡	56	堅田	58	安曇川	77
竹生島	63	政所	116	土山	104	油日	77
今津	82	中之郷	47	治田	45	信楽	45
大津	48	吉槻	66	日野	53		
多羅尾	38	市場	125	愛知川	33		

警戒状況

1月30日 強風注意報発表 16時40分
 31日 風雪注意報発表 11時30分
 2月1日 // 解除 18時40分

被害状況

(1) 家屋被害 300棟
 非住家 全壊 6戸 300棟 志賀町(パンガロー)
 (2) 公共土木施設被害 25箇所 39,710棟

事務所名	河 川		砂 防		道 路		計	
	箇所	被害額(円)	箇所	被害額(円)	箇所	被害額(円)	箇所	被害額(円)
彦 根	3	5,360			3	8,000	6	13,360
長 浜	2	4,000	4	4,900	2	3,300	8	12,200
木之本	3	3,800	3	4,350			6	8,150
今 津	3	3,500			2	2,500	5	6,000
計	11	16,660	7	9,250	7	13,800	25	39,710

主な被害箇所

河川……姉川(びわ村) 土川(近江町) 油里川(伊吹村) 犬上川(多賀町) 諸子川(西浅井村)
 弥高川(伊吹村) 岩倉川(秦荘町) 藤田川(西浅井村) 久保川(伊吹村) 天吉寺川(浅井町)
 道路……津彦根線(現国道306号線)(多賀町)
 小浜今津線(// 307号線)(今津町)
 本巢山東線 (伊吹村)

6月14日～15日の大雨

梅雨前線が太平洋側に停滞し、熱帯低気圧くずれの低気圧が東支那海を北上してきて、前線の活動が活発になったので、西日本に大雨が降った。

本県では14日朝から雨が降り出し、15日から16日にかけて降り続いた。

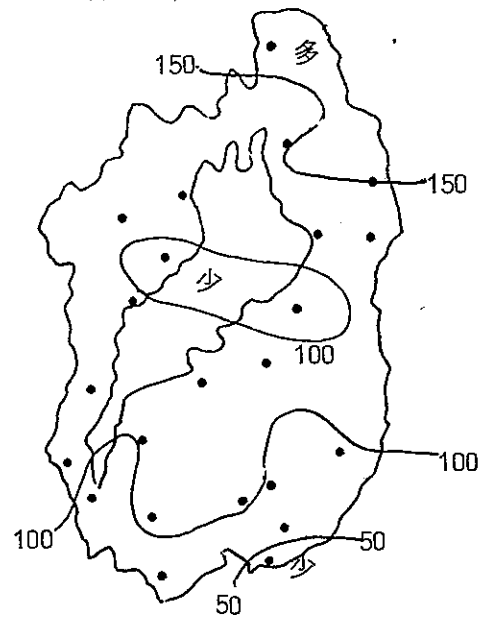
このため15日の、日降水量は100mmをこした所が多く、北部では150mmをこえた所もあり、14～16日にかけての総降水量は、湖北と湖西の各地で200～250mmの大雨になった。

降水量 (mm)

観測所	日	14日	15日	16日	計
彦根		47	96	19	162
木之本		66	150	30	246
今津		65	157	22	244
大津		48	141	25	214
多羅尾		21	83	18	122
水口		21	102	13	136
八幡		30	121	21	172
政所		23	120	27	170
中之郷		56	137	27	220
吉槻		68	168	23	259
市場		65	131	9	205
北小松		93	121	17	231
堅田		66	139	33	238
土山		16	94	16	126
治田		47	110	28	185
日野		22	87	10	119
愛知川		36	107	17	160
瀬田川		42	92	13	147
安曇川		86	91	13	190
油日		15	51	12	78
信楽		26	115	16	157
柏原		40	129	17	186
柳ヶ瀬		69	158	32	259

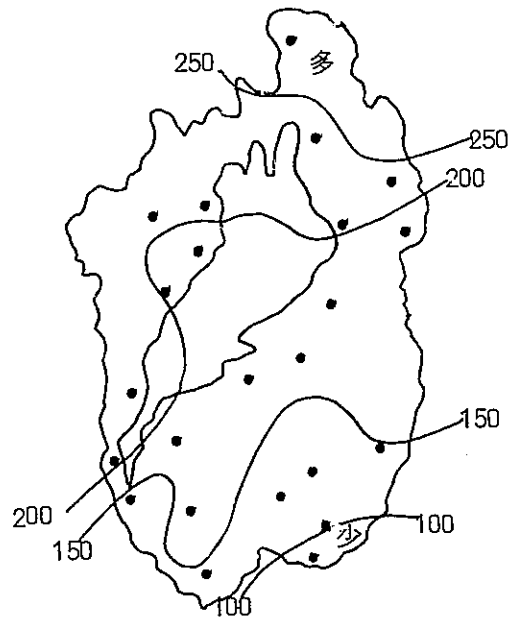
降水量分布図 (mm)

6月15日



総降水量分布図 (mm)

6月14~16日



警戒状況

6月14日	大雨注意報発表	18時40分
14日	滋賀県水防本部設	19時00分
15日	大雨注意報更新	16時40分
16日	淀川洪水注意報発表	07時30分
16日	大雨洪水注意報発表	11時00分
16日	解除	16時30分

被害状況

被害総額

1,329,333円

(1) 住家被害

3,619円

(ア) 床上浸水

市町村名	棟数	世帯		被害額(円)
		世帯数	人員	
近江八幡市	2	2	9	100
能登川町	2	2	7	100
虎姫町	13	13	51	650
湖北町	2	2	6	100
計	19	19	73	950

(イ) 床下浸水

市町村名	棟数	世帯		被害額(円)
		世帯数	人員	
長浜市	66	66	263	330
近江八幡市	159	159	715	795
草津市	7	7	30	35
栗東町	14	14	56	70
守山市	3	3	10	15
石部町	5	5	23	25
水口町	4	4	14	20
甲南町	1	1	3	5
五個荘町	5	3	11	25
能登川町	19	19	72	95
山東町	5	5	16	25
浅井町	58	58	225	290
虎姫町	124	124	330	620
湖北町	14	14	53	70
高月町	8	8	24	40
西浅井村	4	4	11	20
マキノ町	5	5	12	25
今津町	10	10	40	50
安曇川町	4	4	18	20
新旭町	17	17	68	85
計	532	530	1,994	2,660

(2) 非住家

大津市	2棟	6冊
信楽町	1	3
計	3	9

(3) 公共土木施設被害 817,425冊

区 分	県工事分		市町村工事分		計	
	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額
河川	239	592,265冊	17	14,320冊	256	606,585冊
砂防施設	28	140,360	—	—	28	140,360
道路	40	44,480	19	11,100	59	55,580
橋梁	2	10,700	2	4,200	4	14,900
計	309	787,805	38	29,620	347	(815,129) 817,425

注()書は、査定済額である。

主な被災地域

河川……高橋川、大堂川、駒井川、野洲川、和田川、姉川、草野川、石田川、安曇川等
道路……京都大原今津線、川相永源寺線、本巢山東町、途中志賀線等

(4) 農林水産被害 470,810冊

区 分		被害面積又は箇所数	被害額(冊)	主 な 被 災 地
農作物	水冠水	3,734 ha	115,940	野洲町, 守山市, 安土町
	稲浸水	11,791.5 ha	71,361	永源寺町, 能登川町
	野冠水	48.5 ha	42,231	長浜市, 浅井町, 湖北町
	菜浸水	105 ha		山東町, マキノ町等
農地	農田埋没	1.7 ha	3,000	大津市, 彦根市, 水口町, 湖北町, 西浅井町
	畦畔損壊	5.3 ha	5,000	大津市, 水口町, 土山町, 永源寺町, 日野町
林	溜池	6ヶ所	3,000	大津市, 栗東町, 水口町, 日野町
	頭首工	13ヶ所	40,000	大津市, 石部町, 日野町, 今津町, マキノ町
施	水路	18ヶ所	7,000	大津市, 水口町, 信楽町, 日野町, 今津町, 土山町, 草津市
	農道	12ヶ所	2,500	大津市, 土山町, 甲西町, 湖東町, 信楽町
設	橋梁	2ヶ所	1,500	大津市, 木之本町
	林道	5ヶ所	3,050	湖北町, 伊吹村, 多賀町, 大津市
	山地崩壊	38ヶ所 2.79 ha	110,120	大津市, 近江町, 日野町, マキノ町, 志賀町, 朽木村, 高月町
	治山施設	6ヶ所	66,108	湖北町, 伊吹町, 多賀町, 大津市
計			470,810	

(5) その他被害

能登川町有線放送 10回線(80世帯) 100冊
 奥琵琶湖有料道路(連絡道崩土) 37,370冊

消防署(団)員出動状況

消防署(団)名	署員	団員	計(人)	消防署(団)名	署員	団員	計(人)
長浜市消防本部	5	15	20	湖北町消防団	—	50	50
近江八幡市 //	12	100	112	志賀町 //	—	30	30
八日市市 //	10	—	10	信楽町 //	—	30	30
湖南消防組合本部 草津市消防署	30	40	70	蒲生町 //	—	26	26
栗東町 //	3	—	3	五個荘町 //	—	20	20
中主町 //	3	—	3	山東町 //	—	23	23
野洲町 //	4	—	4	米原町 //	—	30	30
水口町消防本部	11	—	11	虎姫町 //	—	50	50
日野町 //	—	3	3	高月町 //	—	30	30
伊吹町消防団	—	15	15				
浅井町 //	—	50	50	計9本部15団	78	512	590

7月5日～6日 台風2号

1. 気象概況

6月29日ヤップ島付近で発生し、急速に発達しながら北西進し7月2日3時台湾の南方約500kmの海上で905mb, 最大風速65m/s, 25m/s以上の暴風半径は450kmとなり, "大型の非常に強い台風"となった。

台風は、宮古島付近から次第に北東に向き変え、中心気圧960mbと中型の強い台風になり、5日は九州南方海上から四国南方海上に進み、5日夕刻、紀伊半島の、潮岬と白浜の間に上陸した。台風は上陸後勢力が急に衰えて、進路を北から次第に北西に変え、和歌山市、大阪湾、姫路市を経て鳥取付近から6日4時ごろ日本海に抜けた。

本県では台風が紀伊半島に接近する頃から風雨となり、夜には、一時暴風雨の様相を呈したが台風が北西に転向し、衰弱し始めたので、急に風雨がおさまった。

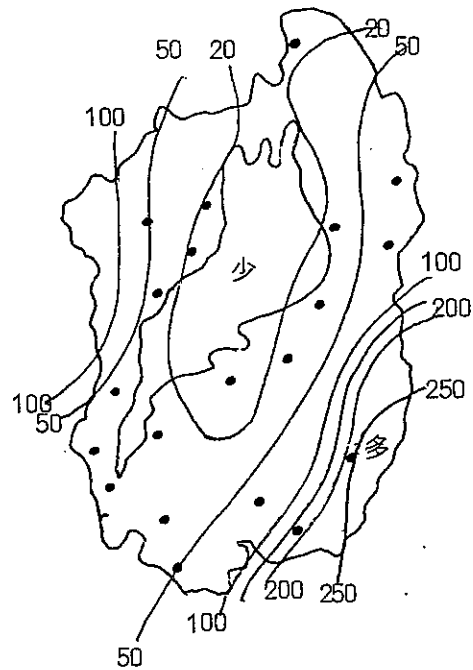
降水量 (mm)

7月5日

降水量分布図 (mm)

7月5～6日

観測所	降水量	観測所	降水量
彦根	3.2	吉規	2.0
君ヶ畑	19.9	市場	6.5
荒川	3.1	北小松	1.6
政所	21.7	治田	2.6
土山	16.7	日野	5.1
柏原	7.0	愛知川	3.2
大津	2.7	瀬田川	3.2
信楽	8.0	安曇川	2.0
木之本	1.8	油日	21.7
今津	2.0	柳ヶ瀬	2.3
多羅尾	4.8	マキノ	2.2
水口	5.4	中河内	1.3
八幡	3.0	大溝	1.7



極値表 最低気圧 988.1mb 5日 21時48分
 (彦根) 最大風速 ESE 18.5 m/s
 最大瞬間風速 ESE 26.3 m/s
 総降水量 33.0mm

警戒状況

7月4日	台風情報1号	17時40分
5日	風雨注意報発表	08時20分
5日	台風情報2号	11時30分
5日	風雨注意報更新	15時30分
5日	暴風雨警報発表	17時40分
5日	台風情報3号	19時50分
5日	“ ” 4号	21時36分
5日	“ ” 5号	23時45分
6日	風雨注意報発表	00時30分
6日	“ ” 解除	07時30分

県の体制

県は、7月5日8時30分、水防本部を設置し、台風の進路状況、雨量の情報収集等を行っていたが、17

時40分彦根地方気象台は、台風が本県を通過する公算が大きいと判断し、暴風雨警報を発令したため、県地域防災計画の定めるところにより、18時30分県災害対策本部および地方本部を開設するとともに、県警察本部は、警備本部を設置し、警戒体制をととのえた。

一方、県下22市町村が本部を設置し警戒に当たったが、幸い進路を北西にかえ、大阪湾を経て兵庫県から鳥取県に抜けた。

(1) 県の警戒状況

日	時	警戒体制の種別		日	閉鎖時間
5日	8時30分	水防本部設置		6日	9時00分
〃	18時30分	県災害対策本部設置	配備人員 135人	〃	8時40分
〃	19時00分	水口地方本部	〃 24人	〃	9時00分
〃	19時30分	長浜	〃 35人	〃	7時30分
〃	20時00分	今津	〃 20人	〃	1時00分
〃	20時40分	草津	〃 27人	〃	8時30分
〃	21時00分	彦根	〃 16人	〃	7時30分
〃	21時20分	八日市	〃 30人	〃	8時50分
計			287人		

(2) 県警本部の体制

5日 18時00 警備本部の設置

(3) 市町村の体制

市町村名	人員	日 時		市町村名	人員	日 時	
		開設	閉鎖			開設	閉鎖
甲賀町	29	5日16時00分	6日 2時00分	能登川町	6	5日22時30分	6日 9時00分
甲南町	25	〃 18時00分	〃 0時50分	湖東町	4	〃 19時50分	5日24時00分
石部町	7	〃 19時30分	〃 7時00分	愛知川町	17	〃 20時30分	6日 1時10分
甲西町	7	〃 18時00分	〃 3時00分	豊郷町	6	〃 21時30分	〃 1時00分
水口町	8	〃 〃	〃 0時40分	甲良町	10	〃 20時30分	〃 1時40分
土山町	26	〃 19時00分	〃 1時30分	多賀町	10	〃 21時00分	〃 1時45分
草津市	15	〃 20時00分	〃 1時00分	安土町	18	〃 24時00分	〃 4時00分
守山市	25	〃 21時00分	〃 1時30分	信楽町	5	〃 21時00分	〃 5時00分
栗東町	27	〃 20時00分	〃 〃	愛東町	5	〃 〃	〃 1時00分
中主町	12	〃 20時00分	〃 1時00分	秦荘町	20	〃 19時00分	〃 3時00分
野洲町	10	〃 〃	〃 8時30分	計 22	372		
彦根市	80	〃 19時10分	〃 0時50分				

被害状況

(1) 被害総額	2,472,444冊
家屋被害	1,250冊
公共土木施設被害	121,052冊
農林水産被害	124,942冊

ア. 人的被害

市町村名	行方不明	負傷者(重傷)	計
大津市	1(人)	(人)	1(人)
西浅井町		1	1
計	1	1	2

イ. 住家被害 150冊

市町村名	一部損壊	世帯数	人員
大津市	1(棟)	1(世帯)	3(人)

ウ. 非住家被害 1,100冊

市町村名	事項	全壊	一部損壊	計	被害額	摘要
日賀町		2		2(棟)	600冊	
彦根市		1	1	2	500	一部200冊 (彦根城外壁) 全壊300冊
近江八幡市		1		1	-	農林水産被害で計上
計		4	1	5	1,100	

エ. 公共土木施設被害(上段 県工事分, 下段 市町村工事分) 121,052冊 単位 冊

	河川		砂防		道路		橋梁		計	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
大津土木管内					1	60			1	60
水口 "	43 1	62,860 556			8 7	12,335 4,211			51 8	75,195 4,767
八日市 "	4	26,700			2 1	2,130 400	1	5,000	7 1	33,830 400
彦根 "	2	1,200			2	5,600			4	6,800
計	49 1	90,760 556			13 8	20,125 4,611	1	5,000	63 9	115,885 5,167
総計	50	91,316			21	24,736	1	5,000	72	121,052

オ. 農林水産被害

124,942 冊

		面積又は箇処	被害額(冊)	主な被災地	
農作物	水稲	冠水	165 ha	2,061	永源寺町, 湖東町
		浸水			湖東町
	野菜	路地	134.7 ha	30,206	水口町, 信楽町, 永源寺町, 秦荘町, 米原町
		ハウス	4,300 m ²		水口町
	果樹	15.62 ha	4,898	甲西町, 秦荘町	
	タバコ	1.7 ha	765	水口町	
	茶	0.2 ha	220	土山町, 水口町	
	桑	2.3 ha	230	甲賀町, 秦荘町	
農林施設	田	埋没	0.2 ha	100	甲南町
		土砂流入	1 ha	662	甲賀町
	畦畔	3ヶ所	1,000	甲南町, 大津市	
	ため池	2 //	300	甲南町, 大津市	
	農業用水路	18 //	700	甲南町, 湖東町, 愛知川町	
	農業用道路	8 //	7,000	土山町, 大津市	
	山地崩壊	4.51 ha	66,770	甲西町, 甲賀町, 土山町, 信楽町, 多賀町	
	林道	5ヶ所	5,000	永源寺, 石部町, 甲賀町, 甲西町, 土山町, 米原町	
	その他(ハリ格納庫)	1棟	130	近江八幡市	
	水産施設	漁船	2隻	250	長浜市
漁具		22件	4,450	新旭町, 安曇川町, 長浜市, 志賀町	
養殖施設		1ヶ所	200	志賀町	
計			124,942		

カ. その他被害

通信施設被害 200戸 土山町, 永源寺町
 停電被害 470棟 湖東町(300棟) 能登川町(170棟)

消防署 団員 出動 状況

消防本部(団)名	署 員	団 員	計 (人)	消防本部(団)名	署 員	団 員	計 (人)
大 津 市	91	250	341	長 浜 市	12	0	12
彦 根 市	49	200	249	米 原 町	0	10	10
近 江 町	0	4	4	秦 荘 町	0	5	5
山 東 町	0	3	3	湖 東 町	0	7	7
伊 吹 町	0	3	3	愛 東 町	0	20	20
虎 姫 町	0	1	1	永 源 寺 町	0	13	13
湖 北 町	0	3	3	安 土 町	0	3	3
浅 井 町	0	2	2	水 口 町	0	8	8
西 浅 井 町	0	2	2	湖 南 消 防 組 合 本 部	8	0	8
高 月 町	0	1	1	草 津 市	7	0	7
木 之 本 町	0	2	2	守 山 市	0	50	50
余 呉 町	0	3	3	栗 東 町	10	10	20
多 賀 町	0	13	13	中 主 町	3	8	11
甲 良 町	0	20	20	野 洲 町	7	10	17
				計 28	188	651	839

8月15日～16日 台風9号

8月10日台湾東方海上に発生した台風9号は次第に北上し、14日には、九州南西海上に接近し、急に進路を北東にとり、14日23時に長崎に上陸した。九州北部を斜断、中国西部をとおって15日朝日本海に抜けた。このため九州と中国地方で強風と豪雨による大きな被害があった。

本県でも15日は時々弱いわか雨が降り、昼頃一時南よりの風が強まったが、夕刻にはおさまった。降水量は鈴鹿山系で100mmをこした所があるが平地は10～20mmで被害はなかった。

彦 根

最大風速 SE 10.2 m/s 15日12時

最大瞬間風速 S 14.9 m/s 15日14時51分

警戒状況

8月15日 風雨注意報発表 06時30分

15日 // 解除 16時30分

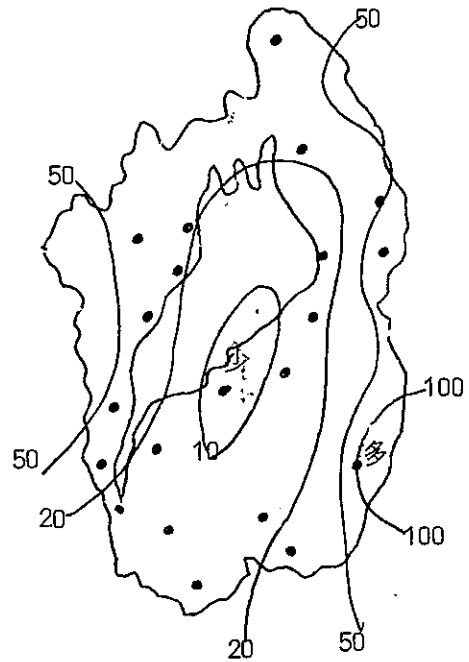
降水量 (mm)

8月14日~15日

降水量分布図 (mm)

8月13~15日

観測所	降水量	観測所	降水量
彦根	1.6	土山	4.4
木之本	2.5	治田	1.3
今津	2.0	日野	2.0
大津	2.0	愛知川	1.2
多羅尾	1.5	瀬田川	1.2
水口	1.7	安曇川	3.1
八幡	7	油日	3.7
政所	8.6	信楽	1.2
中之郷	2.8	柏原	5.5
吉槻	3.5	柳ヶ瀬	3.2
市場	4.6	君ヶ畑	6.9
北小松	3.8	荒川	2.7
堅田	4.4		



8月20日~21日 台風10号

8月16日サイパン島付近に発生し、20日3時沖繩東方洋上で“大型の非常に強い台風”に発達した。台風は北北西に進み、21日8時すぎ、高知県土佐佐賀市付近に上陸した。更に四国西部を北北西に継断し、瀬戸内海から広島県呉市付近に再上陸し、中国地方を縦断、松江市付近から日本海に抜けた。

この台風は、特異な現象を高知県にもたらした。すなわち、台風域の北東象限では東寄りの風が強く吹き高知市では最大瞬間風速E 54.3 m/s を記録し、土佐湾沿岸では異常高潮位が発生し、その上、最大8 mに及び高い波浪がこれに加わり、さらにそれらが満潮時と重なったため一層潮位が高くなり、高知市周辺一帯に大災害（死者、行方不明29人、建物全、半壊、流失4,392棟、浸水家屋57,289棟など）をもたらした。

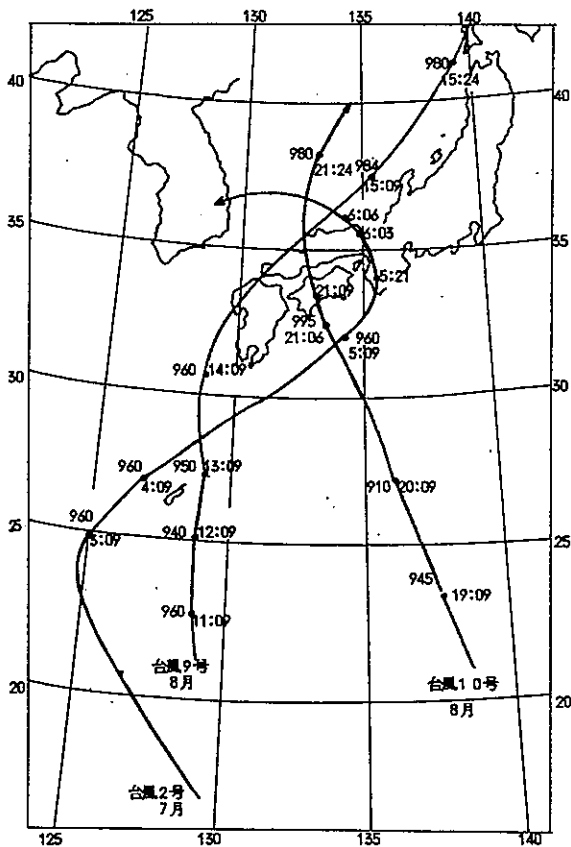
本県では20日夕刻頃から21日にかけて、にわか雨が降ったり止んだり、21日昼頃一時SE10m/s ぐらいの風雨になったが、雨量は東部山岳地帯で50~80mm（油日108mm）、平地は10mm内外で、被害はなかった。

降水量 (mm)

8月20日~21日

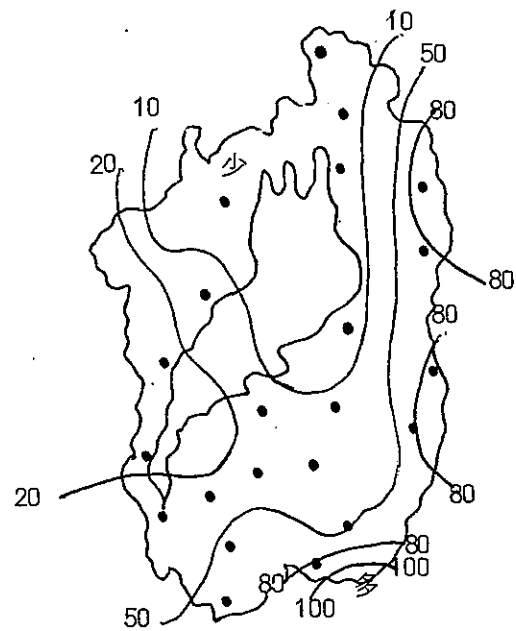
観測所	降水量	観測所	降水量	観測所	降水量	観測所	降水量	観測所	降水量
彦根	8	多羅尾	13	中之郷	3	堅田	13	油日	108
木ノ本	3	水口	27	吉槻	89	土山	57	信楽	30
今津	2	八幡	5	市場	11	治田	19	柏原	66
大津	8	政所	49	北小松	6	日野	19		
君ヶ畑	82	荒川	6	瀬田川	9	愛知川	9		

昭和45年の主な台風経路図



降水量分布図 (mm)

8月20~22日



彦根の気象

最大風速 SE 11.2 m/s 21日12時03分

最大瞬間風速 SE 17.8 m/s 21日12時22分

警戒状況

8月20日 大雨強風注意報発表 22時00分

21日 風雨注意報発表 08時00分

21日 強風注意報発表 21時10分

22日 // 解除 06時30分

9月15日の突風と降ひょう

I 気象概況

(1) 地上

9月15日9時日本の南海上に1017mbの太平洋高気圧があり、日本海にはシベリア東部の高気圧から南に垂れ下がる寒冷高気圧が東進し、この2つの高気圧に挟まれた秋雨前線は、朝鮮南部から山陰沖合の小さな低気圧を通して、近畿北部から中部地方を横断して関東地方に伸びていた。

この前線は、近畿地方から西の部分では顕著な雷雨を伴っており、殆んど停滞気味であったが、午後になって近畿地方から東の部分でゆっくり南下し、15時には近畿北部、21時には近畿中部へと南下して東海地方に伸びた。この前線が16時頃滋賀県中部を南下する時、激しい雷雨と共に彦根市付近では大豆大（一部ではピンポン玉大とも言われる）ひょうが降り特に彦根市北部を中心として局地的に猛烈な北西の突風が起こった。この突風は、彦根地方気象台では16時16分に最大瞬間風速NW33.2m/sを記録したが、後で述べる被害地では、被害の状況、聞き込み調査から最大瞬間風速60m/s。あるいはそれを越えていたものと推定される。

(2) 上層

500mb（地上約5,500m上層）高層天気図によると、9月上旬いっぱい西日本の南海上をおおっていた高気圧が中旬になって次第に南に退き、かわって大陸の寒気が日本付近まで南下し、日本付近の大気の状態は不安定になっていた。こうした状態の中で15日に上空の気圧の谷が近畿地方を通過した。

しかし、この気圧の谷は、風向に多少の変化があった程度の弱いものであった。ただ、850mb（地上約1,500m上層）高層天気図では、15日9時日本海岸沿いに前線とみられる気温差4℃の温度傾度の大きい地帯があり、それが21時には近畿地方以東で小さくなっている。このことは、大気的不安定が15日午後の雷雨によって解消したことを示している。

後で述べるように局地的な猛烈な突風の様相からすると、たつ巻の発生があったのではないかと考えられるが、高層天気図規模の観測値からは、たつ巻の発生機構として考えられている大気の上下層間の強い風向速差は認められなかった。

(3) レーダー

レーダー観測によると15日朝から、山陰沿岸から北陸にかけて、並みの強さの雨雲群の中に、雲頂高度7,000～8,000mの強い雨雲が点在しており、ゆっくり南下していた。14時57分観測の名古屋レーダーでは、若狭湾の美浜、小浜、高浜付近に、東北東から西南西に延びる幅20km長さ40km、高さ14,000mにおよぶ非常に強い雨雲が存在し、これが16時頃、滋賀県北部を南東に進行した。これが県下、特に県北部、中部に強い雷雨をもたらしたと判断される。この強い雨雲は21時には県東部から三重県北部に移動し、しかも散在状態となった。

(4) 気象状況

彦根付近では15日は午後から雷雨になり、16時すぎから雷声も強くなり、風も強まったが、16時10分から突風となり、同時に雷電が強まり、ひょうも降り（直径5mm）10分ぐらいの間暴風雨になった。

この時の気象状況は、

平均最大風速	N	11.3 m/s	16時20分
最大瞬間風速	NE	33.2 m/s	16時16分
降水量の最大値(10分間)		14.0 mm	16時20分～30分
//	(1時間)	27.5 mm	16時15分～17時15分

気圧1mb上昇、気温は10分内に約5℃急下降している。この突風は、彦根市松原町水泳場付近と清涼寺付近、近江プラザホテル付近を中心として北は、米原町磯から彦根市鳥居本町北端付近を境に、南は宇曾川付近まで強かったようである。

この突風は一部で竜巻の様相を示しているが、樹木の倒伏の方向が殆んど南東方向になっている状況からみると、北西の突風のみによる被害とも考えられる。また降ひょう地域は北は米原町磯付近から、鳥居本北部より南は犬上川付近までであった模様である。

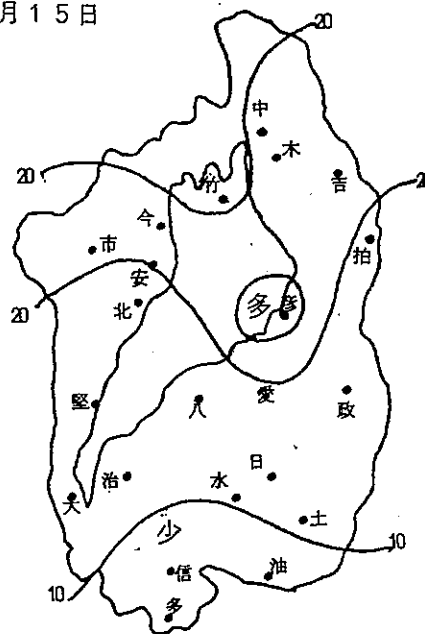
この突風は、上記彦根地区の一部に限られたようで彦根市北部の長浜市以北、湖西の各地、彦根市以南の各地では降ひょうや突風の異常は観測されていない。また、彦根市、曾根湖岸にある貸ポート屋の話によると、真黒い雲が湖岸に現われたと見る間に、激しい突風と強風が吹きまわった。雲は竜巻のようなものではなく、余り遠い所から来襲したものではなかったと思う。被害も案外少なかった。彦根の湖岸で発生した突風と思われると語っていた。

降水量 (mm)

観測所	降水量			観測所	降水量		
	14日	15日	合計		14日	15日	合計
彦根	36	35	71	政所	57	17	74
大津	37	21	58	八幡	56	15	71
木之本	24	26	50	土山	24	11	35
君ヶ畑	50	9	59	信楽	10	9	19
今津	23	22	45	治田	38	12	50
北小松	46	14	60	安曇川	26	20	46
荒川	19	29	48	瀬田川	32	19	51
愛知川	75	21	96	油日	29	14	43
多羅尾	3	4	7	柳ヶ瀬	22	19	41
水口	26	10	36	柏原	29	14	43
中之郷	13	21	34	堅田	52	11	63
吉槻	15	25	40	日野	19	13	32
市場	20	25	45				

降水量分布図

9月15日



警戒状況

9月15日 雷雨注意報発表 16時15分

15日 // 解除 22時15分

II 被害状況

(1) 彦根市松原町水泳場付近

当地域は琵琶湖岸にあり、約800mにわたって樹齢150年ぐらいの松並木数百本があるが、このうち直径50cmぐらいの松40本が地上1mぐらいの高さから引き裂かれたり根こそぎ倒伏した。折損部は昭和20年頃の戦時中に松脂を採取した傷口から折れているものが多く、北西の強風を受けていづれも南東側に倒れており松並木の中に立ててあったポスト数隻が20mぐらい南東方向に飛んでいた。

同時刻に降ったひょうは、うずら豆大のもので、里芋の茎は根元から折れ茎や葉には大きな穴があき、葉の形を止めないまでになっていた。

(2) 彦根市松原近江プラザホテルの鉄骨二階建ての屋根の被害

16時20分頃、同ホテルの屋根（長尺瓦棒葺き）約270坪が、鉄骨をつけたまま（約6トン）100～150m南方へ飛散し、民家一棟がこの下敷きになって全壊し、付近にあった郵便局の窓ガラスが多数破損した。この付近の一市民は、当時真黒い雲が垂れ下り、渦のようになって南東方向へ進行したと語っていた。

(3) 彦根市松原町彦根電報電話局職員宿舎物置の被害

この建物は、木造平屋建てで瓦棒の屋根が突風で吹っ飛び、30mぐらい南東方向へ飛散し、古川工業駐車場にあった自動車10台のうち9台が大きく損傷した。

(4) 彦根市矢倉町付近の被害

16時12分頃、同町道路の松並木10数本のうち、2本が1mぐらいの高さから折損、停車していた小型のトラックが突風を受けて南東方向へ転倒し付近を運転中のジープが1mぐらい浮き上がったそうである。また近鉄電車の沿線の電柱4本が南東方に倒伏し、同町いづみ製作所プレハブ造り作業場33㎡が全壊し、バラバラに飛散して数百m南東方向に飛散した。

この町でも屋根瓦が飛散した所もあった。この付近の降ひょうはかなり大きく、ピンポン玉大より一まわり小さいくらいだったと町民の一人が語っていた。

(5) 彦根市内佐和山清涼寺付近の被害

当時の境内付近には、200～300年に及ぶ老松が多数あるがこれらの直径70～100cm内外の松が根こそぎに倒伏しているものなど惨胆たる有様であった。

この寺院は、前記松原水泳場より約1,100mぐらい南東方の地点にあり、松原の松並木と近江プラザホテル清涼寺付近が特に大きな被害を受けている。

(6) 琵琶湖汽船船着場付近の被害当時の目撃者の話によると、16時15分頃北西の湖上に真黒い雲が

発生し、凄い電光と雷声は大砲を撃つように轟き、すさまじい暴風雨となり、視界は0に等しいくらいになった。この時、岸に6本のロープで繋いであった船（20トンぐらい）が強い北西の突風により、6本とも切断して、船は南東方へ100mぐらい流されたとみるうちに、東風に流されて西の対岸にのし下げられたが、この船は少し傷がついただけであった。また、この時刻に船着場にあった鉄製の椅子が、北西から南東方へ押し流されるように移動したので恐ろしくなり、自動車の中へ飛び込んだところ、車がふわふわと浮いたと思った途端、近くにあった鉄製の長椅子（5人掛け）が10個とも西の方へ転倒した。この所では風が北西から東方へまわったとみられる。

被害状況 被害総額 96,360円

(1) 家屋被害

(ア) 住家被害

被害種別	市町村名	棟数	世帯		被害額(円)	備考
			世帯数	人員		
全壊	彦根市	1	1	1	1,000	落雷による
全焼	豊郷町	1	1	5	1,000	
一部損壊	大津市	2	2	6	400	
計		4	4	12	2,400	

(イ) 非住家被害

種別	市町村名	棟数	被害額(円)	備考
官公庁等	大津市	1	60	
倉庫納屋等	大津市	1	300	
計		2	360	

(2) 農林水産被害

被災区域	区分	面積	被害額(円)	備考
彦根市	水稲	680ha	82,000	
	野菜	13 "	1,300	
	農業施設 ハウス	30棟	4,000	
	鶏舎	1棟	1,000	
計			88,300	

(3) その他被害

鉄道不通 3ヶ所 (一時)
 通信施設 40回線
 停電世帯 121,200世帯

消防職団員出動状況

大津市消防団員 30人

9月22日～23日県南部の大雨

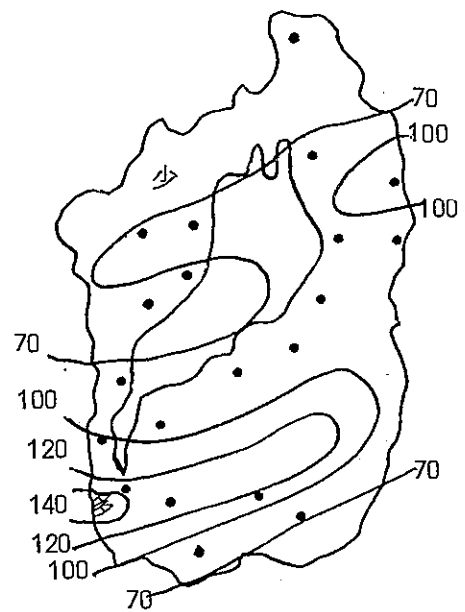
秋雨前線が当地方を東西に伸びて停滞し、23日には小低気圧が東進した。このため本県では22日昼頃から風交りの大雨が降り、県南部で100mmをこす地区もあった。(瀬田川149mm)

降水量 (mm)

降水量分布図 (mm)

9月22～23日

観測所	降水量			観測所	降水量		
	22日	23日	合計		22日	23日	合計
彦根	48	36	84	堅田	55	23	78
木之本	61	21	82	土山	64	14	78
大津	83	37	120	治田	65	33	98
多羅尾	52	19	71	日野	61	60	121
水口	84	38	122	愛知川	66	25	91
八幡	58	29	87	瀬田川	55	31	86
政所	47	60	107	油日	29	24	53
吉槻	65	39	104	信楽	85	24	109
市場	53	22	75	柏原	57	28	85
今津	49	17	66	柳ヶ瀬	36	32	68
北小松	39	19	58	安曇川	62	21	83



警戒状況

9月22日 湖上気象情報 11時55分
 23日 大雨注意報発表 09時40分
 23日 // 解除 17時00分

被害状況

(1) 家屋被害

被害種別	市町村名	棟数	世帯		被害額(円)	備考
			世帯数	人員		
全焼	甲賀町	1	1	4	1,000	落雷によるもの
床下浸水	大津市	3			15	
計		4	1	4	1,015	

(2) 公共土木施設被害(上段, 県工事分, 下段市町村工事分)

単位 円

事務所名	河川		砂防		道路		橋梁		計	
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額
大津	13 9	11,411 6,607			4 2	2,936 570			17 11	14,347 7,177
草津	16 2	24,506 3,867			1	925			16 3	24,506 4,792
水口	66	222,418			3 3	3,890 5,556			6 3	226,308 5,556
八日市	24	57,529	1	3,455	2 6	7,020 3,597	1	1,805	27 7	68,004 5,402
彦根	6	11,171	1	18,244	1 3	568 1,903			8 3	29,983 1,903
長浜	6	15,517	4	7,368	2	655			12	23,540
今津	5	7,192							5	7,192
小計	136 11	349,744 10,474	6	29,067	12 15	15,069 12,551	1	1,805	154 27	393,880 24,830
合計	147	360,218	6	29,067	27	27,620	1	1,805	181	418,710

(3) 農林水産被害

被災市町村	区分	面積又は箇所	被害額
近江八幡市	農業用水路	1 箇所	250 円
蒲生町	溜池	1 //	200
計		2	450

昭和46年(1971年)

1月16日～17日 冬期波浪

16日昼頃から季節風の吹き出し、冬型の気象状況となり、特に17日朝から寒気の吹き出しが強くなり、特に17日朝から北寄りの強い季節風となり、9時50分に10分間最大風速12.5m/s、最大瞬間風速19.9m/s、平均風速12.5m/sを記録した。このため、彦根地方気象台は16日12時30分と17日7時40分に湖上気象情報を発令し、注意を喚起した。

この波浪によって、琵琶湖の自然護岸が波に洗われ、被害を出した。

被害状況

公共土木施設被害

河川 県工事 2箇所 被害額 75,000円

被害箇所 彦根市：びわ湖 湖岸欠損
 びわ町：田川 河口護岸欠損

5月26日～28日の大雨

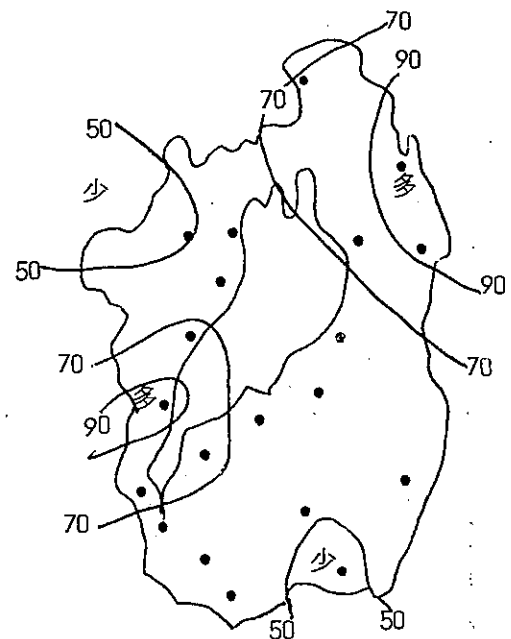
27日9時、太平洋高気圧が広く日本をおおい、夏型気圧配置になっていた。一方黄海にある低気圧より南東に伸びる温暖前線があり、この影響で各地に大雨が降った。本県でも、27日朝から雨が降り出し、28日昼すぎまで続いた。このため100mm近くの大雨が降った所もあるが、被害はなかった。

降水量 (mm)

観測所	27日	28日	計	観測所	27日	28日	計
彦根	62	1	63	北小松	76	4	80
木之本	89	1	90	堅田	97	3	100
竹生島	68	2	70	治田	76	0	76
今津	77	3	80	日野	52	0	52
大津	76	2	78	愛知川	63	1	64
多羅尾	62	0	62	瀬田川	66	3	69
水口	54	0	54	安曇川	49	2	51
八幡	61	1	62	油日	46	1	47
政所	67	1	68	信楽	61	2	63
中之郷	87	1	88	柏原	82	-	82
吉槻	95	1	96	柳ヶ瀬	88	1	89
市場	51	2	53	土山	54	1	55

降水量分布図 (mm)

5月27日



被害状況

公共土木施設被害

13,200円

区分	県工事		市町村工事		計	
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額(円)
河川	6	7,000			6	7,000
道路	5	6,200			5	6,200
計	11	13,200			11	13,200

被災市町……余呉町, 木之本町, 伊吹町, 浅井町
西浅井町

7月1日～2日 梅雨前線による降雨

7月1日, 低気圧が日本海を北東に進んだ。この低気圧の通過に伴い, 県北部を中心に雨が降り, 木之本町, 高月町, 長浜市などに被害が出た。
なお, 当日は気象注意報は発令されていなかった。

降水量 (mm)

7月1日

観測所	降水量	観測所	降水量	観測所	降水量
彦根	61	木之本	71	今津	60
大津	35	多羅尾	25	水口	53
八幡	44	政所	53	中之郷	66
吉槻	46	市場	43	北小松	51
堅田	33	土山	57	治田	41
柏原	51	柳ヶ瀬	57	高時川	67

被害状況

被害総額 16,155円

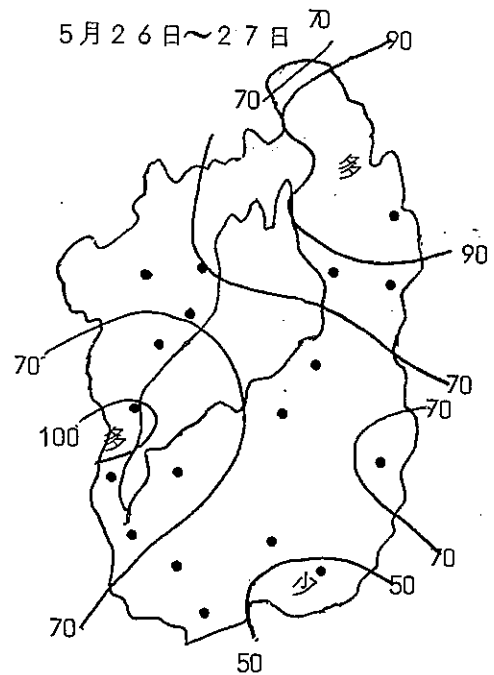
(1) 家屋被害

55棟

○ 床下浸水

市町村名	棟数	世帯数	人員	被害額(円)
長浜市	6	6	25	30
虎姫町	5	6	18	25
計	11	12	43	55

総降水量分布図 (mm)



(2) 公共土木施設被害

16,100円

事務所名	河 川		道 路		計	
	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額 (円)
木之本	2	13,000	2	3,100	4	16,100
計	2	13,000	2	3,100	4	16,100
被災地	高時川 (木之本町川合) 余呉川 (高月町西野)		中河内木之本線 (余呉町羽栗) (木之本町大見)			

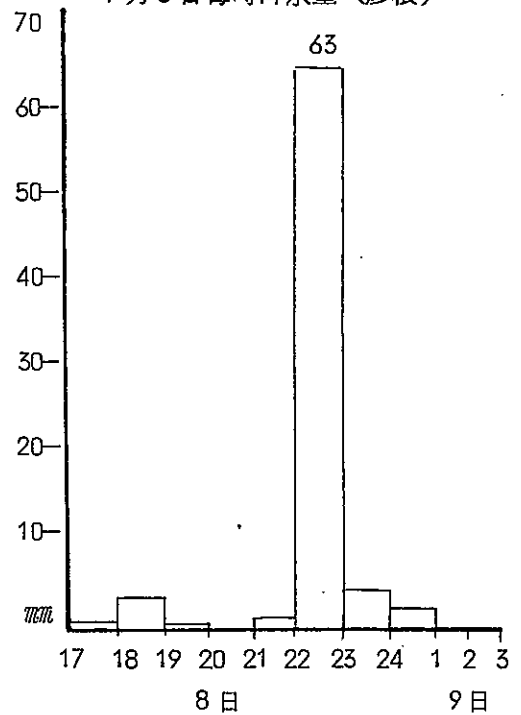
7月6日～8日 台風13号と寒冷前線による雨

7月5日9時、沖の鳥島付近で台風13号となり、北北西に進み、7日朝四国沖に接近、その後毎時35kmで北東進して午後紀伊半島沖をとおり、夕刻浜名湖付近に上陸し8日朝関東沖に抜けた。この台風は比較的高緯度に発生し、小型で勢力が弱かった。

また、台風が関東沖に出た後、日本海西部に発達した低気圧が現われ、中心より南西に伸びる寒冷前線が本県を通過したため、各地に雷雨が発生し、鈴鹿山系で8日、100～150mm、総雨量で200～250mmの大雨となり、彦根でも1時間63mm（8日22時00分～23時00分）で、任意時間における1時間最大降水量の第1位となった。

しかし、湖西では10mm内外であった。

7月8日毎時降水量 (彦根)

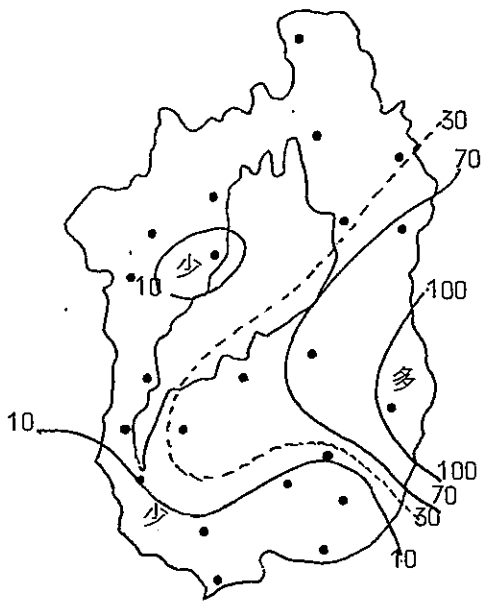


降 水 量 (mm)

観測所	降 水 量				観測所	降 水 量				観測所	降 水 量			
	6日	7日	8日	合計		6日	7日	8日	合計		6日	7日	8日	合計
彦 根	8	58	79	145	愛知川	15	69	91	175	北小松	5	0	14	19
木之本	2	24	18	44	安曇川	2	4	8	14	堅 田	8	0	20	28
今 津	2	1	11	14	信 楽	24	39	0	63	土 山	28	42	0	70
大 津	11	1	6	18	柳ヶ瀬	1	7	31	39	日 野	17	58	3	78
多羅尾	35	30	0	65	政 所	22	84	148	254	瀬田川	32	5	13	50
水 口	17	43	2	62	中之郷	2	7	24	33	油 日	47	55	-	102
八 幡	22	18	61	101	吉 槻	4	46	21	71	柏 原	19	40	82	141
治 田	15	3	36	54	市 場	1	0	15	16					

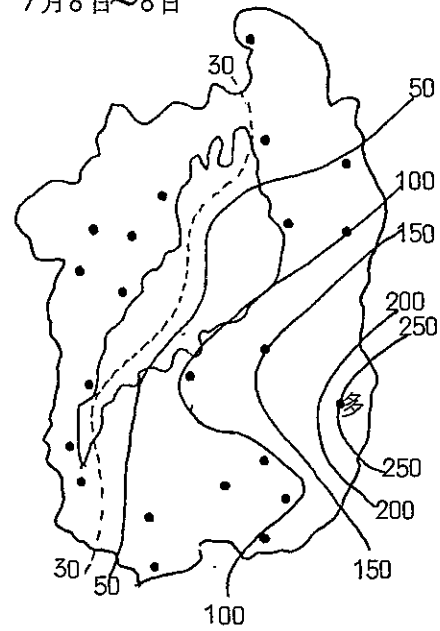
降水量分布図 (mm)

7月8日



総降水量分布図

7月6日~8日



彦根 最大風速 W 10.7 m/s 8日18時00分

最大瞬間風速 W 20.9 m/s 8日17時40分

警戒状況

7月8日 強風・雷雨注意報発表 14時40分

8日 // 解除 19時30分

8日 雷雨・大雨注意報発表 22時20分

9日 // 解除 09時40分

被害状況

被害総額 13,158 棟

(1) 家屋被害 1,500 棟

ア. 床下浸水 1,500 棟

市町村名	棟数	り災世帯		被害額(㎡)	市町村名	棟数	り災世帯		被害額(㎡)
		世帯数	人員				世帯数	人員	
愛知川町	12	12	48	60	甲良町	18	18	42	90
八日市市	12	12	36	60	豊郷町	11	11	54	55
米原町	12	12	51	60	近江八幡市	94	94	385	470
大津市	11	11	55	55	安土町	70	70	279	350
彦根市	60	60	243	300	計	300	300	1,193	1,500

(2) 農林水産被害

6 1.7 4 2 冊

区 分		被害面積	被害数量	被害額 (円)	被災市町村名
施設	林道		6ヶ所 150m	6,762	多賀町, 秦荘町, 永源寺町
	山地		3ヶ所	6,250	永源寺町, 愛東町, 彦根市
	林地		15ヶ所	2,2510	甲南町, 八日市市, 愛東町, 彦根市, 永源寺町, 日野町
農作物	野菜	27.35 ha	292.5 t	5,460	八日市市, 蒲生町, 日野町, 永源寺町, 豊郷町, 甲良町
	果樹	13 "	302.5 "	19,000	彦根市, 湖東町, 甲良町, 豊郷町
	大豆	8 "	8 "	800	秦荘町
	枝豆	1 "	10 "	300	"
	デントコーン	1 "	10 "	300	日野町
水産物	鯉	1 "	10,000匹	360	湖東町(作付転換として田で養殖していたもの)

(3) 公共土木施設被害

6 8,3 4 0 冊

施設別	県工事		市町村工事		計		被災市町村
	箇所	被害額(円)	箇所	被害額(円)	箇所	被害額(円)	
河川	21	56,160	2	240	23	56,400	永源寺町, 能登川町, 豊郷町, 彦根市, 五個荘町, 秦荘町, 多賀町, 八日市市, 湖東町, 愛知川町
砂防	4	5,700			4	5,700	竜王町
道路	12	5,000	2	240	14	5,240	多賀町, 甲良町, 愛東町, 秦荘町, 豊郷町
橋梁			1	1,000	1	1,000	秦荘町
計	37	66,860	5	1,480	42	68,340	

7月22日～27日の大雨

21日から西日本付近に梅雨前線が停滞し、22日にかけて各地に局地的大雨を降らせた。この雨は南部山間部で50～60mm、北西部では10mm足らずの所もあった。

このため22日10時15分ごろ永源寺線政策トンネル(長さ72m、幅4～7m、高さ4m)付近の山がくずれ、約10,000m³の土砂のため、同トンネルの箕川側約46mが押しつぶされて全面通行不能となった。

現場付近の山は粘板岩風化土で、水分を含むと崩れ易い土質で、17・18日の降雨(政所52mm)で軟弱でくずれたものと考えられる。

また26日は梅雨前線が日本海沿岸にあり、この上を小低気圧が東進したため、本県では、北部に

100mmをこす大雨が降った。

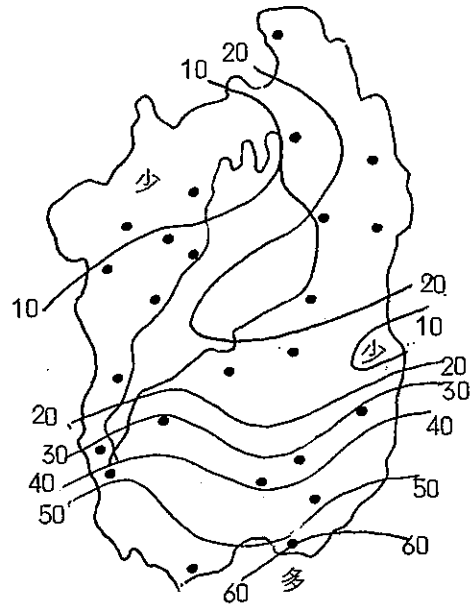
このように21日から21日まで断続的に梅雨末期の大雨が降り、7日間にわたる総雨量は、鈴鹿、伊吹の両山系で200～250mm、その他100～200mmの大雨が降り、次のような被害があった。

降水量 (mm)

観測所	21日	22日	23日	24日	25日	26日	計
彦根	4	20	43	23	17	81	188
木之本	6	5	25	2	53	86	177
竹生島	4	6	21	3	56	82	172
今津	2	6	23	4	40	64	139
大津	1	24	66	32	9	27	159
多羅尾	23	35	13	9	16	9	105
水口	24	16	29	12	5	58	144
八幡	3	9	55	62	13	28	170
政所	19	21	67	51	12	83	253
中之郷	14	4	23	1	54	94	190
吉槻	14	9	20	20	54	121	238
市場	1	8	40	17	21	95	182
北小松	4	15	52	22	24	51	168
堅田	13	6	72	8	36	58	193
土山	34	24	20	13	20	66	177
治田	15	18	48	57	5	34	177
日野	13	18	43	16	13	47	150
愛知川	0	12	40	35	10	48	145
瀬田川	29	23	27	13	5	14	111
安曇川	1	12	34	9	23	72	151
油日	40	24	22	10	6	14	116
信楽	43	21	26	5	2	8	105
柏原	9	17	31	10	40	95	202
柳ヶ瀬	18	8	29	1	56	99	211
中河内	3	4	28	1	48	103	187
大溝	12	14	40	17	25	57	165
マキノ	3	5	28	2	49	89	176

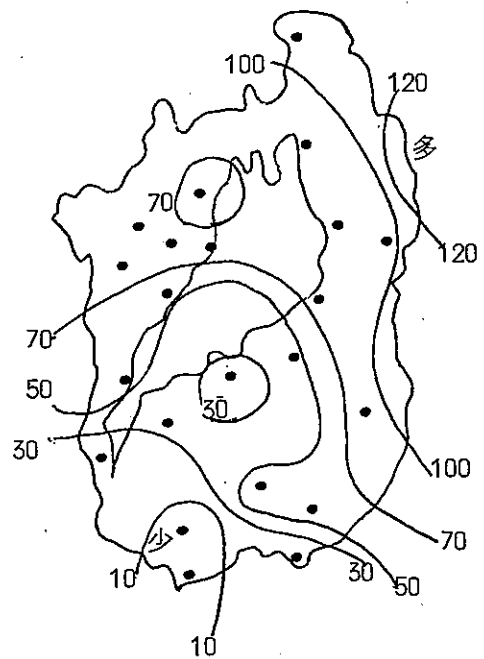
総降水量分布図

7月21日～22日



降水量分布図 (mm)

7月26日



水 位

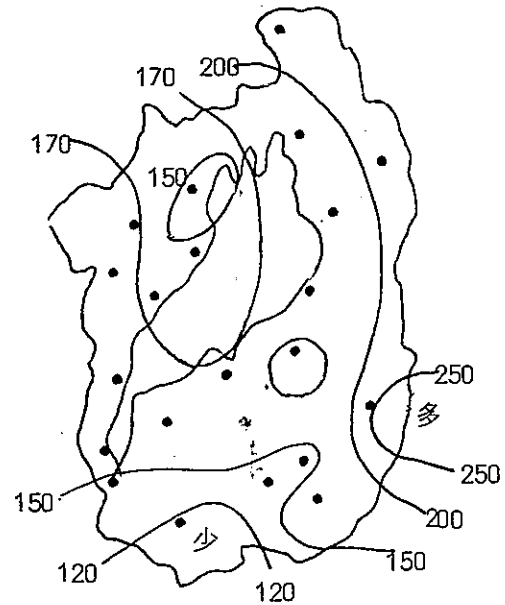
びわ湖の水位（鳥居川）は7月14日にプラス4.1cmに達したがその後下降線をたどり22日にはプラス2.2cmまで下ったが、24日再び洪水防計画による通報水位プラス3.0cmを越えた。このため琵琶湖工事事務所は25日 きの放流を250tから300tに引きあげた。ところが26日6時現在プラス3.3cmと横ばい状態で今後も相当の雨量があるものと見込み26日16時30分全開し700tの放流を始めた。

これは45年6月16日～7月2日まで以来1年1月振りである。

なお主な河川の水位は次のとおりである

総降水量分布図 (mm)

7月21日～27日



観測所 区分	安曇川 (安曇川大橋)	知内川 (知内橋)	童子川 (童子川橋)	姉川 (難波橋)	高時川 (錦織橋)
最高水位 日時	26日24時 1.50m	26日21時 1.53m	23日20時 1.70m	26日23時 2.10m	26日24時 2.00m
警戒水位	1.50m	1.50m	1.50m	1.00m	1.60m

警戒状況

7月22日	大雨雷雨注意報発表	16時40分
23日	大雨雷雨注意報更新	16時50分
24日	解除	06時40分
24日	雷雨注意報発表	16時00分
24日	大雨雷雨注意報発表	22時00分
25日	解除	10時50分
25日	発表	15時50分
27日	解除	06時30分

被害状況

被害総額 887,070円

(1) 家屋被害

7,310冊

区 分		被 害 状 況			被 害 額(冊)	被 災 市 町 村
		棟 数	世帯数	人 員		
住 家	床上浸水	2	2	9	400	水 口 町
	床下浸水	12	12	48	120	長 浜 市
	〃	478	478	1,816	4,780	草 津 市
	〃	30	38	124	300	栗 東 町
	〃	14	14	73	140	守 山 市
	〃	1	1	4	10	野 洲 町
	〃	5	10	49	50	水 口 町
	〃	17	17	47	170	日 野 町
	〃	8	8	32	80	甲 良 町
	〃	14	15	63	140	虎 姫 町
	〃	2	2	10	20	西 浅 井 町
	〃	5	5	21	50	安 曇 川 町
	〃	15	20	44	150	甲 西 町
非 住 家		1	—	—	900	蒲 生 町
計		604	622	2,340	7,310	

(2) 公共土木施設被害

642,487冊

単位 冊

種 別	県 工 事		市 町 村 工 事		計	
	箇所	被 害 額	箇所	被 害 額	箇所	被 害 額
河 川	122	282,097	15	15,910	137	298,007
道 路	54	331,740	7	4,840	61	336,580
橋 梁			1	1,000	1	1,000
砂 防	5	6,900			5	6,900
計	181	620,737	23	21,750	204	642,487

(3) 農林水産関係被害

220,770円

種 別		被 害 状 況			被 災 市 町 村	
		箇所数	面積(ha)	被 害 額(円)		
施 設 関 係	農 地	田 埋 没	89	1.5	10,000	大津市
		畑 流 失	2	0.05	1,000	〃
		た め 池	5		6,000	浅井町, 湖北町, 水口町, 野洲町
	農 業 用 施 設	頭 首 工	2		2,000	朽木村
		水 路	7		2,000	大津市, 伊吹町, 朽木村, 安曇川町, 水口町
		道 路	35		5,000	大津市, 水口町, 朽木村
		橋 梁	3		2,000	大津市, 水口町
		小 計	143		28,000	
	林 業 施 設	林 道	12		10,000	米原町, 石部町, 日野町, 浅井町, 栗東町, 多賀町, 永源寺町, 秦荘町
		山 地 崩 壊	64	1.90	120,082	大津, 彦根, 近江八幡, 甲西, 水口, 土山, 甲賀, 甲南, 日野, 永源寺, 五個荘, 多賀, 山東, 伊吹, 高月, 浅井, 湖北, 木之本, 今津, 西浅井, の各市町
		小 計	76	1.90	130,082	
	農 作 物	水 稻		1.25	774	竜王町, 日野町, 湖北町
		ス イ カ		41	39,950	大中干拓, 浅井町, 高月町, 木之本町
		南 瓜		48.20	15,550	永源寺町, 日野町, 八日市市, 安土町, 長浜市, 浅井町
枝 豆			20	330	安土町, 近江八幡市, 能登川町	
青 と う			0.5	750	日野町	
ト マ ト			5.5	4,250	八日市市, 蒲生町	
キ ュ ウ リ			0.7	550	五個荘町, 八日市市	
カ ン ラ ン			1	250	八日市市	
秋カンラン苗				14	近江八幡市	
小 計			118.15	62,418		
園 芸 作 物	ア ス タ ー		0.5	200	八日市市	
	菊		0.1	70	〃	
	小 計		0.6	270		
合 計		219	122.20	220,770		

(4) 有料道路関係被害

16,503冊

施設名	箇所数	被害額(冊)
鈴鹿公園有料道路(土山町)	4	2,003
奥琵琶湖パークウェイ(西浅井町)	1	14,500
計	5	16,503

S46

8月30日～31日 台風23号

8月21日南鳥島の南西洋上で台風23号が発生し、日本の南方洋上を西に進み、四国の南方洋上で次第に北西に向きを変えて九州に近づいた。

台風は、九州に接近するにつれて発達し、上陸直前には中心気圧915mbと猛烈に発達した。台風は29日夜半ごろ大隅半島に上陸し急速に衰弱し、北東に進路をとって、四国に迫り、高知県に上陸した。台風はその後淡路島付近から大阪湾、紀伊半島を経て、東海沿岸をとおる、房総半島を横切り、9月1日三陸沖合で温帯低気圧になった。

台風は暴風半径が大きく、移動速度がおそかったので九州、四国地方で強風が吹きつづき、また典型的な雨台風であったので、各地に大雨を降らせ、被害は、鹿児島、宮崎県を中心に九州四国など1都37府県に及び、死者、行方不明44人、建物全半壊270棟、床上浸水13,948棟、床水浸水108,342棟など大きな被害があった。

気象状況

彦根付近では台風が九州南部を北東に進むころ、30日朝から雨が降り出し、同夕刻ごろから風雨がやや強くなり、夜に入って東の風が10m/s内外、降雨も21時頃から1時度10mmとなったが、31日早朝には次第におさまった。

伊吹町春照付近では、30日夜には風雨つよく、最大瞬間風速E31m/sとなり長浜市付近では風がとくに強かったようである。

神崎郡永源寺町政所一帯は、29日夜半ごろから雨が降り出し、30日16時ごろから20mm/hの強雨になり、19時ごろから50～70mm/hの強い雨が降り続き、23時頃から20～30mm/hになり、31日01時ごろから雨勢は急に衰え、小雨になった。

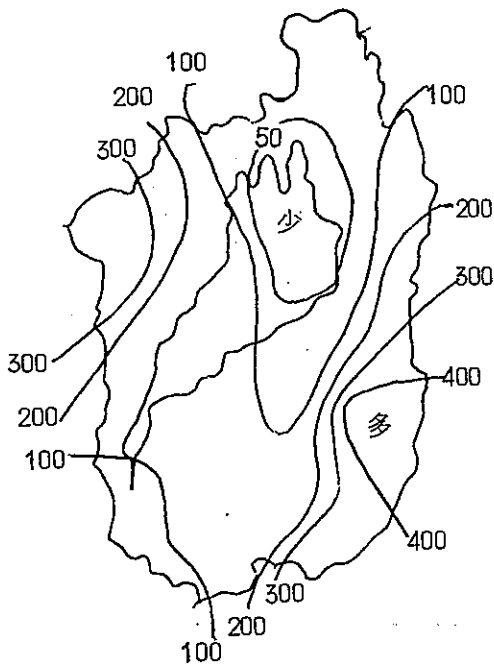
この間最大降水量は79mmの豪雨となった。

降水量 (mm)

日 場所	降水量				日 場所	降水量			
	8月29日	8月30日	8月31日	合計		8月29日	8月30日	8月31日	合計
彦根	16	87	17	120	北小松	4	137	18	159
伊吹山	22	96	27	145	堅山	10	115	5	130
大君ヶ畑	102	386	19	507	日野	18	141	10	169
荒川	2	212	72	286	安曇川	3	195	21	219
柏原	17	231	29	277	油日	15	317	14	346
政所	84	411	13	508	治田	5	138	6	149
土山	35	310	12	357	愛知川	14	73	25	112
信楽	10	112	15	137	伊吹発電	19	146	23	188
柳ヶ瀬	6	62	20	88	高時川	14	48	15	77
木之本	13	43	11	67	草野川	19	84	23	126
今津	4	138	29	171	中村	18	325	52	395
大津	28	96	7	131	マキノ	2	98	71	171
多羅尾	20	79	19	118	永源寺	45	409	19	473
水口	4	158	9	171	片山	3	56	4	63
中之郷	11	52	15	78	中河内	4	56	30	90
吉槻	19	154	23	196	大溝	1	180	19	200
市場	4	316	54	374	大河原	19	368	19	406

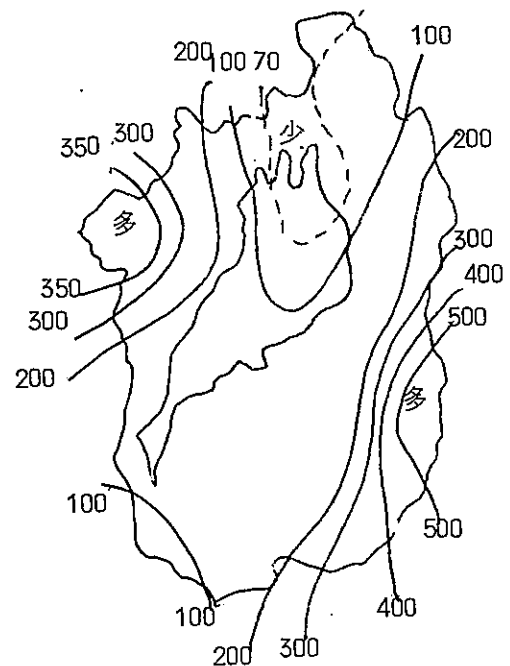
降水量分布図 (mm)

8月30日

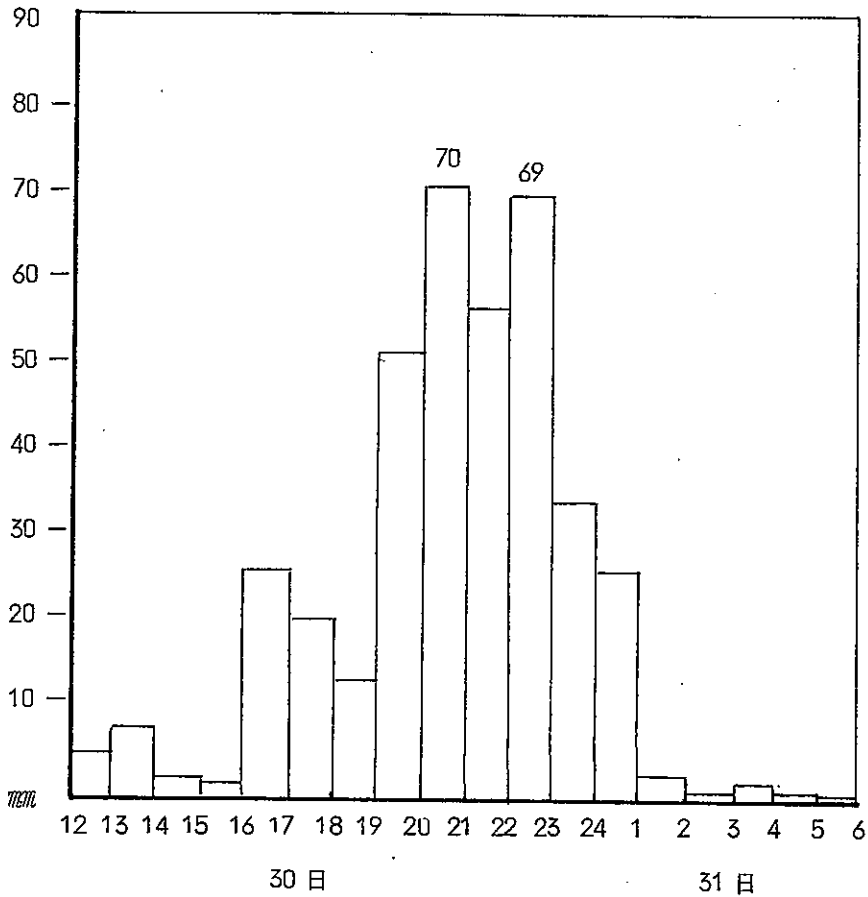


総降水量分布図 (mm)

8月28日~31日



8月30~31日 毎時降水量 (政所)



彦根の気象

極 値 表

観測種目		観測値	起 時
気圧 (海面)	最 低	987.1 mb	31日04時30分
	最 大	風向 E NW 風速 13.3 m/s	31日19時50分 31日15時40分
風	最 大 瞬 間	風向 E 25.5 m/s	30日19時48分
	風向順転又は逆順	逆 転 風速10 m/s以上の持続した期間	30日19時40分から 31日14時30分まで 31日01時00分から 31日24時00分まで
雨	総 降 水 量	126.5 mm	30日03時40分から 31日20時40分まで
	日降水量の最大値	85.5 mm	30日24時
	1時間降水量の最大値	12.5 mm	30日21時20分まで
	10分間降水量の最大値	5.0 mm	30日07時30分まで

各河川の水位状況

河川名	警戒 通報 水位	位置 町 村 字, 目標	30日	22時	23時	24時	31日	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	
			21時				1時								
和邇川	1.50m 1.00	志 賀 和邇川橋		0.9		1.20			0.80			0.75			
真野川	1.50 1.00	大津市 堅 田 真野川橋		0.9		1.10			0.85			0.70			
安曇川	1.20 0.80	" 村 中村橋	1.00	22:30 1.70		水位高 く読み ず	観測不能(流失)								
葉山川	1.30 1.00	栗 東 上 釣 池 導 水 路	21:30 1.80	上釣池操作開始					1.30						1.10
童子川	1.50 1.00	野 洲 童子川橋				1.80			2.10 観測不能(流失)						
日野川	3.00 2.00	" 仁保橋				0.70			2.70						
野洲川	1.35 0.65	水 口 水口橋 上流右岸	21:20 0.70	1.40	2.00	1.80	1.72					1.00	0.80		
"	2.50 1.50	甲 西 横田橋	1.50	2.20		2.60	2.50					1.35			
杣 川	3.00 2.00	水 口 北 杣 橋 上流右岸	21:30 4.00		4.00		3.70	3.50				2.42	2.18		
大戸川	2.30 1.80	信 楽 旭 橋 上流右岸			1.00		1.10	0.90							
愛知川	2.20 1.90	永源寺 紅葉橋			2.40				2.30		2.00	1.80			
"	1.50 1.00	愛知川 御幸橋				1.74			1.70			1.60			
宇曾川	2.50 1.50	" 歌詰橋				2.55			2.20			1.60			
犬上川	1.60 0.90	彦根市 高 宮 橋				1.80			1.60			0.60			
天野川	1.50 0.80	山 東 天野川橋 左 岸			1.80				2.45			1.80			
"	1.50 0.80	近 江 飯 村 橋 左 岸			1.60		1.90		2.05			1.70			
石田川	1.50 1.00	今 津 石田川橋				1.10									
安曇川	1.70 1.00	朽 木 船 橋				2.00			1.90						
"	1.50 1.00	安曇川 常 盤 木 橋 常 安				1.00			2.10						

被害状況

被害総額 6,668,801円

I 家屋被害 79,740円

区分	種 別	棟 数 (棟)	り災世帯数(世帯)	り災者数(人)	被害額(円)
住 家	流 失	3	4	14	9,000
	半 壊	9	12	41	9,000
	一 部 損 壊	56	59	233	5,600
	床 上 浸 水	154	153	554	28,800
	床 下 浸 水	1,413	1,376	5,552	14,130
(小 計)		(1,635)	(1,604)	(6,394)	(66,530)
非 住 家		41	—	—	13,210
合 計		1,676	1,604	6,394	79,740

II 公共土木施設被害 2,856,313円

単位 円

種 別	県・市町村工事		国直轄工事		合 計	
	箇所数	金 額	箇所数	金 額	箇所数	金 額
河 川	620	1,746,461	6	33,030	626	1,779,491
砂 防	97	187,690	—	—	97	187,690
道 路	393	685,322	4	2,260	397	687,582
橋 梁	29	201,550	—	—	29	201,550
合 計	1,139	2,821,023	10	35,290	1,149	2,856,313

Ⅲ 農林水産被害

3,664,066円

項 目	内 容 と 数 量	被 害 額 (円)
農 地	田 (96件 121.5ha) 畑 (1件 30ha) 畦畔 (2,966件 213.6ha)	222,000
農業用施設	ため池 (24ヶ所) 頭首工 (79ヶ所) 水路 (217ヶ所) 堤防 (14ヶ所) 道路 (237ヶ所) 橋梁 (16ヶ所) 揚水機 (5ヶ所) 農地保全 (8ヶ所) 計 600ヶ所	433,000
農畜産施設	鶏舎, ビニールハウス等 28棟	2,448
農畜産物	水稻 (7,739.6ha 5,404.8t) 野菜 (201.7ha 2,581.8t) 果樹 (249.2ha 230.5t) 花卉・花木 (1.0ha 190千本) 茶 (5.9ha 4.8t) 飼料 (29.3ha 230t) 桑 (29.3ha 6.4t) 鶏 (5,925羽) 計 8,265ha	831,633
林業施設	山地崩壊 (528ヶ所 175.6km 76.07ha) 道路 (317ヶ所) 橋梁 (6ヶ所) その他 (26ヶ所) 計 877ヶ所	2,111,240
林産物	木材 (400m ³) 立木 (8.3ha) しいたけ原木 (4,500木)	11,680
水産施設	漁船 (15隻) 漁具 (1件) 養殖施設 (1件)	16,900
水産物	こい (30t) にじます他 (45千尾)	9,000
国有林関係	林道 (3ヶ所) 林地 (1ヶ所)	26,165
合 計		3,664,066

Ⅳ その他被害

68,682円

項 目	数 量	被 害 額 (円)
鉄 道 施 設	13ヶ所	3,500
水 道 施 設	11ヶ所	3,500
通 信 施 設	862回線	9,940
電 力 施 設	(不詳)	51,742
合 計		68,682

対策の概要

1. 30日9時20分、大雨強風注意報発令と同時に、県水防本部は第1配備につき、水防情報の収集、連絡にあたった。
2. 30日16時30分台風情報1号を発表、台風が本県へ襲来必至となったため、県は県災害警戒体制1号を発し、災害関係部課の動員を行ない警戒体制に入った。
3. 31日1時15分、東部に大雨洪水警報が発令されたため、県災害警戒体制および水防水部は、ともに第2配備に入り嚴重な警戒体制をとった。
4. 市町村においても、それぞれ警戒体制にはいった。
5. 県警察本部も31日2時には丙種災害警備体制にはいった。
6. 県警察本部丙種災害警備体制、県災害警戒体制、県水防本部は、それぞれ31日、12時、16時、17時に各配備体制を解除した。
7. 知事は自衛隊今津駐とん地司令に対して次のとおり派遣要請をした。

(ア) 31日4時頃安曇川町下小川地先の鴨川の堤防が決壊するおそれが生じたため水防活動の応援を要請した。

(110名が出動し31日8時から17時まで堤防の補強作業を行った。)

(イ) 永源寺町君ヶ畑、蛭谷、箕川の3地区へ通ずる県道永源寺川相線が不通になり、これら3地区は31日朝から孤立状態となったため食糧品等が不足し9月2日物資の空輸を要請した。

(ヘリコプター5機、隊員29名が出動し2日午後、食糧、自動車燃料等約7トンの物資を空輸した。)

8. 水防活動等に出動した市町村消防職団員は3,194名に及んだ。

9月6日～7日の秋雨前線による大雨

9月1日、アリアナ群島西方海上に熱低が発達し、2日台風25号となり、次第に北上した。4日朝、日本海中部の低気圧から南西に伸びる寒冷前線が南下し、5日～6日に本県付近に停滞し、秋雨前線となる。台風は北上をつづけ、前線をしげきしたため各地で大雨が降った。

本県では、5日早朝から、雨が降り出し、午後から雷雨となり、6日、終日雷雨、7日午後になって止んだ。

この雨は、県西部比良山方面から、北東部の、伊吹山方面にかけての帯状に多く、150mm～250mmに達した。

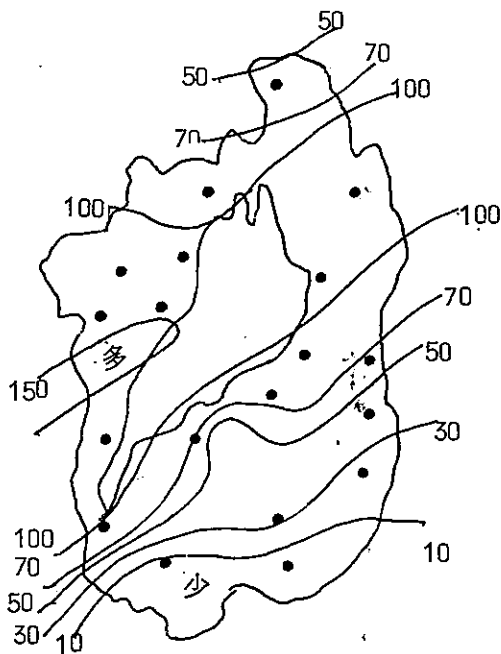
この大雨は彦根で1時間降水量41.5mm、6日06時10分～07時10分、10分間降水量12.0mm、6日06時30分～06時40分であった。

降水量 (mm)

観測所	降水量			観測所	降水量			観測所	降水量		
	5日	6日	計		5日	6日	計		5日	6日	計
彦根	82	98	180	吉 槻	91	133	224	油 日	2	2	4
木之本	52	105	157	市 場	20	130	150	柏 原	60	96	156
竹生島	69	122	191	北小松	129	152	281	柳ヶ瀬	66	75	141
今津	32	107	139	堅 田	90	108	198	伊吹山	85	166	251
大津	32	103	135	土 山	2	4	6	大君ヶ畑	8	46	54
多羅尾	5	2	7	治 田	5	84	89	荒 川	21	116	137
水口	2	29	31	日 野	2	30	32				
八幡	53	40	93	愛知川	23	77	100				
政所	8	31	39	瀬田川	2	71	73				
中之郷	44	110	154	安曇川	77	127	204				

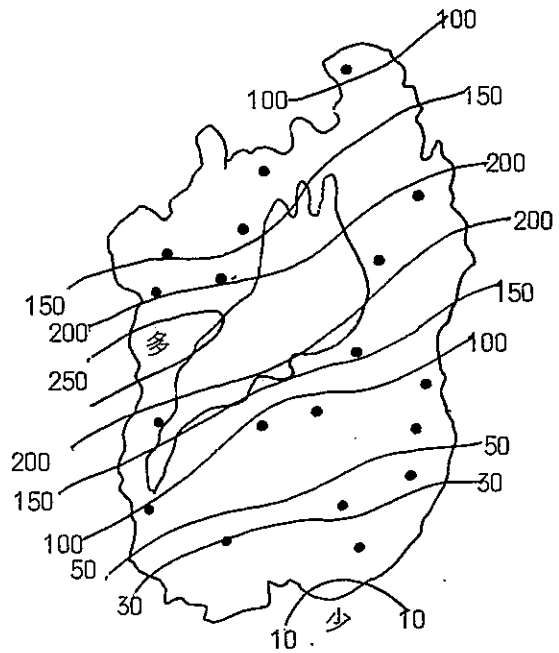
降水量分布図 (mm)

9月6日



総降水量分布図 (mm)

9月5日~7日



水 位 (主な河川)

河川名	通報警戒水位	位 置	6日	19	20	21	22	23	24	7日	2	3	4	5	6	7
			18								1					
天野川	0.8m 1.5	山 東 町 天野川橋	1.30			1.60										
"	"	近 江 町 飯 村 橋	1.10													
姉 川	1.5 2.0	伊 吹 町 関 電			1.85	1.90	1.80									
"	0.6 1.6	長 浜 市 国 友 橋	0.60		0.80		0.88									
田 川	1.2 1.8	び わ 町 弓 削 橋	0.40		0.55		0.60									
高時川	0.6 1.6	浅 井 町 錦 織 橋	0.85		1.20	1.40									0.74	
"	1.0 1.6	木 之 本 石 井 明 神 橋	0.99					0.81							1.20	1.20
安曇川	1.2 1.7	朽 木 村 船 橋			1.20	1.15										
"	1.0 1.5	安曇川町 常 安 橋		0.10			0.8									

種 別	被 害 状 況				被害額(円)	
	被災市町村	棟 数	世帯数	人 員		
住	半 壊	大津市	1	1	9	1,000
	床上浸水	虎姫町	8	8	29	1,600
		米原町	1	1	2	200
		高島町	1	1	3	200
小 計		10	10	34	2,000	
家	床下浸水	米原町	17	17	68	170
		虎姫町	106	88	378	1,060
		守山市	20	20	80	200
		志賀町	16	16	67	160
		高島町	8	8	33	80
		新旭町	10	10	41	100
		彦根市	2	2	7	20
	大津市	80	80	320	800	
床下浸水	長浜市	124	115	455	1,240	
小 計		383	356	1,449	3,830	
合 計		9	394	367	1,492	6,830

被害状況

被害総額 843,389円

(1) 家屋被害 6,830円

警戒状況

9月5日 雷雨注意報発表

22時30分

6日 大雨雷雨注意報発表

08時30分

6日 大雨洪水雷雨注意報

発表18時30分

6日 大雨注意報発表

23時30分

7日 " 解除

12時30分

(2) 公共土木施設被害

812,559冊

単位 冊

種別	県工事		市町村工事		計		被災市町村
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	
河川	122	645,957	30	35,305	152	681,262	長浜市, 高島町, 今津町, 新旭町, 安曇川町, 朽木村, 米原町, 大津市
砂防	22	58,201			22	58,201	高島町, 安曇川町
道路	8	12,386	23	21,110	31	33,496	米原町, 長浜市, 高島町, 今津町, 朽木村, 伊吹町
橋梁	2	37,100	1	2,500	3	39,600	朽木村, 浅井町
計	154	753,644	54	58,915	208	812,559	

(3) 農林水産関係被害

24,000冊

種別	被害状況		被害額(冊)	被災市町村
	面積	箇所		
山地崩壊	0.38 ^{ha}	17	21,000	大津市, 米原町 山東町, 伊吹町
林道		17	3,000	
計	0.38	34	24,000	

休校状況 (6日) 6校

大津市立葛川小学校	} 終日休校
〃 堅田中学校葛川分校	
県立堅田高等学校	
多賀町立多賀中学校	} 午後休校
多賀小学校芹谷分校	
〃 霊仙分校	

消防機関出動状況

市町村名	人員		
	職員	団員	計
長浜市	0人	60人	60
虎姫町	-	50	50
大津市	7	202	209
計	7	312	319

9月26日 台風29号

9月22日, サイパン島付近で熱帯低気圧が発達し, 26日3時, 足摺岬の南約400kmの海上で台風29号となった。台風は, その後さらに発達しながら毎時50kmの速さで北東に進み, 26日13時頃, 紀伊半島潮岬西方に上陸し, この時の勢力, 中心気圧990mb, 中心付近の最大風速25m/s, 15m/sの強風半径, 南東側500km, 北西側200km, 小型の弱い台風であった。

台風は上陸後あまり衰弱することなく, 毎時50kmで東北東に進み, 伊勢湾, 静岡県北部, 関東中部を経て26日23時鹿島灘へ抜けた。

台風の特徴

台風29号は台風に発達してから日本に上陸するまでに、たった10時間ほどの早さで、温帯低気圧になるまでの台風としての寿命も、わずか24時間の短かさであった。

警戒状況

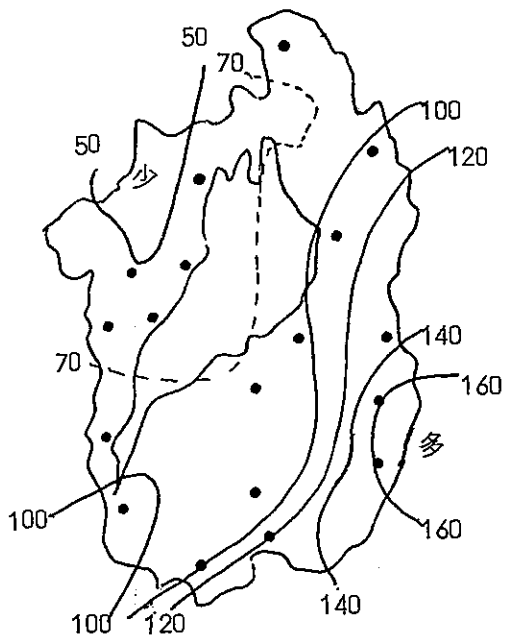
9月26日	大雨強風注意報発表	12時20分
"	大雨洪水注意報 "	15時15分
"	" 解除	17時10分

降水量 (mm)

観測所	26日	観測所	26日	観測所	26日	観測所	26日
彦根	105	伊吹	97	安曇川	52	市場	50
荒川	48	中河内	72	愛知川	71	政所	159
大津	89	大河原	123	中村	62	柳ヶ瀬	93
八幡	73	伊吹山	106	瀬田川	120	油日	124
北小松	58	木之本	77	マキノ	48	高時川	89
土山	144	多羅尾	119	永源寺	125	黄和田	139
日野	104	吉槻	103	大君ヶ畑	138	片山	37
治田	93	堅田	86	今津	54	大溝	53
草野川	90	柏原	123	水口	90		

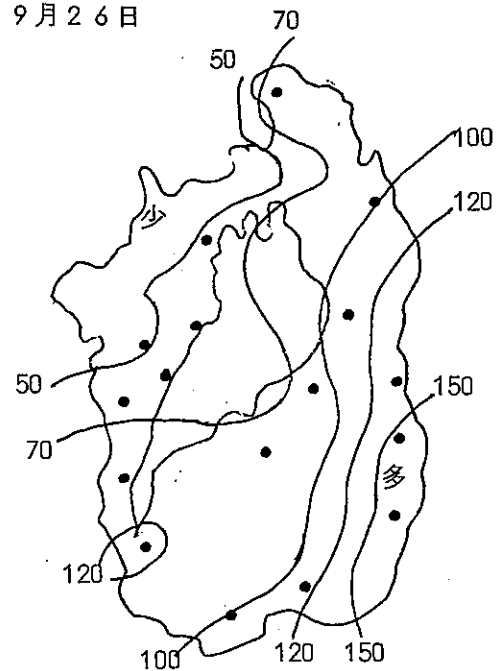
総降水量分布図 (mm)

9月25日~26日



降水量分布図 (mm)

9月26日



彦根の気象

最低気圧	998.4 mb	26日15時20分
最大風速	NW 13.3 m/s	26日15時30分
最大瞬間風速	NW 18.9 m/s	26日15時30分
総降水量	107.0mm	26日～27日
日降水量	106.5mm	26日

水位(主な河川の水位)

河川名	草津川	童子川	日野川	佐久良川
観測所	草津市・旭橋	野洲町・童子川橋	日野町・増田橋	蒲生町・市子橋
警戒水位	1.20m	1.50m	2.25m	1.20m
最高水位・日時	17時 1.50m	16時50分 1.80m	17時 1.21m	14時 1.40m

被害状況

被害は、1都17府県におよび、奈良、三重、岐阜、愛知などの各県で、局地的に短時間にはげしい雨が降り、奈良、三重の両県で山くずれが多発し、死者、行方不明20人、床上浸水3,069棟、床下浸水5,605棟、山くずれ385ヶ所などであった。

被害状況 被害総額 206,192円

(1) 家屋被害 1,213円

種別	被害状況				被害額(円)	
	被災市町村	棟数	世帯数	世帯人員		
住	床上浸水	八日市市	3	3	7	600
		信楽町	1	1	1	200
	小計		4	4	8	800
家	床下浸水	大津市	34	34	136	34
		草津市	130	130	430	130
		土山町	3	3	11	3
		信楽町	8	8	33	8
		近江八幡市	49	49	156	49
		八日市市	34	34	137	34
		能登川町	4	4	13	4
		秦荘町	17	17	69	17
		彦根市	5	5	21	5
		米原町	35	35	140	35
		長浜市	60	60	239	60
		虎姫町	34	34	136	34
小計		413	413	1,521	413	
合計		417	417	1,529	1,213	

(2) 農林水産関係被害

65,400 冊

種 別	被 害 状 況		被 災 市 町 村
	面積 (ha)	被害額 (冊)	
水 稻	1,834.1	63,930	彦根, 八日市, 水口の各県事務所管内市町
野 菜	21.5	1,470	
計	1,855.6	65,400	23 市町

(3) 公共土木施設被害

139,579 冊

種 別	県 工 事		市 町 村 工 事		計		被災市町村
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額 (冊)	
河 川	69	106,154	14	10,030	83	116,184	大津市, 秦荘町
道 路	8	5,970	19	12,495	27	18,465	
橋 梁			1	2,500	1	2,500	
砂 防	3	2,430	—	—	3	2,430	
計	80	114,554	34	25,025	114	139,579	

滋賀県に影響を与えた台風経路図 (昭46)

